件名ターゲット

平成13年度

工事完成図面関係書類

(庁舎建設・竣工図)

H－2－5－204

－005

工事種別	用途番号	構造種類番号	建物通常番号			地区番号			定型種類番号	図面通常番号			特殊記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	0	0	0	1	F

(国庫) 山下公園レストハウス 新築工事（建築工事）

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	図面リスト		A-24	展開図1	1/50	S-01	構造設計仕様				
A-02	案内図	1/2500	A-25	展開図2	1/50	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）				
A-03	敷地内　既存・新築建物一覧表	1/1000	A-26	展開図3	1/50	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）				
A-04	特記仕様書1		A-27	展開図4	1/50	S-04	鉄骨構造標準図（１）				
A-05	特記仕様書2		A-28	展開図5	1/50	S-05	鉄骨構造標準図（２）				
A-06	特記仕様書3		A-29	建具キープラン	1/100	S-06	ピット・１階伏せ図	1/100			
A-07	特記仕様書4		A-30	建具表1	1/50	S-07	屋根伏せ図	1/100			
A-08	設計概要・外部仕上表		A-31	建具表2	1/50	S-08	Ｘ通り軸組図	1/100			
A-09	内部仕上表		A-32	雑詳細図1（柱型リスト）	1/20	S-09	Ｙ通り軸組図	1/100			
A-10	建物求積図・求積表、工事区分表	1/100	A-33	雑詳細図2（A～E）	1/5、1/10	S-10	断面リスト図	1/30			
A-11	敷地求積図・求積表、排煙面積計算表	1/1000	A-34	雑詳細図3（F～K）	1/1, 1/3, 1/5, 1/10, 1/20	S-11	ＲＣ配筋詳細図	1/30			
A-12	配置図兼１階平面図	1/100	A-35	雑詳細図4 (L～N)		S-12	鉄骨詳細図	1/20			
A-13	立面図	1/100	A-36	雑詳細図5 (O～P)							
A-14	断面図	1/100									
A-15	平面詳細図1	1/30									
A-16	平面詳細図2	1/30									
A-17	平面詳細図3	1/30									
A-18	矩計図1	1/30									
A-19	矩計図2	1/30									
A-20	天井伏図	1/100									
A-21	屋根伏図	1/80									
A-22	屋根構造図1	1/80									
A-23	屋根構造図2	1/80									

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12 12
図面番号	A-01	図面リスト	縮尺
横浜市建築局	株式会社　鎌倉設計工房		

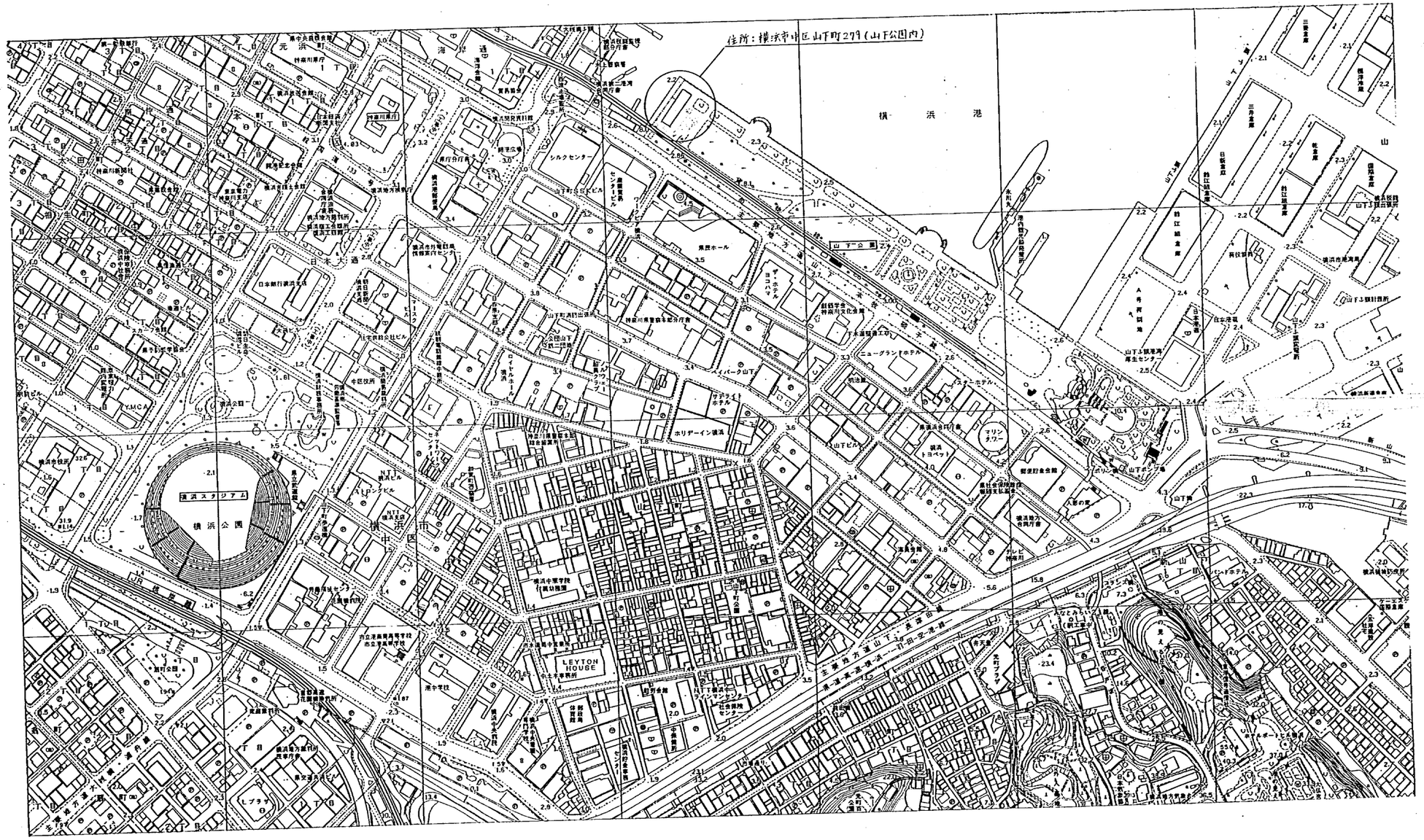
株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸光

工事名　(国庫)山下公園レストハウス新築工事（建築工事）　縮尺

図名　図面リスト　図番　A-01

元号	年度	市区町村番号	地域コード						地区番号				図面種別番号	図面コード番号				特記事項
H	2	5	2	0	4	0	0	5	0	0	0	2	F					

法　2



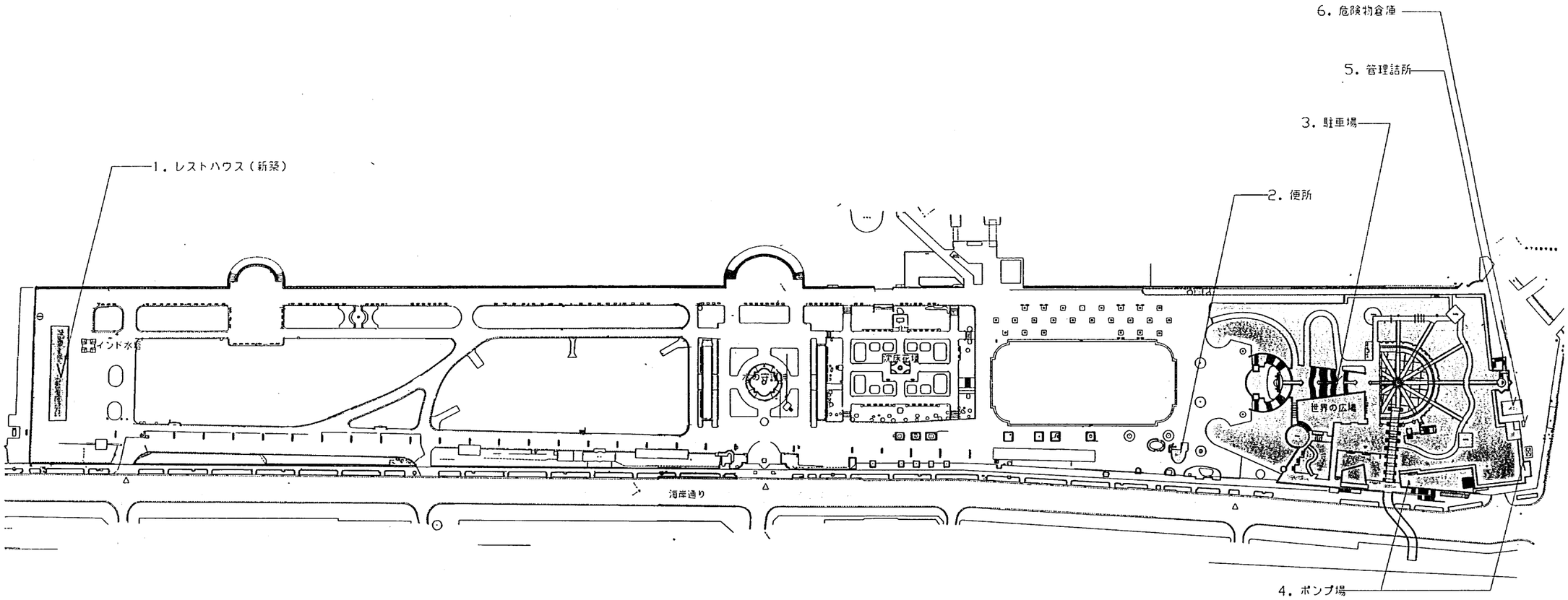
工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H.12.12
図面番号	A-1	室内図	縮尺 1/2500
地区承認	設計	係長	係員	検査	所長	
横浜市建築局	株式会社 鎌倉設計工房					

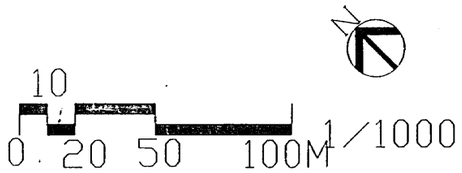
株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名　(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)　縮尺 1/2500

図名　案内図　図番 A-¥2

工事種別	所管番号	建物種類番号	建物固有番号	用途番号	図面種類番号	図面固有番号	特記記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	0	0 0 3	F





番号	建物名称	面積 (m2)
1	レストハウス（新築）	444.44
2	便所	58.98
3	駐車場	14、998.23
4	ポンプ場	4、050.55
5	管理詰所	157.20
6	危険物倉庫	8.50
合計		19、717.90
山下公園 総面積		74、154.45

工事名	国庫）山下公園レストハウス新築工事（建築工事）	年月日	H12 12
図面番号	A-(2)	敷地内既存・新築建物一覧表	縮尺 1/1,000
建築	電気	設備	構造	設備	計画

横浜市建築局　株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9
TEL045-313-6604
FAX045-316-1153
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

(国庫)山下公園レストハウス新築工事
(建築工事)
工事名
縮尺 1/1000
敷地内既存・新築建物一覧表
図名
図番 A-03

横浜市建築工事特記仕様書

① 工事名称　(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)

② 工事場所　横浜市 中区 山下町 278 (山下公園内)

③ 地域・地区　商業　地域基準建ぺい率 80%　基準容積率 400%

(第 7 種高度地区)　◎防火　・準防火　・指定なし)

④ 建物概要
(1) 敷地面積 74,154.45 ㎡
(2) 建ぺい率 11.40 %
(3) 容積率 26.59 %
(4) 構造 RC(一部S造)
(5) 階数 1階建

・既存建物延床面積 8,452.73
〃 床面積 19,717.90

工事範囲	レストハウス工事	別途工事	レストハウス廻り外構工事
			レストハウス 電気設備工事
			〃 空調衛生設備工事

特記仕様書の取扱い (1) 項目は番号に◎印のついたものを適用する。
(2) 特記事項で◎印, ※印, ◎印, ・印のある場合の適用は次による。
◎印, ◎印のついた場合は, 共に適用する。
◎印のない場合は※印を適用する。
・印のついたものは適用しない。
(3) ( ) 内の表示番号は, 3桁のものは共通仕様書の当該項目, 及び当該図表を示し, 2桁のものは特別仕様書のそれらを示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用基準等	本特記仕様書によるほか下記による。 建築工事共通仕様書　建設大臣官房官庁営繕部監修 (平成9年版) 建築工事標準詳細図　建設大臣官房官庁営繕部監修 (平成5年版) 建築鉄骨設計標準及び同詳細　建設大臣官房官庁営繕部監修 (平成10年版) 横浜市建築用建築工事特別仕様書　横浜市建築局 (平成12年版)
	②施設白板	横浜市公共建築物保全システム施設白板・カルテ作成 ※作成する。　・作成しない。
	③施工図等の取扱	施工図等の著作権に係る当該建築物に関る使用権は, 発注者に委譲するものとする。
	④設備工事との施工区分	施工範囲 (躯体スリーブ工事) ※図示した鉄筋コンクリート壁の貫通孔, 開口部の型枠及びそれらの補強 ※図示した壁, 天井仕上材, 下地材の切込み及び下地材の補強 ※照明装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ※自動閉鎖装置取付け建具の切込み及び補強 施工区図 ※設備機器の位置, 取合等の検討できる施工図を提出して, 監督員の承諾をうける。
	⑤工事実績情報の登録	※行う　・行わない　(1.1.4)
	⑥発生材の処理等	・再生資源化を図るもの ・現場において再利用を図るもの　(1.1.13) ・引渡しを要するもの ・特別管理産業廃棄物　・有　・無 ・建設汚泥の処分　・有　・無 建設汚泥の処分については, 次のとおりである。 ・受入場所　市　区　町　番地 ・運搬距離　L=　km ・受入条件　時～　時 月　日～　月　日及び日曜, 祝祭日または, 　曜日を除く。 ・当該内容の変更については, 監督員と協議するものとする。
	⑦監理技術者及び主任技術者	※適用する
	⑧電気保安技術者	・適用する　◎適用しない　(1.3.3)
	⑨安全衛生管理	・安全管理指定工事　・指定する　・指定しない　(1.3.6.1) ◎統括安全衛生責任者等　◎指名する　・指名しない
	10 環境保全	・六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)　(1.3.6.2) ・有　・無 本工事は, 六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)の対象工事であり, 下記に示す工種について, 六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し, 試験結果 (計画証明書) を提出するものとする。 なお, 試験方法は, セメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数:

工種	工法	躯体設計段階	施工段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

(要領表-1の対象工法を記載する。)　合計　検体

タンクリーチング試験対象工種名及び検体数:

工種	工法	検体数
		検体
		検体
		検体

合計　検体

⑪ 建築材料: 本工事に使用する建築材料などは, 設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし同等のものとする場合は, 監督職員の承諾を受ける。
なお, 「評価名簿による」と特記されたものについては, 建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」による。

⑫ 室内空気汚染防止措置: ※適用する　・適用しない　(1.4.1)

対象部材			日本農林規格(JAS)			日本工業規格(JIS)		
ホルムアルデヒド放散量	1)内装仕上げ材	合板類	※F1	・F2	・F3			
		パーティクルボード				※E0	・E1	・E2
		パーティクルボード				※E0	・E1	・E2
		開口	※下地材も対象とする。					
	2)収納, 机の天板, 住宅用家具, 住宅用建具, 構造, 単位用	合板類	※F1	・F2	・F3			
		パーティクルボード				※E0	・E1	・E2
		パーティクルボード				※E0	・E1	・E2
		開口	※芯材についても, F1, E0を使用する。					
	3)壁紙	既塩ビ系	※既調に記載したもので, JIS (A-6921) の基準に適合したものを使用する。					
		塩ビ系	※防火規制(全国規定の安全に記載したインテリア材料に関するガイドライン)建築材料機器)又はそれと同等の基準, 性能に適合するものを使用する。					
			・適用しない					
	4)壁紙の施工に使用する接着剤		※ホルムアルデヒド不検出のものを使用する。					
			・適用しない					
ホルムアルデヒド, トルエン, キシレン等	5)内装工事に使用する接着剤, 塗料		※ホルムアルデヒド不使用のもので, トルエン, キシレンの揮発が最少かまいるのを使用する。有機溶剤系接着剤, 塗料を使用する場合は, その使用箇所を部分別に明示, その使用量を設計段階で確認をする。					
			・適用しない					

建築合板・構造用合板・特殊合板・コンクリート型枠用合板に関する日本農林規格(JAS)			
表示の区分	ホルムアルデヒド放散量(※1) 平均値	最大値	備考
F1	0.5mg/LEF	0.7mg/LEF	(※1) 27このデシケーター内に一定量の試料を24時間放置した際, デシケーター内の雰囲気に吸収された濃度
F2	1.5mg/LEF	2.0mg/LEF	
F3	3.0mg/LEF	3.2mg/LEF	

MDFとパーティクルボードに関する日本工業規格(JIS)

記号	ホルムアルデヒド放散量(※2)	備考
E0	0.5mg/LEFT	(※2) 2ℓ入りのデシケーター内に一定量の試料を24時間放置した際, デシケーター内の雰囲気に吸収された濃度
E1	1.5mg/LEFT	
E2	5.0mg/LEFT	

⑬ 特別な材料の工法: 建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は, 当該製品の指定工法による。

⑭ 環境配慮型建設機械: ※使用する　・使用しない　(1.5.1)
排出ガス対策型建設機械　(※使用する　・使用しない)
低騒音型・低振動型建設機械　(※使用する　・使用しない)

15 技能士: ・適用する　・適用しない　(1.5.2)
・鉄筋工事　・コンクリート工事　・鉄骨工事　・ブロック工事
・ALCパネル工事　・PCカーテンウォール工事　・防水工事　・石工事
・タイル工事　・木工事　・金属工事　・左官工事
・屋根及びとい工事　・建具工事　・塗装工事　・内装工事
・接着工事

⑯ 完成図書等: ※作成する　(1.7.1)(1.7.2)

⑰ 保全に関する資料: ※特別仕様書による　・その他　(1.7.3)

⑱ 完成写真: 下記のものを監督員に提出する。
アルバム300×300, 黒表紙金文字を3冊 (管理書, 原稿, 工事担当課)　(1.4)

分類・規格		撮影箇所数		部数	原版の大きさ(mm)
・モノクローム	・ポジ版	外部	※ 4箇所	部	※100×125以上
	※ネガ版		・ 箇所	部	
	・全紙パネル	内部	※ 箇所	部	・24×36以上
	・		・ 箇所	部	
※カラー	・ポジ版	外部	※ 4箇所	1部	※100×125以上
	※ネガ版		・ 箇所	部	
	・全紙パネル	内部	※ 箇所	1部	・24×36以上
	・		・ 箇所	1部	

② 監督職員事務所: ①監督職員事務所の設置: ※設ける　・設けない　(2.3.3)(表2.3.1)
監督職員事務所の規模
・1号 ◎2号 ・3号 ・4号 ・5号 , 　㎡
・会議室 20㎡ (◎有机付いす 12人用)

②監督職員事務所備品等: ◎机 / 個 ・いす 3個 ◎書棚 / 個 ◎白板 / 個
◎製図板 / 個 ・掛時計 個 ◎冷暖計 / 個 ◎ゴム長靴 5個
◎消かっぱ 5個 ◎保護帽 10個 ◎懐中電灯 / 個 ◎安全帯 3個
◎衣類ロッカー / 個 ◎消火器 / 個 ・湯沸器 個 ◎掃除具 / 個
◎作業用機器 / 個 ◎現場用加入電話の子機 / 個 ・

③ 雑負事務所その他: ※工事現場の適切な場所に, 工事名称, 発注者等を示す表示板を設ける。(900mm×1800mm, 白地にゴシック黒文字)　(1.13)

④ 工事用水: 構内既存給水　※利用できない。　・利用できる。(・有償　・無償)

⑤ 工事用電力: 構内既存給水　※利用できない。　・利用できる。(・有償　・無償)

⑥ 仮囲い: ・波形鉄板張り (H:1.8~2.0m)
・金網張り (H:1.8~2.0m)
◎測　製 (H:3.0~3.5m)
・その他 (　)
・位置については図面による, 種類については任意とする。

⑦ 仮設工法: ・指定する　◎指定しない

8 段階点検制度: ・適用する　・適用しない

9 その他

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土: 種別　(3.2.3)(表3.2.1)
・A種　◎B種　・C種　◎D種

② 建設発生土の処理: ※指定処分 (天黒ふ頭)　・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5)
・建設処分　・構内指示の場所に埋戻
・再利用

③ その他: ※ アスファルトガラ 全量プラント

④ 地業工事

1 杭設杭: 杭設杭の位置及び本数　(4.1.4)
位　置 : ※図面による ・
本　数 : ※表記の一本 ・　本
(4.2.2)(表4.2.1)
種類
・高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭)
・外殻鋼管付コンクリート杭 (SC杭)
・
(4.2.1)(4.2.3)(4.2.4)(4.2.5)(4.2.6)(4.2.7)

施工法	継手工法	先端形状	杭頭の処理	その他
・埋込み杭工法	※アーク溶接 ・	※閉そく平板形 ・開放型	※切断しない ・	
・既定埋込み杭工法 (杭材料は既定条件に適合要)				
・				

2 既製コンクリート杭地業

(4.4.1)(表4.4.1)(4.4.3)(4.4.4)(4.4.5)

施工法	鉄筋の種類	コンクリート	頭部処理	その他
・アースドリル工法	・拡底杭	種別	・行う	
・リバース工法	(財)日本建築センターにより認定されたもの	・A種	(箇所)	
・オールケーシング工法		・B種	・行わない	
・				

3 場所打ちコンクリート杭地業

④ 砂利地業: 使用材料　※再生クラッシャラン　・切込み砂利及び切込み砕石　(4.5.2)

5 その他

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類

種類の記号	呼び名(mm)				(5.2.1)
◎SD295A	◎D10	◎D13	◎D16	・	(表5.2.1)
・SD295B	・	・	・	・	
◎SD345	◎D13	◎D25	・	・	
・	・	・	・	・	

② 柱, 梁の主筋の継手

接合方法	径(mm)	(5.3.1)
◎重ね継手	※ (表5.3.1による)	(表5.3.1)
◎ガス圧接継手 (注1)	※ (表5.3.1による)	
・特殊な継手 (注2)	・	

(注1) SD295Aはガス圧接継手としてはならない
(注2) 特殊な継手とは, カラー圧着, ねじ継手等をいう

③ 鉄筋のかぶり厚さ: (注) 鉄筋のかぶり厚さは柱底から算定する。　(5.3.2)
・耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。　(表5.3.6)

施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)
◎柱, 梁, 壁及びあばらの外気に接する打放し面	※10
・	・
・	・

4 鉄製コンクリート杭の杭頭補強の方法: ・A形　※B形　・図面による　(5.4.1)(図5.4.1)

⑤ 帯筋の組立ての形: ◎H形 (口は除く)　・　(5.5.2)(図5.5.2)

工事種別	月番号	建物等級	建物固有番号	施設番号	図面等級	図面固有番号	枝番記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	0	0 0 4	F

6 最上階柱頭補強: ※行う　・行わない

7 埋開口部の補強: 一般壁 ※A形 ・B形 ・図面による (表5.7.3)
耐震壁 ※B形 ・図面による (表5.7.4)

⑧ 梁貫通孔の補強: ※H形 ・M形 ・MH形 (5.10.1)(図5.10.1)
・建設技術評価制度「鉄筋コンクリート造の梁貫通補強材の開発」において評価を取得したもの又は, (表5.10.2)(表5.10.3)
(財)日本建築センターの評価を受けたもの。

9 機械吊上げ用フック: ・A種　・B種　・C種　(5.10.3)(表5.10.4)

⑩ 圧接完了後の試験: ※引張試験　・超音波探傷試験　(5.11.9)

11 その他

⑥ コンクリート工事

① コンクリート種類及び設計基準強度

※普通コンクリート　(6.1.3)(6.1.4)

設計基準強度Fc(kg/cm²)	スランプ	適用箇所
◎~~24~~ 40	15	基礎, 基礎梁, 床, 柱, 梁
・		
・		

・軽量コンクリート　(6.11.1)(6.11.3)

設計基準強度Fc(kg/cm²)	種別	スランプ	適用箇所
※ 210	・1種・2種		
・			
・	・1種・2種		

気乾単位容積質量 (　) t/m³

◎創造コンクリート　(6.14.1)(6.14.3)

発注強度 (N/mm²)	スランプ (cm)	適用箇所
◎~~24~~ 15	~~18~~ 15	捨コンクリート
◎18	15	土間コンクリート

② 打放し仕上げの種類: ※合板せき板を用いる場合　(6.2.5)(表6.2.3)

種別	施工箇所
◎A種	柱, 壁
・B種	
・C種	

3 その他

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨製作所: ※ (社) 全国鉄骨工業連合会　(7.1.3)
・日グレード　◎Mグレード　・Rグレード
・

② 施工管理技術者: ※適用する　(7.1.4)

③ 工作図: 床書き原寸図の作成　(7.1.5)
◎する　・しない

④ 鋼材: 材質, 断面形状及び寸法　試験方法 (7.2.1)
※図面による　※7.6.11(b)による
板厚方向に引っ張り力を受ける鋼材JIS G 0901による試験　図面による (7.2.10)
※行う

⑤ 高力ボルト: 種類　(7.2.2)
・トルシア形高力ボルト2種　(S 10 T)
◎JIS形高力ボルト2種　(F 10 T)
・摩擦接合メッキ高力ボルト1種　(F 8 T)
※適用箇所及び径は図面による

6 無収縮モルタル: 無収縮モルタルの製造所　(7.2.9)
・評価名簿の製造所

⑦ 溶接部の試験: (7.6.11)

試験の種別	試験箇所	試験方法
◎超音波探傷試験		※7.6.11(b)による ・図面による
・放射線試験		
・マクロ試験		

平均品質管理限界 (AOQL)　・2.5%　※4.0%
検査水準　※第6水準　・

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H.12.12
図番	A-04	特記仕様書 1	縮尺
建築局長	建築部長	課長	係長	担当
横浜市建築局		株式会社 様倉設計工房	

工事名	建築番号	図面番号	枝番	枝番	図面種類	図面種類枝番号	縮尺
横浜市立[illegible]小学校	H25	040	05	00	05	F	

内部仕上げ表

番号	室名	天井	巾木	壁	備考
101	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
102	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
103	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
104	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
105	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
106	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
107	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
108	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
109	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
110	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
111	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
112	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
113	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
114	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
115	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
116	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
117	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
118	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
119	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
120	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
121	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
122	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
123	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
124	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
125	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
126	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
127	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
128	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
129	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
130	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
131	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
132	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
133	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
134	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
135	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
136	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
137	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
138	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
139	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
140	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
141	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
142	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
143	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
144	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
145	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
146	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
147	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
148	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
149	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
150	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
151	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
152	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
153	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
154	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
155	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
156	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
157	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
158	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
159	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
160	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
161	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
162	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
163	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
164	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
165	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
166	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
167	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
168	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
169	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
170	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
171	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
172	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
173	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
174	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
175	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
176	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
177	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
178	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
179	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
180	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
181	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
182	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
183	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
184	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
185	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
186	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
187	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
188	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
189	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
190	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
191	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
192	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
193	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
194	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
195	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
196	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
197	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
198	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
199	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	
200	教室	AEP	ビニル巾木	AEP	

工事種別	厚生省事業番号	建物図面番号	施設番号	図面図面番号	図面図面番号	特殊記号
H	2	5 2 0 4	0 0 5	0 0 0	6	F

⑤ ロックウール吹付け (15.8.3)(表15.8.1)

種別	厚さ (mm)
ロックウール	・10 ・15 ・20 ⊙25
セメント	・10 ・15 ・20 ・

6 セルフレベリング材塗り (15.6.2)(表15.6.1)

・適用する ・適用しない

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・石こう系 ・セメント系	※ 10 ・	

⑮ 建具工事

1 防火戸 ※図面による (16.1.3)

② 見本の製作等 ※製作しない ・製作する (16.1.4)

③ アルミニウム製建具 外部に面する建具 (表16.2.1)(16.2.2)

⊙造作仕様品

性能項目 / 種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法
⊗A種	S−4	A−3	W−4	70mm
・B種	S−5			
⊙C種	S−6	A−4	W−5	100mm

表面処理 ※B−1 ⊙B−2 (※ブラウン・ブラック・ステンカラー ⊙ホワイト) (表14.2.1)

居内建具

表面処理 ※C−1・C−2 (※ブラウン・ブラック・ステンカラー・ホワイト) (表14.2.1)

(16.2.3)

4 網戸 防虫網の種類 ・合成樹脂製 ・ステンレス製 ・ガラス繊維入り合成樹脂

5 鋼製建具 建具気密型Fアセットの性能値 (16.3.2)

※適用する ・適用しない

製品の寸法許容差（ただし書きの建具）

※製造所標準製作規定寸法許容差による ・表16.3.3による

品質規格

※建築工事共通仕様書による

・製造所標準仕様書による（製造所 群馬名簿による） (16.4.2)

6 鋼製軽量建具 建具気密型Fアセットの性能値

※適用する ・適用しない

ビニル被覆鋼板の適用 ・する ・しない (16.4.3)

製品の許容寸法差

※製造所標準製作規定寸法許容差による ・表16.3.3による

7 ステンレス建具 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ (16.5.4)

・

曲げ加工 ※普通仕上げ ・角出し曲げ (16.5.5)

(16.6.3)(表16.6.3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア	・マットスイッチ ・電子マットスイッチ ⊙光電スイッチ
・スイングドア	・光線スイッチ ・音波スイッチ ※熱線スイッチ ・光電スイッチ

9 木製建具 フラッシュ戸 (16.7.2)

かまち，中骨にひく材の使用 ・する ※しない (表16.7.2)

かまち戸 (16.7.2)

鏡板の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( )

ふすま

上張りの種類 ※新鳥の子程度又はビニール ・鳥の子 (表16.7.3)

ふすまのカシュー塗料の塗り回数 ※2回 ・3回 (表16.7.9)

⑩ 建具用金物 マスターキー ※製作する ・製作しない (16.8.5)

⑪ ガラス ・合わせガラス (16.9.2)

品種	構成種類
※フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収，フロート板合わせガラス
網入磨き合わせガラス	・網入磨き，フロート板合わせガラス ・網入磨き，熱線吸収板合わせガラス

⊙強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類
※フロート強化ガラス	※フロート板強化ガラス ・熱線吸収板強化ガラス
・型板強化ガラス	※型板強化ガラス

・熱線吸収板ガラス

品種	色調
※熱線吸収フロート板ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収網入磨き板ガラス	・グレー ・ブロンズ

・視線ガラス

品種	板ガラスの組み合わせ
・断熱視線ガラス ・日射熱遮へい視線ガラス	

・熱線反射板ガラス

品種	反射皮膜面	色調	映像調整
※熱線反射ガラス	※内面・外面	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー	※行わない ・行う
・高性能熱線反射ガラス	内面		

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類	色調
※倍強度フロート板ガラス	
・倍強度熱線吸収板ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・

・ガラスブロック JIS A5212による

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー ( )		※無し ・乙種防火

⑪ ガラスのとめ材 (16.9.2)(表9.5.1)

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット（FIX部はシーリング）
鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材
木製	※パテ（木製用）

ただし，防火戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする

⑬ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能等
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り・外張り	飛散防止率D1
⊙（遮熱；もしくは）			遮蔽率・熱貫流率

品質 JIS A5759による ・耐用年数

14 重量シャッター 開閉形式 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 (16.10.2)

一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない

15 軽量シャッター 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） (16.11.2)

スラットの形状 ※インターロッキング ・オーバーラッピング (16.11.4)

ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（厚1.5mm） (表16.11.2)

16 オーバーヘッドドア セクション材料 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ (16.12.2)

・ファイバーグラスタイプ

開閉方式 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式

収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形

・ハイリフト形 ・バーチカル形

ガイドレール ※ステンレス製（SUS304） ・鋼板製

17 その他

⑰ 塗装工事

1 防火材料 ※屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は，防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの

② 素地ごしらえ 亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別 (17.2.4)(表17.2.3)(表17.3.4)

種別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具及び，2液形ポリウレタンエナメル塗り，常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合
⊙B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 (17.2.7)(表17.2.7)

種別 ※ B種 ・A種（施工箇所： ）

3 マスチック塗材塗り (17.17.2)(表17.17.1)

種別	凸面処理	仕上げ材料
・A種	・行う・行わない	
・B種		
・C種	・行う・行わない	・アクリル樹脂エナメル2回塗り ・つや有り合成樹脂エマルションペイント2回塗り

4 床用塗料塗り 材質 ウレタン樹脂系塗料（※標準色 ・ ）

仕上種別 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ

塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m² 以上とする。

⑤ 防塵用塗料塗り 材質 水性アクリル系樹脂塗料（※標準色 ・ ）

仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）

塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m²以上とする。

⊙ケイ酸塩系コンクリート表面強化剤

⑱ 内装工事

1 ビニル床シート張り (18.2.2)

種類	色調	厚さ(mm)	記号
※発泡層のないもの	※ 無地 ・ 柄物	※ 2.5 ・	※ NC ・
・発泡層のあるもの	・ 柄物 ・ 無地	・	・
・			
・			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け (18.2.3)

(施工箇所)

2 ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床タイル (18.2.2)

種類	記号	厚さ(mm)	備考
・コンポジションビニル床タイル（半硬質）	・CT	※ 2 ・	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	・CTS	・	
・ホモジニアス床タイル	・HT	・	
・	・	・	
・ゴム床タイル	・	・	

3 帯電防止床タイル張り及び帯電防止シート 種類 ・ (18.2.2)

性能 ※体積抵抗値（JIS K6911による） $1.0\times10^{8}\Omega$ 以下

厚さ ・

4 視覚障害者用床タイル張り 種類 ・ (18.2.2)

形状 ・

5 ビニル幅木 厚さ (mm) ※ 2 ・ (18.2.2)

高さ (mm) ・60 ・75 ・100

6 合成樹脂塗り床 (18.3.2)(表18.3.3−表18.3.7)

種類	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ，・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑 ・防滑） ・表面モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ

⑦ せっこうボードその他のボード及び合板張り (18.4.2)(表18.4.1)

種類，厚さ等 ※図面による。

・

銘板合板 生地のまま又は透明塗料塗り ※ラワン合板 ・

不透明塗料塗り ※しな合板 ・

特殊合板 ・天然木化粧合板

化粧単板 樹種 ・

厚さ ※0.3mm未満 ・

・そば包みを行なう。

基材厚さ ※4.2mm ・

・特殊加工化粧合板

仕上げの種類 ・

基材厚さ ※4.0mm ・

合板等の張付け工法 ・A種 ※B種 (表18.4.3)

せっこうボードの目地処理 (表18.4.4)

目地処理の種類	せっこうボードのエッジの種類
・目透かし工法	スクエアエッジ
⊙突付け工法	スクエアエッジ
・突付けV目地工法	ベベルエッジ
・額目処理工法	テーパーエッジ

8 フローリング張り (18.5.2−18.5.6)(表18.5.1−18.5.4)

・単層フローリングの種別 (18.5.2)

・フローリングボード ・フローリングブロック

・モザイクパーケット

・複合フローリングの種別 (18.5.2)

・複合1種フローリング ・複合2種フローリング

・複合3種フローリング

モルタル型込み工法 (18.5.4)(表18.5.1)

フローリングブロック	樹種	※なら ・
	厚さ (mm)	※15 ・
	大きさ	※303×303 ・

釘どめ工法 (18.5.5)(表18.5.3)

フローリングボード	樹種	※なら ・
天然木化粧複合フローリング	種別	・A種 ・B種 ※C種

接着工法 (18.5.6)

フローリングボード	樹種	※なら ・
フローリングブロック	樹種	※なら ・
モザイクパーケット	樹種	・
	厚さ (mm)	・
	大きさ	・
天然木化粧複合フローリング	樹種	※なら ・

塗装 (18.5.7)

※ウレタン樹脂ワニス塗り

・油性ステイン塗りのうえワックス塗り

・生地のままワックス塗り

9 壁紙張り 品質及び防火性能の表別 ※図面による。 (18.6.2)

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえ（表17.2.4） ・A種 ※B種

せっこうボード面の素地ごしらえ（表17.2.7） ・A種 ※B種

10 畳敷き 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (表18.7.1)

11 カーペット敷き 織じゅうたん (18.8.3)(表18.8.4)

種別 ・A種 ・B種 ・C種 (表18.8.1)

パイル形状 ・カットパイル ・ループパイル ・カットループ併用

帯電性 ※3kV以下 ・

タフテッドカーペット (18.8.3)(表18.8.4)

工法 ※全面接着工法 ・グリッパー工法

帯電性 ※3kV以下 ・

ニードルパンチカーペット (18.8.3)(表18.8.4)

厚さ (mm) ・

帯電性 ※3kV以下 ・

タイルカーペット (18.8.3)(表18.8.2〜表18.8.4)

種別 ※A種 ・B種

パイルの形状 ※ループパイプ ・カットパイル

寸法 ※500角 ・

総厚さ (mm) ※6.5mm ・

敷き方 平場 ※市松敷き ・

階段 ※横帯流し ・

電気抵抗値 (Ω) ※適用しない ・$10^{6}\Omega$ 以下

⑫ 断熱・防露 (18.9.2)(18.9.3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温材	※2種b	一般部	※25 ・	
	※3種b（改付き）	・土間接地スラブ下面 ・	※25 ・	
・硬質ウレタンフォーム保温材	・1種2号 ・		・25 ——	
⊙吹付硬質ウレタンフォーム断熱材（現場発泡断熱材）	※断熱材補修部分		——	※難燃2級
	⊙一般部 ・		※15 ⊙25	・
		製造所 監督員の承認する製造所		

上記ウレタンフォーム保温材及び断熱材は特定フロンを使用しないものとする。

13 その他

工事名	(医)順心山下公園ハスハウス新築工事(建築工事)	年月日	H.12.12
図番	A-06	特記仕様書 3	縮尺
構造電気	設備部長	課長	係長	係員
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房	

工事種別	建物等記号	建物固有番号	施設番号	図面番号	図面固有番号	枝番記号
H	2 5	2 0 4	0 0 5	0 0	0 7	F

19 舗装工事

1 路床

遮断層の適用　・適用する　・適用しない　(19.2.2)
遮断層の厚さ　mm
凍上抑制層の適用　・適用する　・適用しない
凍上抑制層の厚さ　mm
路床の安定処理の適用及び方法　・適用する（厚さ300mm目標CBR5以上　添加材料による安定処理）
・適用しない
盛土の種別　・A種　・B種　・C種　・D種　(表3.2.1)
遮断層の材料　・
※川砂，海砂又は良質な山砂とし品質は75 μmふるい通過量10%以下
凍上抑制層の材料　・
※切り込み砂利（ごみ，泥，有機物等を含まないもの）(19.2.3)
路床安定処理用添加材料の種類
・普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種・生石灰1号・生石灰2号・消石灰1号・消石灰2号
・添加量　kg/m³　(19.2.3)(表19.2.2)
ジオテキスタイル　・適用する・適用しない
ジオテキスタイルの品質　・図面による
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
路床土の斜面勾度の試験　・行う　・行わない　(19.2.5)

2 路盤

路盤の厚さ　図面による　(19.3.2)(表19.3.1)
路盤材料種別，呼び名　(表19.3.3)
・砕石（クラッシャラン　C40）
※再生材（クラッシャラン　RC40）
・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
・切込み砂利　(19.3.3)

3 アスファルト舗装

舗装の種類	車道部の基層		カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	・有	※無	※鉄鋼スラグ混入混凝アスファルト混合物
・カラーアスファルト舗装	・有	※無	

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）
・着色骨材（樹脂被覆）　(19.4.2)
舗装の平坦さ　・
※路盤の支障となる水たまりを生じない程度
カラー舗装表層アスファルト混合物に添加する着色骨材　・　(19.4.3)
表層及び基層の通熱アスファルト混合物及び再生通熱アスファルトの種類　(表19.4.6)
・適用する　・適用しない　(19.4.4)
シールコートの施工　・適用する
※適用しない　(19.4.5)
アスファルト混合物等の抽出試験
・適用する　(19.4.6)(表19.4.8)
※適用しない

4 コンクリート舗装

転圧コンクリート舗装用コンクリート（転圧コンクリート舗装技術指針による）(19.5.3)
早強セメント　・使用する　※使用しない
注入目地の種別　・高弾性タイプ　※低弾性タイプ
転圧コンクリート舗装の工法（転圧コンクリート舗装技術指針による）(19.5.4)
コンクリート版の厚さ試験　※行う　・行わない　(19.5.6)

5 透水性舗装

舗装の平坦さ　※著しい不陸が無い
・　(19.6.2)

6 排水性舗装

舗装の平坦さ　※著しい不陸が無い　(19.7.2)
・
アスファルトの種類　※改質アスファルトⅠ型　(19.7.3)
・改質アスファルトⅡ型
タックコート用のゴム入りアスファルト乳剤の種類　(19.7.3)(表19.7.3)

適用時期	種類
下記以外	PKR－T1
冬季	PKR－T2

7 ブロック系舗装

コンクリート平板舗装の目地材
・モルタル　※砂　(19.8.2)
側石の基層　・アスファルト舗装
※コンクリート舗装
仕上がりの面の平坦さ　・
※歩行に支障となる段差がない（コンクリート平板，インターロッキングブロックの段差は3mm以内）(19.8.2)
コンクリート平板の種類及び寸法　(19.8.4)
・図面による
・カラー平板
・洗出平板
・凝石平板
※普通平板（N300）
インターロッキングブロック
製造所　※監督員の承諾する製造所
材質，種類，形状，寸法，表面加工等　※図面による
・透水性ブロック
・植生ブロック
側石に用いる石材　・
種類，形状，寸法　※図面による　(19.8.3)

8 街きょ，縁石及び側溝

コンクリート縁石及び側溝　※形状及び寸法は図面による　(19.9.2)(表19.9.1)
現場打ちコンクリートの発注強度　・
※発注強度18N/mm²（無筋コンクリートは6章14節無筋コンクリートによる）(19.9.2)
地業の材料　※4章4.5.2(C)による　(19.9.2)

9 砂利敷き

砂利敷きの使用材料及び種類　(19.10.2)(表19.10.1)
・A種　・B種
※遮断　A種　建物周辺その他　B種

10 その他

20 排水工事

1 排水管

排水管材料及び管の種類　(20.2.1)(20.3.3)(表20.2.1)

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管	B形（ゴム接合）
・ 硬質塩化ビニル管	※ VP・VU	

2 排水桝

鉄鋼製マンホールふた　(20.2.2)

種類		適用荷重
・ 水利型	・ 密閉型（ターボーバッチング式）	・T－ 2用
・ 簡易気密型（バッチング式）	・ 中蓋付密閉型	・T－ 6用
・		・T－ 20用

製造所　評価名簿による

グレーチングふた

材質	形式	種類	適用荷重	メッシュピッチ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※縦目	※凹凸形
・ステンレス製	・	・桝ふた用	・T－ 2用	※普通目	※平形
・	ボルト固定	・かき上げ用	・T－ 6用	・縦目	・凹凸形
	※蝶し	・U字溝用	・T－ 用	・ mm	
	・図面による				

製造所　評価名簿による

3 その他の材料

地業の材料　(20.2.3)
・　切込み砂利　・　切込み砕石　・　再生クラッシャラン
埋め戻し材料
※　現場発生土の良質土　・

4 その他

21 植栽工事

1 植栽地の試験

土壌の酸度試験　・行う　・行わない　(21.1.3)
土壌の塩分量の試験　・行う　・行わない
植栽基盤の整備　・行う　・行わない　(21.2.2)(21.2.3)(表21.2.1)(表21.2.2)

樹木の樹高	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
・12m以上	※ 100 ・120 ・150	※ A種	・植栽ますの範囲（樹高7m以上）
・7～12m	※ 80 ・100	・ B種	※ 植込み部分
・7m未満	※ 60 ・ 80	・ C種	・ 図面による
		・ D種	
・芝，地被類	※ 20	※ B種 ・	※ 植栽範囲

3 土壌改良材

土壌改良　※ 行う　・行わない　(21.2.4)
（※ バーク堆肥50ℓ/㎡　・　）
施工箇所　※ 植込み部分　・図面による

4 材料

植込み用土　※ 現場発生土の良質土　・ 客土　(21.3.2)
支柱材　※ 杉の皮丸太　・ 竹　・
幹巻き用材料　※ 幹巻き用テープ　・わら及びこも

5 樹木の枯補償

新植樹木の枯補償　※ 引渡しの日から1年　・　(21.3.4)
移植樹木の枯損処理を行なう期間　※ 引渡しの日から1年　・　(21.3.6)

6 芝張り

芝の種類　※ こうらい芝の張　・ 野芝の張　(21.4.2)
芝張りの工法　(21.4.3)
平地　※ 目地張り
切り土法面　※ べた張り
盛り土法面　※ 筋芝張り

7 その他

22 カーテンウォール工事

1 性能

設計図書による規定の他，特記なき事項は（社）日本建築学会JASS14による。
風圧性　(22.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び告示第109号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧（　）kg/㎡以上及び負圧（　）kg/㎡に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	状態	たわみ量
※6m以下	各部の破損，過度変形有害な変形がおこらないこと	※（1/150）×h かつ絶対量20mm以下
・6mを越える	・	・

耐震性
設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・
垂直方向（Kv）　※0.5　・

状態	層間変位量（h＝支点間距離）
ファスナーが躯体の変位に追随しシール等に損傷がなく雨水等の外壁性能の低下が生じない。	※± (1/300) ×h以上
主要部材の破損，脱落が生じない。	※± (1/100) ×h以上 建物の高さが高く変形が少ない場合 ・± (1/150) ×h以上

水密性

可動サッシ部	・
その他一般部	・

気密性　・
耐久性　※建築基準法施行令第107条に規定する耐久時間を有すること
・（　）時間，施工箇所：図面による
性能の確認方法，判定方法　※信頼できる資料により，監督職員の承諾を受ける

2 メタルカーテンウォール

金属材料の種類　(22.2.2)

種類	銘柄等
・アルミニウム材	・
・ステンレス材	・
・鋼材	・
・	・

シーリング材の種類

被着体の組合せ		シーリング材の種類		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス	・	・	
	石，タイル	・	・	
ガラス	ガラス	・	・	
		・	・	
		・	・	

※上記以外のシーリング材の種類は（表9.5.1）による
構造用ガスケットの適用　※適用しない
・適用する（形状，寸法　※図面による）
断熱材　・適用しない
・適用する（種類：　厚さ（mm）：
施工箇所　※図面による）
製品の寸法許容差　※共仕　表22.2.1による　(22.2.3)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
製品の見掛かり部分の仕上げ　(22.2.3)
アルミニウム材の場合の表面処理

種類	色彩等
・A－1種・B－1種	銀白色
・A－2種・B－2種	・ブラウン系・ブラック・ステンカラー
・D種　塗装材料（　）塗装方法（　）コート（　）ベーク	

ステンレス材の場合の表面処理　・
鋼材の場合の表面処理　・
ガラス溝の寸法，形状等　※図面による　(22.2.3)
コンクリートの種類，品質　(22.3.2)
※共仕による
・下表による（ただし，下表以外は共仕による）

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋の種類の記号　※SD295A　・
補強鉄線の寸法　※径3.2mm以上　・
シーリング材の種類

施工箇所	シーリング材の種類		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
ガラスまわり目地	・	・	・
	・	・	・

上記以外のシーリング材の種類は（表9.5.1）による

3 PCカーテンウォール

断熱材　・適用しない
・適用する（種類：　厚さ（mm）：
施工箇所　※図面による　）
ゴンドラ用ガイドレール　※図面による
製品の見掛かり部の寸法許容差　※共仕による　(22.3.3)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
仕上げ　※（　）
配筋　※図面による　(22.3.4)
カーテンウォール取付の取り付け位置の寸法許容差　(22.3.5)
※共仕表22.3.2による
・製造所標準製作規定寸法許容差による

4 その他

23 ユニット及びその他工事

1 階段滑り止め

(23.2.2)

材種	※図面による	・
形状	※図面による	・
寸法	※図面による	・

2 フリーアクセスフロア

取付け工法　※接着工法　・埋込み工法
構成材の製造所　・評価名簿による　(23.2.4)

施工箇所	材種	配置図番号	耐荷重	表面仕上げ材
	・パネル本体材	・	・1.0G・0.6G	・布張りタイルカーペット
	・鋼製脚	※図面による	・	・タイルカーペット
	・パネル本体材	・	・1.0G・0.6G	・布張りタイルカーペット
	・鋼製脚	※図面による	・	・タイルカーペット
	・パネル本体材	・	・1.0G・0.6G	・布張りタイルカーペット
	・鋼製脚	※図面による	・	・タイルカーペット

表面仕上げ材の品質・規格等は，共仕18章による

③ トイレブース

構成材の製造所　・評価名簿による　(23.2.5)

表面仕上げ材	・メラミン樹脂化粧板（標準色　アルミ部ローズゴールド付き） ・ポリエステル化粧板（標準色　アルミ部ローズゴールド付き）
足形状	・低床型　・足音軽減
取り付け方法	※図面による

※ トイレブース ドアシル うく例

④ ブラインド

(23.2.6)

形式	開閉方式	幅及び高さ	スラットの幅	スラットの材種	ウィンドウ内ブラインドの制御
※横型	※ギア式 ・コード式	※図面による	※25 ・	※アルミニウム合金 ・	※個別
・縦型	※コード式	※図面による	・ ・	・アルミニウムスラット ・クロスラット	

⑤ カーテン

形式　・片引き　・引き分け　(23.2.7)
飾り付け　※図面による
引き分け装置　・電動　・ひも引き　・手引き
ひだの種類　・フランスひだ　・袋ひだ，つまひだ
・プレーンひだ，片ひだ
カーテンレールの材種　※ステンレス　・アルミニウム合金

6 鏡

厚さ　※5mm　・　(23.2.9)

⑦ 表示

(23.2.10)
・ガラススクリーンの対人衝突防止表示の形状，寸法，材質　※図面による
非常用進入口等の表示の形状，材質，寸法　※図面による
・室名札，ピクトグラフ，案内板等の形状，寸法，材質，色，書体，印刷等の種別，取り付け形式　※図面による

8 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材の製造所　・評価名簿による　(23.2.11)
キャスタブル耐火材の製造所　・監督職員の承諾する製造所

9 コーナービード

施工箇所及び材種　※図面による　(23.2.12)

10 プレキャストコンクリート工事

補強鉄線の径　※径3.2mm以上　・　(23.3.2)
取付け金物　・電気亜鉛メッキ　・SS400
コンクリートの設計基準強度　(23.3.3)
※共仕による
・設計基準強度　Fc（　kg/cm²）
配筋　※図面による
取付け方法　※図面による　(23.3.4)

11 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

間知石の材種　・間知石　(23.4.2)
・コンクリート間知ブロック
（種類及び質量区分　※図面による）
地業　・割石地業　・砂利地業
積み方　※谷積み　・布積み　(23.4.3)
目地り　・行う　・行わない
外観調整目地

材種	・エラスタイト　・
厚さ	・10　・

12 敷地境界石標

石標の種別の適用　・A種　※B種　(23.5.1)

13 その他

工事名	(医療)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H.12.12
図番	A-07	特記仕様書 4	縮尺
監督局長	所長	課長	係長

横浜市建築局　株式会社 鎌倉設計工房

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物固有番号	確認番号	図面種類番号	図面固有番号	特殊記号
H	2	5	2 0 4 0	0 5 1 0	0	0 1	F

1.工事名称

工事名称	(国庫)山下公園レストハウス新築工事（建築工事）	建築主	住所
建築場所	横浜市中区山下町２７９（山下公園内）		氏名 横浜市
主要用途	休憩所		〒 TEL
工事種別	増築	工期	着工予定 竣工予定 工期

2. 敷地状況

敷地面積	実測 74,154.4m2 （ 22,403.15 坪）	建ぺイ率	基準建ぺイ率 80 %（加重 %）
	公簿 （ 坪）	容積率	基準容積率 400 %（加重 %）
道路	巾員 25 （公道・私道）計画道路 号 m		（前面道路巾員 = %）
用途地域	低層住居専用地域（第 種）・中高層住居専用地域（第 種）・住居地域（第 種） 準住居地域・近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域・工業専用地域	高度地区	第７種
		北側斜線	
防火地域	防火・準防火・指定なし・特定行政庁の指定区域	日影制限	平均地盤面からの高さ m
その他の地域地区	都市計画区域内・都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・風致地区（第 種） 再開発事業区域・文教地区（第 種）・土地区画整理事業地区・宅地造成工事規制区域 屋外広告物規制区域		敷地境界線より5mをこえ10m以内 制限 敷地境界線より10mをこえる範囲 制限

3.構造・規模

構造	SRC造・RC造・PC造・HPC造・鉄骨造・軽量鉄骨造・CB・木造 （法定構造 耐火建築物・準耐火建築物（イ・ロ）・防火構造）	階数	（地下 階）（地上 1階）（塔屋 階）
		最高高さ	4.80m（4,779.46mm）
構造形式	ラーメン・ブレース・壁・その他	最高軒高	3.90m（3,902.00mm）
基礎	布基礎（独立・布・べた）・杭基礎・打込杭（ ） 埋込杭（ ）・場所打杭（ ）・その他	その他	
増築予定	有 無		

4. 面積

	申請部分 (m²)	申請以外の部分 ()	合計 (m²)	建ぺい率・容積率	備考(ピロティ・バルコニー等)
建築面積	444.55		444.55	許容 ≤80.00%	
延床面積	444.44 ( )	( )	444.44 ( )	許容 100.0≤400.0 %	

5. 床面積

階別	申請部分		申請以外の部分		計		階高	主要用途
1階	444.44 (m²)	134.44(坪)	(m²)	(坪)	444.44 (m²)	134.44(坪)		休憩所
合計	444.44				444.44			

6.耐火構造リスト

耐火構造リスト	部位	法定耐火時間	認定耐火時間	仕様	番号
	屋根	30分	30分	高圧木毛セメント板	R0154
	梁	1時間	1時間	鉄骨+ロックウール吹付	(通) C1001
	柱・外壁	1時間(延焼以外は30分)	1時間	コンクリート打放し	
	間仕切壁	1時間	1時間	中空セメント板 t=60（不燃（個）第1061号）	W-1012
				ALCパネル間仕切壁（中空セメント板上部）：両面けい酸カルシウム板張り t=24（不燃第1001号）	W-2103
	床	1時間	1時間	コンクリート下地，タイル貼り	

7.外部仕上等

屋根	形状	自由勾配流れ屋根（可燃）	庇		なし
	仕上材	アルミ板 t=3 フッ素樹脂塗装（日光遮断月等部）	方立		押出成形セメント板 t=60 切加工w220. FSO
	下地	t=15 高圧木毛セメント板（曲線可タイプ）	開口部	窓	アルミサッシ（ホワイト）
				出入口	休憩所：アルミサッシ（ホワイト）
パラペット		なし			控室：アルミドア（ホワイト）
					事務室：アルミドア（ホワイト）
外壁（柱・梁型）		コンクリート打放しの上，フッ素樹脂塗装		自動ドア	
		（回廊：カラーアルミ，および人造石研ぎ出し）		カラリ	通気カラリ：アルミ t=450，アルミ丸型φ300
				窓ガラス	強化ガラス t=4（飛散防止フィルム）
軒裏		t=6 フレキシブルボード，その上 カラーアルミ板 t=0.8 エンボスアルミ			ポリカーボネート複合板 t=10(乳白色)

※「フッ素樹脂塗装（FSO）」は、親水性低汚染タイプとする。

ピロティー	なし	ツーリング (外部)	特記仕様書による
基礎（水勝 H=）	ベタ基礎：コンクリート打ち	(内部)	
屋外階段	なし	断熱材（屋根・外壁・床等）	ALC屋根面→発砲ウレタン吹付 t25
			天井裏→グラスウール敷込 t50

8.外部金物等

	材質・寸法	防錆・仕上	数量	備考			材質・寸法	防錆・仕上	数量	備考
笠木	なし				丸環		なし			
					埋干金物		なし			
手摺	なし				換気口	外壁	なし			
						軒裏	塩化ビニール樹脂			
タラップ	なし					床下	なし			
					枠		スラットル			
軒樋	なし				トップライト		なし			
竪樋	なし				点検口等		なし			
鼻隠	なし				非難器具等		なし			
ルーフドレイン	なし				水切					
面格子	なし									
物干金物	なし									

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事（建築工事）	年月日	H12 12
図面番号	A-08	図名	設計概要・外部仕上表
縮尺			

横浜市建築局 株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6664
FAX045-316-1453
一級建築士事務所 県知事登録第5411号
一級建築士 大臣登録第155213号
藤本幸光

工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺
図名 設計概要・外部仕上表 図番 A-8

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物図面番号	階数番号	図面種類番号	図面図面番号	特記記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	1	0 0 2	F

階	室名	床	F.H S.しからの高さ	幅木	H F.しからの高さ	腰壁	H F.しからの高さ	壁	H F.しからの高さ	天井	C.H F.しからの高さ	建具	備考
B	地下ピット	コンクリート打ち型枠外しのまま		コンクリート打ち型枠外しのまま				コンクリート打ち型枠外しのまま		コンクリート打ち型枠外しのまま	800 | 900 | 1,200		・人通口 ・通気管
1	休憩所	・コンクリート下地 100角磁器質タイル貼り (ジョスリップ溝付 パターン雑詳細図B参照) ・ボーダー:25角磁器質タイル貼り	40	・間仕切壁:100角磁器質タイル小竹内巾木(白)	200	・コンクリートブロック下地 100角磁器質タイル貼(接着工法) (ジョスリップ溝付 パターン雑詳細図B参照)	巾木共 850	・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(白)(コンクリート下地) ・中空セメント板 t=60 AE ・間仕切壁 LGS下地部分 パターン雑詳細図P参照) 50角磁器質タイル貼(白)(ラスシート下地) フレキシブルボード t6、パテシコキの上	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り) 一部ロックウール化粧吸音板 t=12張り ・梁型:フレキシブルボード t=6 AE	3,350 (一部3,600)	目透かし	・照明BOX(柱型、梁型)アクリル板 t.6 ・床点検口×2ケ所 ・腰板 St-6 UE ・SUSタラップ ラス×2ヶ所
1	廊下	・コンクリート下地 100角磁器質タイル貼り (ジョスリップ溝付 パターン雑詳細図B参照) ・ボーダー:25角磁器質タイル貼り	40	・間仕切壁:100角磁器質タイル小竹内巾木(白)	200	・コンクリートブロック下地 100角磁器質タイル貼(接着工法)	巾木共 850	・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(白)(コンクリート下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り) ・梁型:フレキシブルボード t=6 AE	3,350	目透かし	・照明BOX(柱型、梁型)アクリル板 t.6 ・腰板 St-6 UE
1	インフォメーション	・コンクリート下地 100角磁器質タイル貼り (ジョスリップ溝付 パターン雑詳細図B参照) ・ボーダー:25角磁器質タイル貼り	40	・間仕切壁:100角磁器質タイル小竹内巾木(白)	200	・コンクリートブロック下地 100角磁器質タイル貼(接着工法)	巾木共 850	・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(白)(コンクリート下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り) ・梁型:フレキシブルボード t=6 AE	3,350	目透かし	・照明BOX(柱型、梁型)アクリル板 t.6 ・床点検口×1ケ所 ・腰板 St-6 UE ・SUSタラップ ラス×1ヶ所
1	機械室	・コンクリート下地 モルタル金コテ押え t40の上、ケイ酸塩系浸透性コンクリート表面強化材塗り	40	目地切	200			・モルタル金コテ押え t=25の上、AE ・中空セメント板 t=60 AE (一部 壁:中空セメント板 t=60) ・パイプシャフト:LGS下地、ラスシートの上、モルタルt=15	・2,000まで ・3,600まで [0~3,600] ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	3,350	目透かし	
1	倉庫	・ALC下地 モルタル金コテ押え t40の上、ケイ酸塩系浸透性コンクリート表面強化材塗り	250	目地切	200	・モルタル金コテ押え t=25の上、VP	850	・柱型:コンクリート打放し AE ・モルタル金コテ押え t=25の上、AE ・中空セメント板 t=60 AE ・間仕切壁 LGS下地部分 パターン雑詳細図P参照) ラスシート下地、モルタル金コテAE フレキシブルボード t6、パテシコキの上	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	3,350	目透かし	・一部、将来配管用開口部 ・腰板 St-6 UE
1	ポーチ	・コンクリート下地 100角磁器質タイル貼り (ジョスリップ溝付 パターン雑詳細図B参照) ・ボーダー:25角磁器質タイル貼り	40	・立上り部、出隅部、入隅部100角磁器質タイル小竹内巾木 ・間仕切壁:100角磁器質タイル小竹内巾木	200	コンクリート打放しの上、ポリ樹脂化粧ガラス繊維強化板 t=3.2	2,000まで	・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(コンクリート下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 (2,100~3,600) ・2,000まで 一部2,400まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り) ・梁型:フレキシブルボード t=6 AE	3,445	目透かし	・照明BOX(柱型、梁型)アクリル板 t.6
1	車椅子対応便所	150角磁器質タイル貼	100	・立上り部、出隅部、入隅部100角磁器質タイル小竹内巾木	200			・50角磁器質タイル貼(コンクリート下地) (一部CB下地) ・中空セメント板 t=60 AE ・LGS下地 フレキシブルボード t6 AE	・2,000まで ・3,600まで 2,000~2,300	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	2,300	目透かし	・床排水 目皿 ・ベビーシート ・荷物置台 ・アルミガラリ:丸型 φ300×4ケ所
1	男子便所	コンクリート下地 150角磁器質タイル貼	100	・立上り部、出隅部、入隅部100角磁器質タイル小竹内巾木	200			・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(コンクリート下地) (一部CB下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	3,445	目透かし	・笠木:テラゾー ・グレーチング ・隔板:メラミンネート複合板(乳白) ・アルミガラリ:丸型 φ300×4ケ所
1	女子便所	コンクリート下地 150角磁器質タイル貼	100	・立上り部、出隅部、入隅部100角磁器質タイル小竹内巾木	200			・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(コンクリート下地) (一部CB下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	3,445	目透かし	・笠木:テラゾー ・グレーチング ・隔板:メラミンネート複合板(乳白) ・アルミガラリ:丸型 φ300×4ケ所 ・床点検口×1ケ所 ・SUSタラップ ラス×1ヶ所
1	親子便所	コンクリート下地 150角磁器質タイル貼	40	・立上り部、出隅部、入隅部100角磁器質タイル小竹内巾木	200			・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(コンクリート下地) (一部CB下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	3,445	目透かし	・笠木:テラゾー ・ベビーシート(木製にて構成) ・床排水 目皿 ・掃除用具入れ棚
1	事務室	コンクリート下地 モルタル金コテ t2.3	40	・立上り部、出隅部、入隅部100角磁器質タイル小竹内巾木	200	・コンクリートブロック下地 50角磁器質タイル貼(接着工法)	850	・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(コンクリート下地) (一部CB下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	3,445	目透かし	・アルミガラリ:丸型 φ300×4ケ所 ・間仕切壁:メラミン化粧合板 ・腰板 St-6 UE ・ブラインド
1	前室・男子洗面所	コンクリート下地 150角磁器質タイル貼	40	・立上り部、出隅部、入隅部100角磁器質タイル小竹内巾木	200			・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(コンクリート下地) (一部CB下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	3,445	目透かし	・洗面カウンター:メラミン化粧ソリッドパネル ・床排水 目皿 ・床点検口×1ケ所 ・カウンター前:ステンレス棚×5ケ所 ・SUSタラップ ラス×1ヶ所
1	前室・女子洗面所	コンクリート下地 150角磁器質タイル貼	40	・立上り部、出隅部、入隅部100角磁器質タイル小竹内巾木	200			・柱型:コンクリート打放し AE 50角磁器質タイル貼(コンクリート下地) (一部CB下地) ・中空セメント板 t=60 AE	・0~3,600 ・2,000まで ・3,600まで	・フレキシブルボード t=6 パテシコキの上、AE(一部、目透かし張り)	3,445	目透かし	・洗面カウンター:メラミン化粧ソリッドパネル ・床排水 目皿 ・アルミガラリ:丸型 φ300×10ケ所 ・カウンター前:ステンレス棚×6ケ所

※塗装記号凡例

VP→ 塩化ビニル樹脂塗料
FSO→ フッ素樹脂塗料(低汚染親水性タイプ)
UE→ ウレタン樹脂塗料(低汚染親水性タイプ)
AE→ アクリル樹脂塗料(低汚染型セラミック変性)

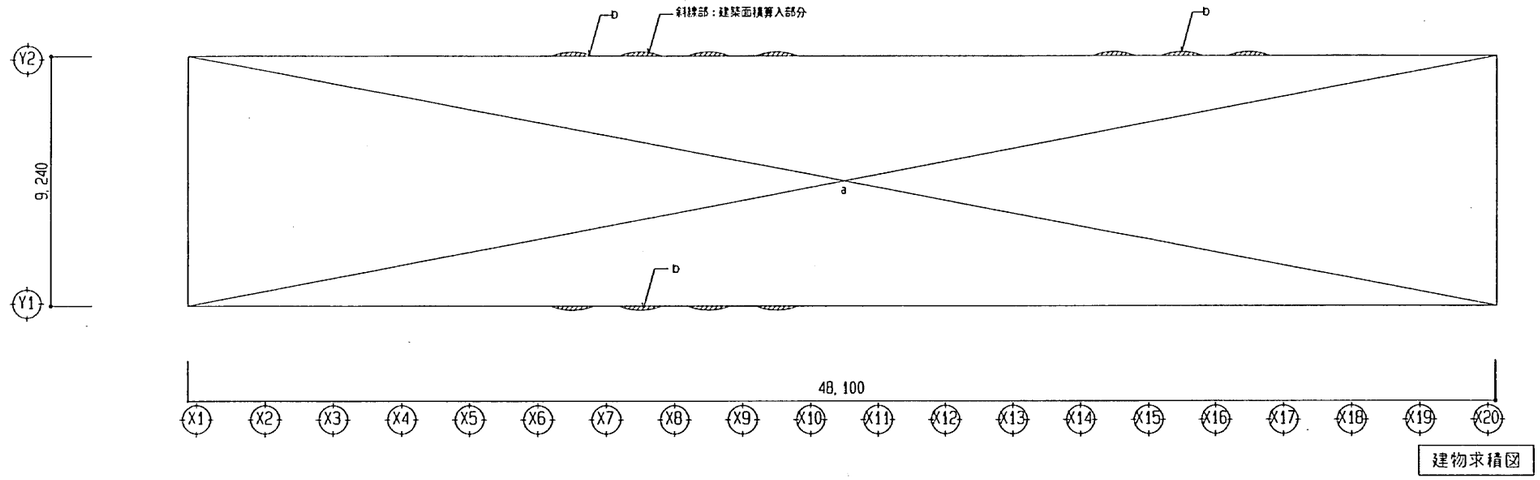
工事名	(国)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-09 内部仕上表	縮尺	

横浜市建築局 株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所 県知事登録第5411号
一級建築士 大臣登録第155213号
藤本幸光
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-313-1654
FAX045-316-1653

(国)山下公園レストハウス新築工事
(建築工事)縮尺
工事名
図名 内部仕上表
図番 A-09

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物固有番号			地区番号			図面種類番号	図面固有番号			特殊記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	1	0	0	3	F



建物求積図

建物求積表		
記号	計算	面積
a	48.10×9.24	444.44
b	0.01×11	0.11
合計	a + b	444.55

建物求積図・求積表 1/100

工事区分表

建築関連工事

番号	取合工事	建築	衛生	空調	電気	外構	別途	備考
1	基礎配管及び第一側配の配管		○					注)特記あるもののみ
2	外壁取付カラリ	○						ｻﾗﾝﾄﾞ付
3	内壁取付カラリ、ドアカラリ	○						
4	流し台・ガス台							(配管接続は衛生)
5	浴槽							
6	化粧鏡類	○						
7	化粧棚類		○					
8	躯体開孔の新設工事	○						
9	消火器	○						注)特記あるもののみ
10	敷地内の雨水配管及び雨水桝						○	注)特記あるもののみ
11	ｽﾛｰﾌﾟ・ﾌﾗｯｼﾝｸﾞ取付工事	○						
12	机・食器棚・付替・備品等						○	
13	シャッター取付工事						○	
14	屋上電源供給							
15	手摺	○						
16	ﾍﾞｰﾊﾟｰｽﾄｯﾌﾟ		○					
17	ﾍﾟﾋﾞｰｼｰﾄ	○						
18	荷物置石	○						
19	用具掛け棒	○						
20								
21								
22								
23								

電気・衛生・空調　共通関連工事

番号	取合工事	建築	衛生	空調	電気	外構	別途	備考
1	構造躯体の異常ｽﾗｲﾌﾟ又は箱入	○						
2	ｽﾗｲﾌﾟ及び箱入の躯体補強	○						
3	ｽﾗｲﾌﾟ及び箱入の穴埋め補修	○						
4	ｺﾝｸﾘｰﾄ躯類（防水・仕上げ）	○						
5	ｺﾝｸﾘｰﾄ躯類の異常筋・防水筋・鉄筋等など	○						
6	ｺﾝｸﾘｰﾄ躯類のｱﾝｶｰ・ｽﾀｯﾌﾟなど	○						
7	屋内に設置する機器の基礎及び仕上げ	○						
8	屋外に置する機器の基礎及び仕上げ	○						
9	機器設置に対する躯体補強	○						
10	機器設置のｱﾝｶｰ取付及び大規模補修		○	○	○			屋面に敷き
11	ﾀﾞｸﾄｽﾗｯｼｭ・ﾏﾝﾎｰﾙ等の点検口及び蓋	○						
12	各設備のための床・壁・天井の点検口	○						
13	壁・天井に設置の配管・電気工事の開口及び補修	○						
14	壁・天井に設置の配管・電気工事の開口及び補修	○						
15	設備機器の墨出し・取付け		○	○	○			
16	機器の遮音・防音・防振工事		○	○	○			
17	上水道・下水道・ガスの 差引き込み後の使用料金						○	
18	本受電後の電力料金						○	
19	本受電後及び上・下水道 ・ガス引込管の基本料金						○	
20	貫通部回りのｼｰﾙ工事	○	○	○	○			
21	給気用ｴｱｼｬﾝﾊﾟｰｴｱｶﾞﾗﾘ取付工事	○						
22	手洗器取付部ｼﾘｺｰﾝｼｰﾙ工事							

空調関連工事

番号	取合工事	建築	衛生	空調	電気	外構	別途	備考
1	空調機の一次側電源供給工事				○			
2	空調室外機と室内機の渡り配線工事 （操作・電源・ｱｰｽ）			○				
3	空調室外機とｻﾋﾞﾝﾎﾞﾝ取付工事			○				
4	空調室内機のｻﾋﾞﾝﾎﾞﾝ配管配線				○			
5	屋上の一次側電源供給工事 及びｽｲｯﾁ取付工事							
6	空調換気扇のｻﾋﾞﾝﾎﾞﾝ配管配線				○			
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								

衛生関連工事

番号	取合工事	建築	衛生	空調	電気	外構	別途	備考
1	汚水桝・雨水桝及び配管接続		○					
2	敷地外の本管との配管接続		○					
3	給湯機の一次側電源供給工事							
4	給湯機の二次側配線及びｻﾋﾞﾝﾎﾞﾝ取付工事							
5	屋上警報取付用補強鋼板取付工事							
6	排水グレーチング類、目皮	○						
7	外部に面する基礎ﾓﾙﾀｰ廻り グラウトモルタル充填							
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								

電気関連工事

番号	取合工事	建築	衛生	空調	電気	外構	別途	備考
1	電気設備の自動制御工事一式				○			
2	自動制御の一次側電源工事				○			
3	電話機器				○			
4	インターホン取付工事				○			
5	将来：ﾃﾚﾋﾞｼｮﾝ対応配管工事				○			
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								

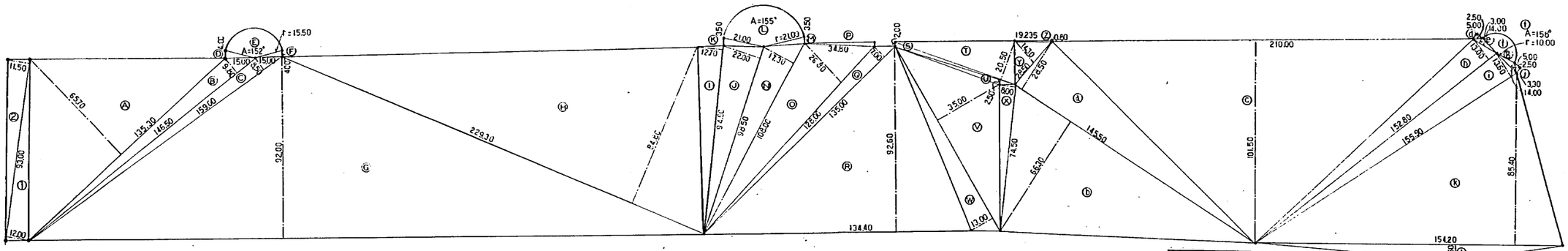
工事名	(国産)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図番	A-10	建物求積図・求積表、工事区分表	縮尺 1/100

横浜市建築局　株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1653
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国産)山下公園レストハウス新築工事
(建築工事)
縮尺 1/100
図名 建物求積図・求積表、工事区分表
図番 A-10

工事種別	種類	識別番号	統合図有番号			統計番号			図面種類番号	図面固有番号				特殊記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	1	0	0	4		F



求積図

角	底辺	高さ		面積
I	93.00	12.00	1/2	558.000
Z	93.00	11.50	1/2	534.750
				1092.750

北部地区求積図 (㎡)

角	底辺	高さ		面積
A	135.30	65.70	1/2	4,444.695
B	146.50	9.80	1/2	717.650
C	159.00	8.50	1/2	675.750
D	15.00	4.00	1/2	30.000
E	(15.50²×3.14×152÷360)			318.518
F	15.00	4.00	1/2	30.000
G	348.00	92.00	1/2	15,648.000
H	229.30	84.00	1/2	19,272.320
				31,5790.043

中部地区求積図 (㎡)

角	底辺	高さ		面積
I	91.50	12.70	1/2	581.975
J	90.50	29.00	1/2	985.000
K	21.00	3.50	1/2	36.750
L	(21.00²×3.14×155÷360)			596.207
M	21.00	3.50	1/2	36.750
N	108.00	17.30	1/2	934.200
O	128.00	26.00	1/2	1,664.000
P	34.00	2.00	1/2	34.000
Q	135.00	7.00	1/2	472.500
R	134.00	92.60	1/2	6,222.170
S	63.00	2.00	1/2	63.000
T	63.00	20.50	1/2	645.750
U	107.00	35.60	1/2	1,904.600
V	107.00	13.00	1/2	695.500
W	107.00	13.00	1/2	695.500
				15,026.302

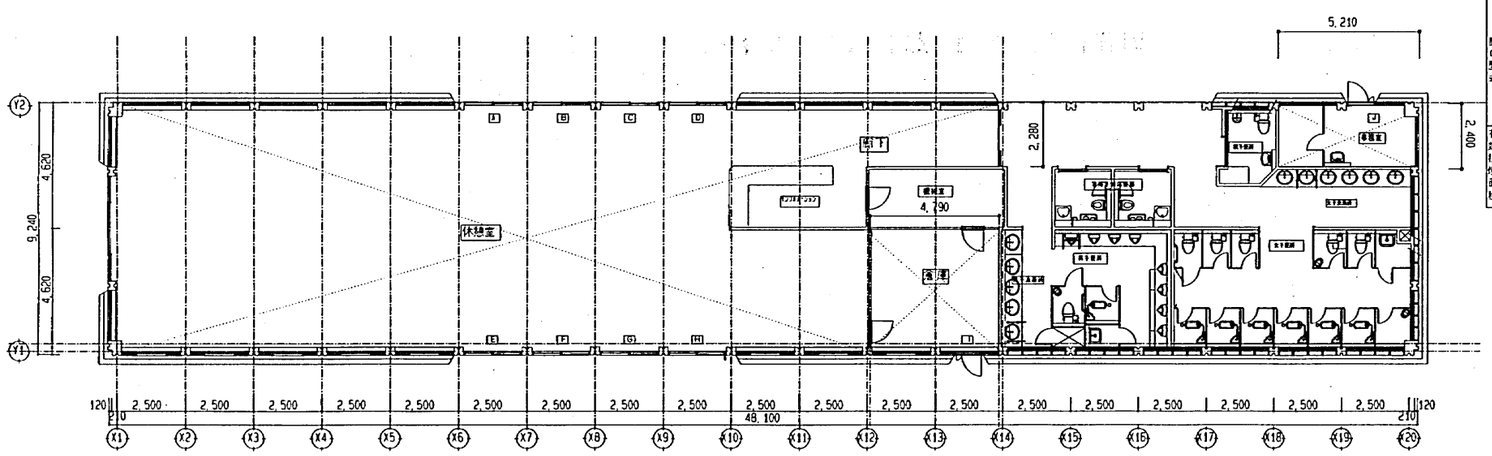
南部地区求積図 (㎡)

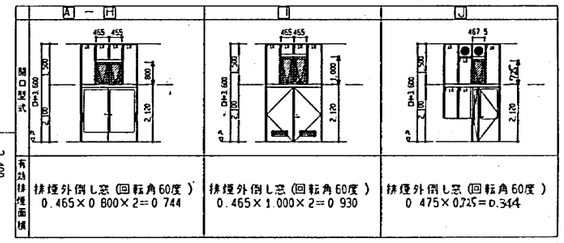
角	底辺	高さ		面積
X	77.50	8.00	1/2	298.000
Y	28.50	14.30	1/2	203.775
Z	18.275	8.00	1/2	73.100
a	145.50	28.30	1/2	2,073.375
b	145.50	66.30	1/2	4,823.325
c	210.00	101.50	1/2	10,657.500
d	5.00	2.50	1/2	6.250
e	14.00	3.30	1/2	23.100
f	(14.00²×3.14×150÷360)			107.011
g	14.00	3.30	1/2	23.100
h	152.00	13.00	1/2	988.200
i	152.30	13.60	1/2	1,036.040
j	5.00	2.50	1/2	6.250
k	154.20	85.40	1/2	6,584.340
l	154.20	8.50	1/2	655.350
				27,549.110

北=31,579.04
中=15,026.30
＋ 南=27,549.11
計=74,154.45

総面積 74,154.45

敷地求積図・求積表





排煙面積表

室名	必要排煙面積	有効排煙面積	判定
休憩室・廊下	(27.50×9.24+5.00×2.28)×1/50 =5.31	A+B+C+D+E+F+G+H+I =5.952	OK
（倉庫）	4.79×4.62×1/50 =0.44	I =0.930	OK
事務室	5.21×2.40×1/50 =0.25	J =0.344	OK

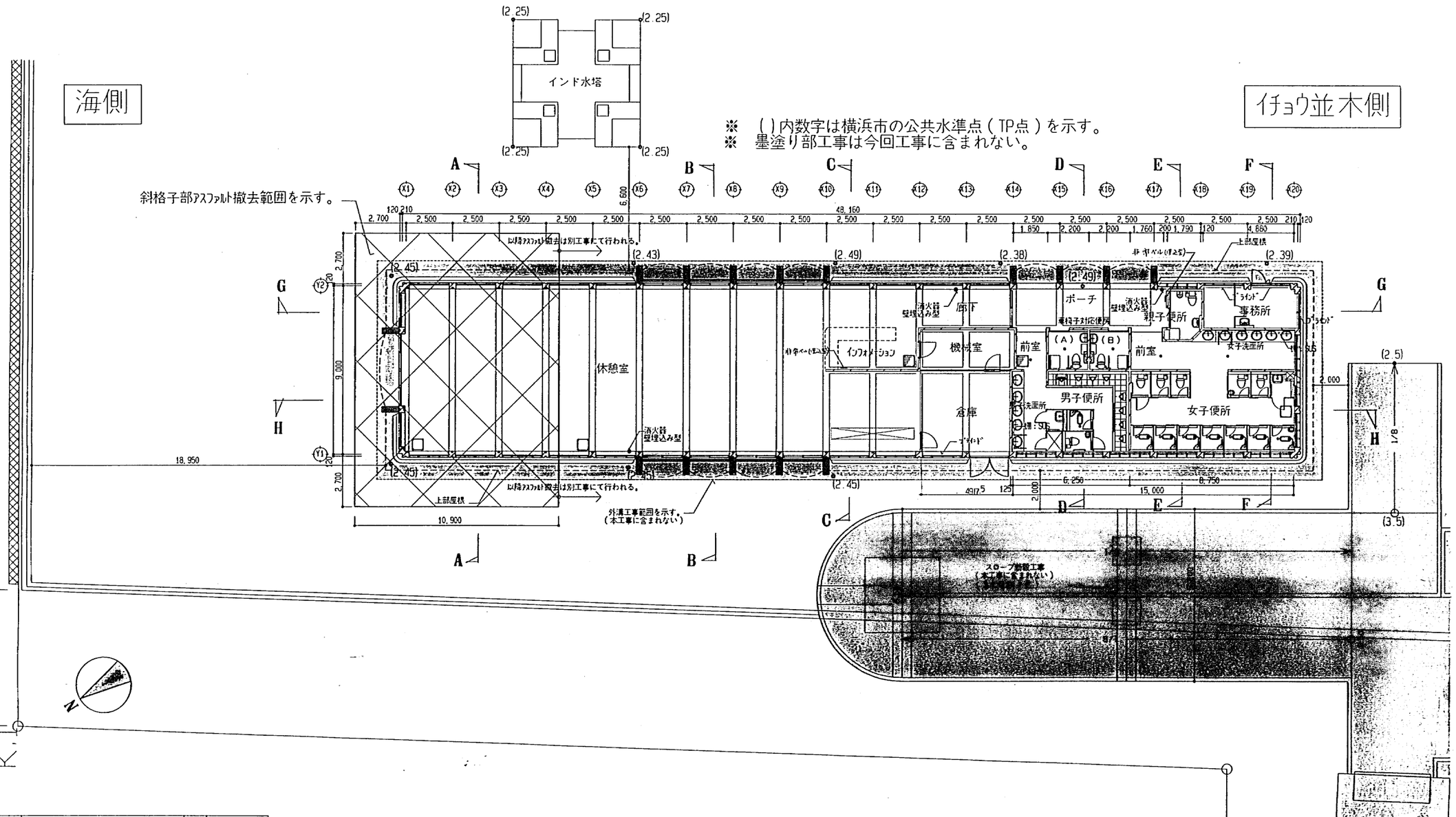
工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)		年月日 12.12	
図面番号	A-11	敷地求積図・敷地求積表、排煙計算表	縮尺 1/100 1/100	
確認	審査	検図	検図	所長
				株式会社 鎌倉設計工房
横浜市建築局				

株式会社 鎌倉設計工房
一級建築士事務所 県知事登録第5411号
一級建築士 大臣登録第155213号
藤本幸夫
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-7453

(国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/100
工事名
敷地求積図・敷地求積表、排煙計算表
図名
図番 A-11

法 12

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物図面番号			地区番号			記述種類番号	図面図面番号			枝番記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	1	0	0	5	F



工事名	(仮称)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)				年月日	12 12	
図面番号	A-12	配置図兼平面図				縮尺	1/100
建築部長	建築部長	部長	区長	部課	所長	株式会社 鎌倉設計工房	
横浜市建築局							

• アルファベットは、断面図表現位置を示す。

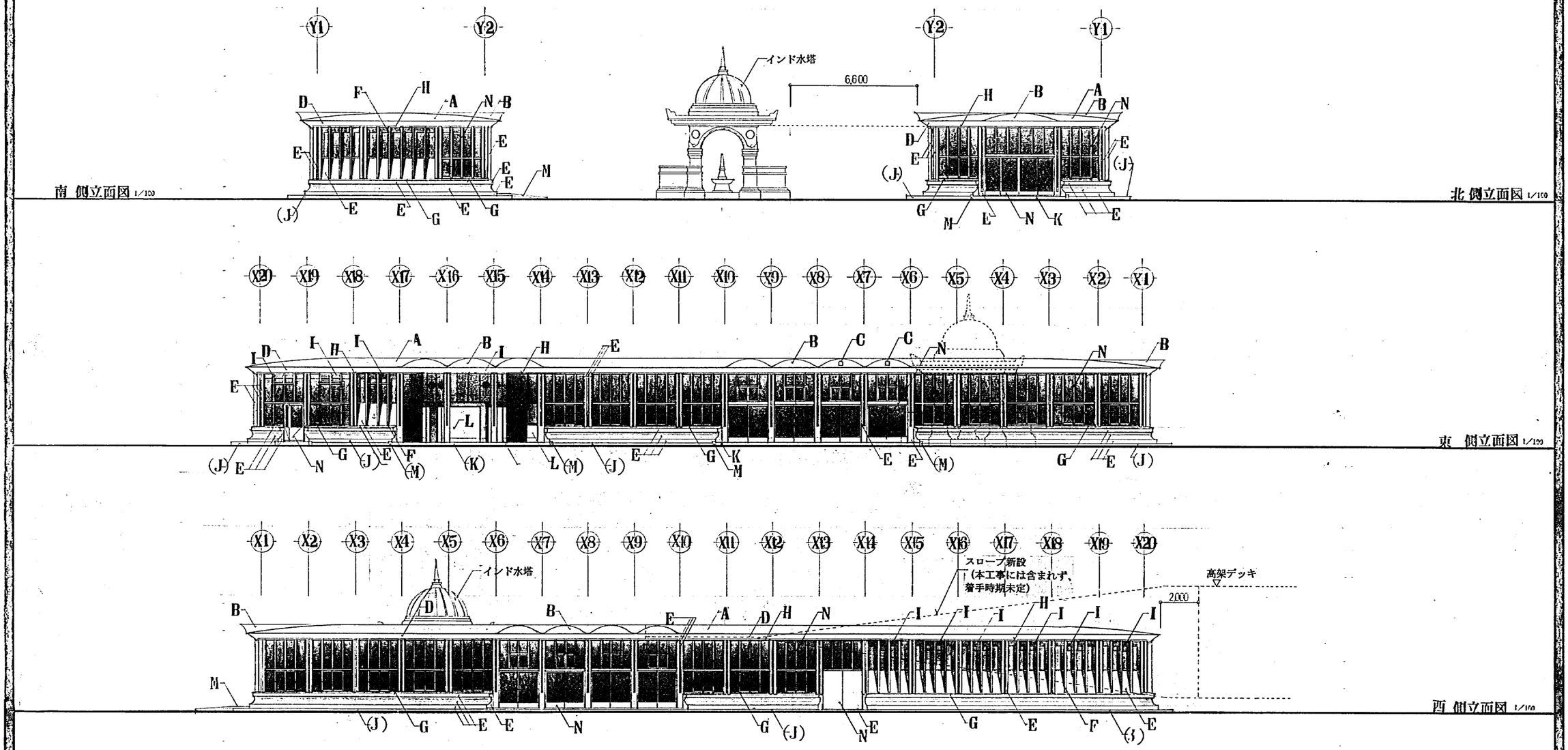
株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453

一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第156213号
藤本幸充

工事名 (仮称)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/100

図名 配置図兼平面図 図番 A-12

工事種別	用途番号	建物区間番号	建物固有番号			施設番号			部屋区間番号	部屋固有番号			特殊記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	1	0	0	6	F



( ) は本工事から除外。

A	アルミ板 t=3、親水性フッ素樹脂塗装(低汚染タイプ)、高圧木毛セメント板t=15(30分耐火下地)	F	中空セメント板t=60、親水性フッ素樹脂塗装(低汚染タイプ)	K	土間コンクリートt=100打、せっ質レンガタイル貼
B	アルミ板 t=3加工、親水性フッ素樹脂塗装(低汚染タイプ)	G	水切り板、人造石研出し	L	コンクリート打放しの上、50角磁器質タイル貼
C	インド水塔 投光器用開口部	H	カラーアルミ 額縁	M	コンクリート打放し金ゴテ押え
D	無石綿セメント板t=6、α上 t=0.8 カラーアルミエンボス加工板貼り	I	カラーアルミ製ガラリ	N	カラーアルミサッシ塩害仕様
E	コンクリート打放しの上、親水性フッ素樹脂塗装(低汚染タイプ)	J	PCコンクリート縁石 h200×w150+20 (舗装面より立上り150)		

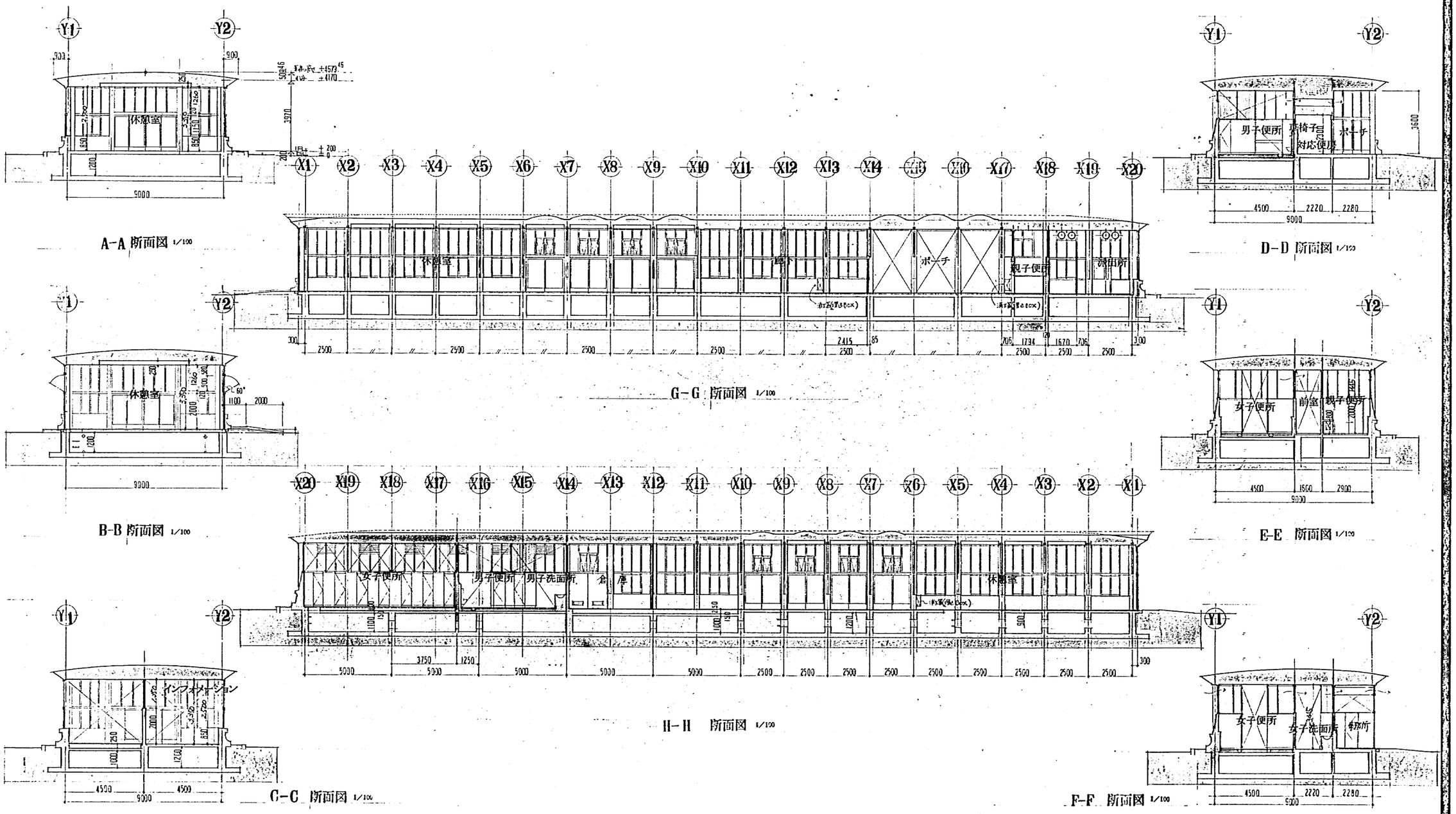
工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-13 立面図	縮尺	1/100
横浜市建築局	株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/100

図名 立面図 図番 A-13

工事種別	用途番号	建物種別番号	建物固有番号	施設番号	既存施設番号	施設固有番号	枝番記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	1	0 0 7	F



工事名	(図庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-14	縮尺	1/100
図面名	断面図		
横浜市建築局	株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-311-6604
FAX045-319-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (図庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事)
縮尺 1/100
図名 断面図
図番 A-14

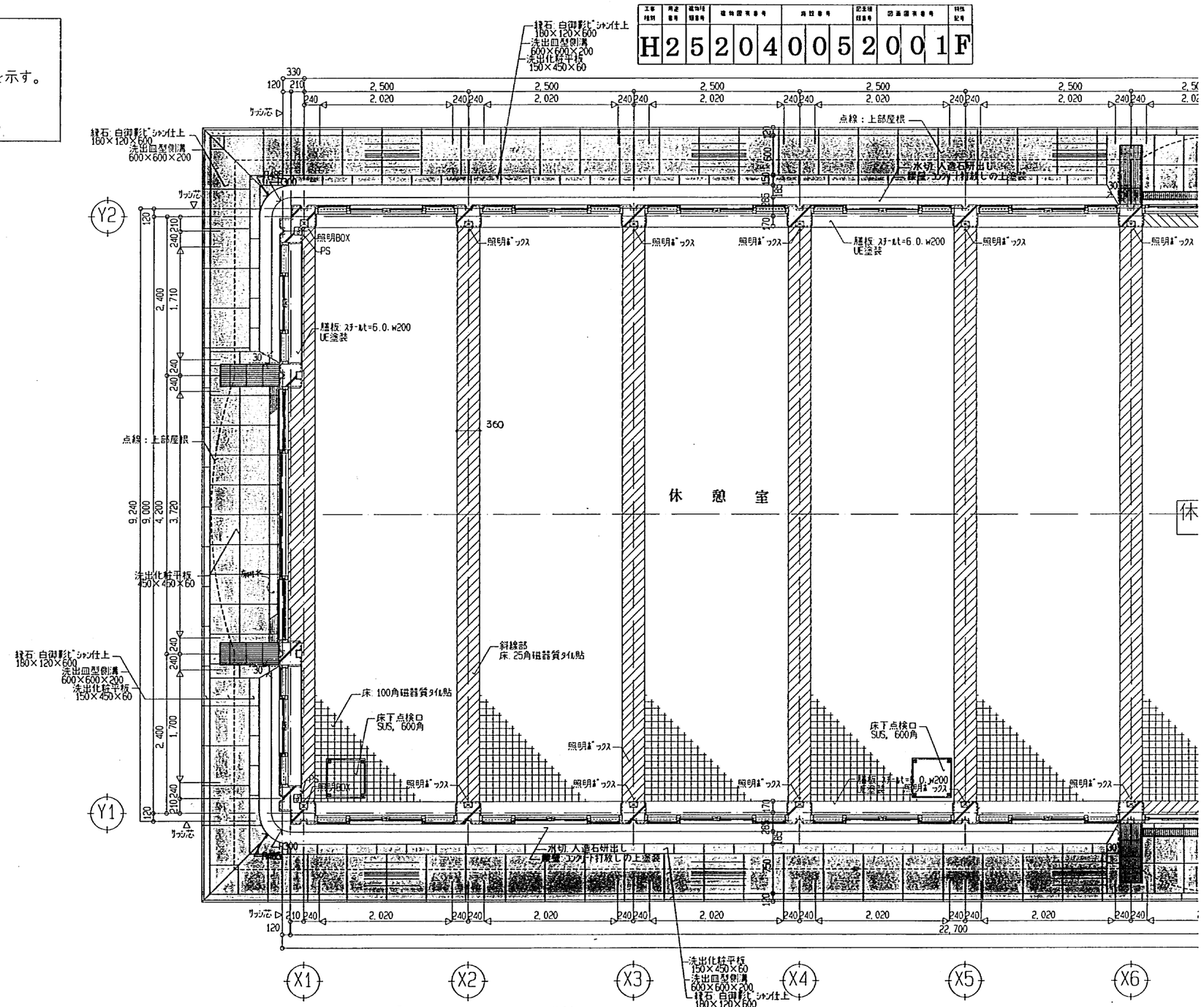
工事種別	用途番号	建物種類番号	建物固有番号			階数番号		図面種類番号		特記番号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	0	1	F

特記事項

⊲——⊳ は建具内法寸法を示す。

▨ 25角モザイク磁器質タイル貼、範囲を示す。

墨塗り部：外構は別途工事とする。



工事名	(国営)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-15	平面詳細図 1	縮尺 1/30
監督	課長	係長	係員	設計	株式会社 鎌倉設計工房
横浜市建築局			

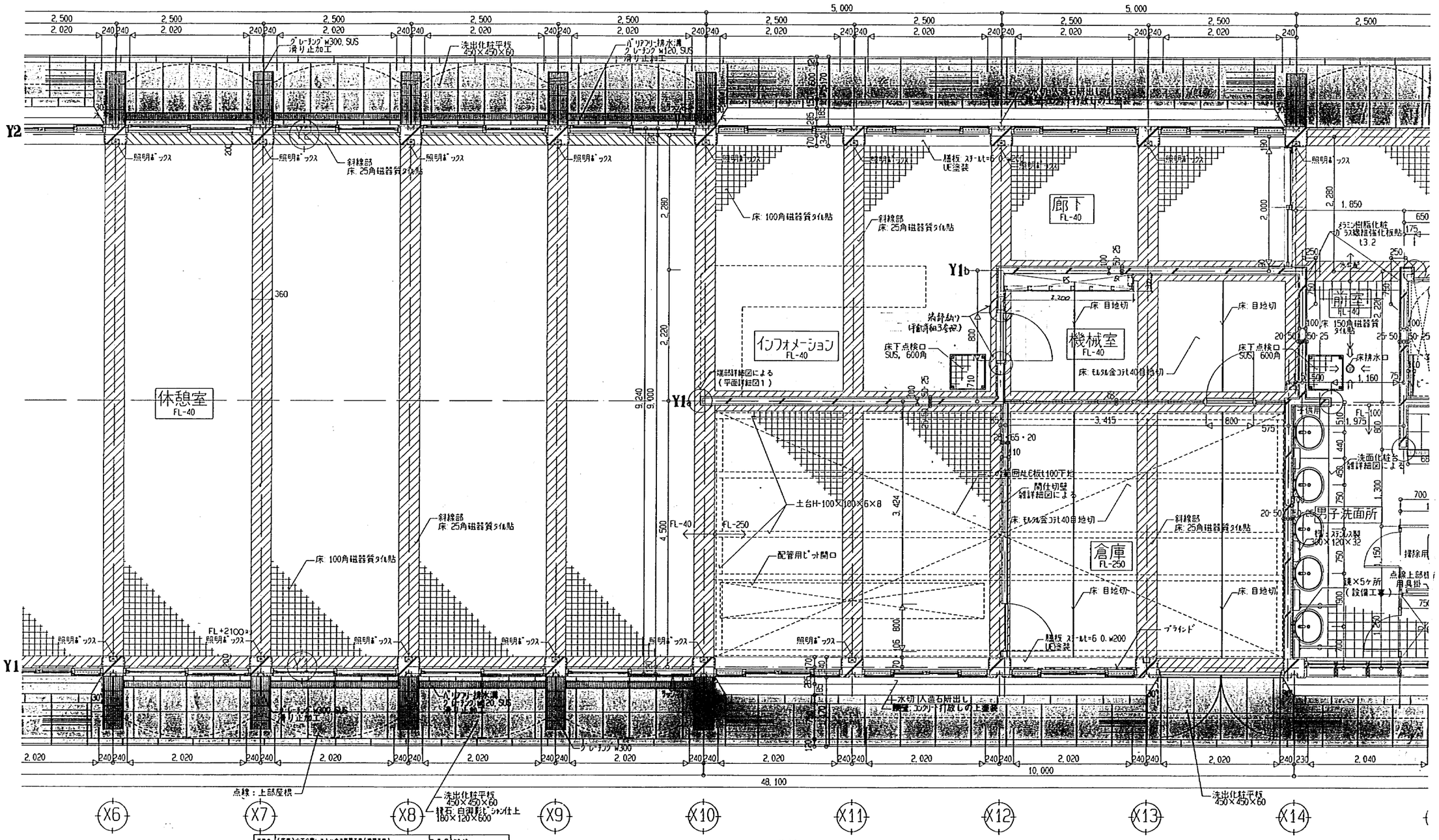
株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6664
FAX045-316-1453

一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国営)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/30

図名 平面詳細図 1 図番 A-15

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物固有番号			階数番号			記述欄番号	図面固有番号			特記記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	0	2	F



工事名	(国債)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)					年月日	07.12
図番	A-16	平面詳細図 2				縮尺	1/30
建築電気	建築設備	構造	体系	設備	外構	株式会社 鎌倉設計工房	
横浜市建築局							

● 原寸部便宜工事
● 室名下数字はスラブレベル2ます。

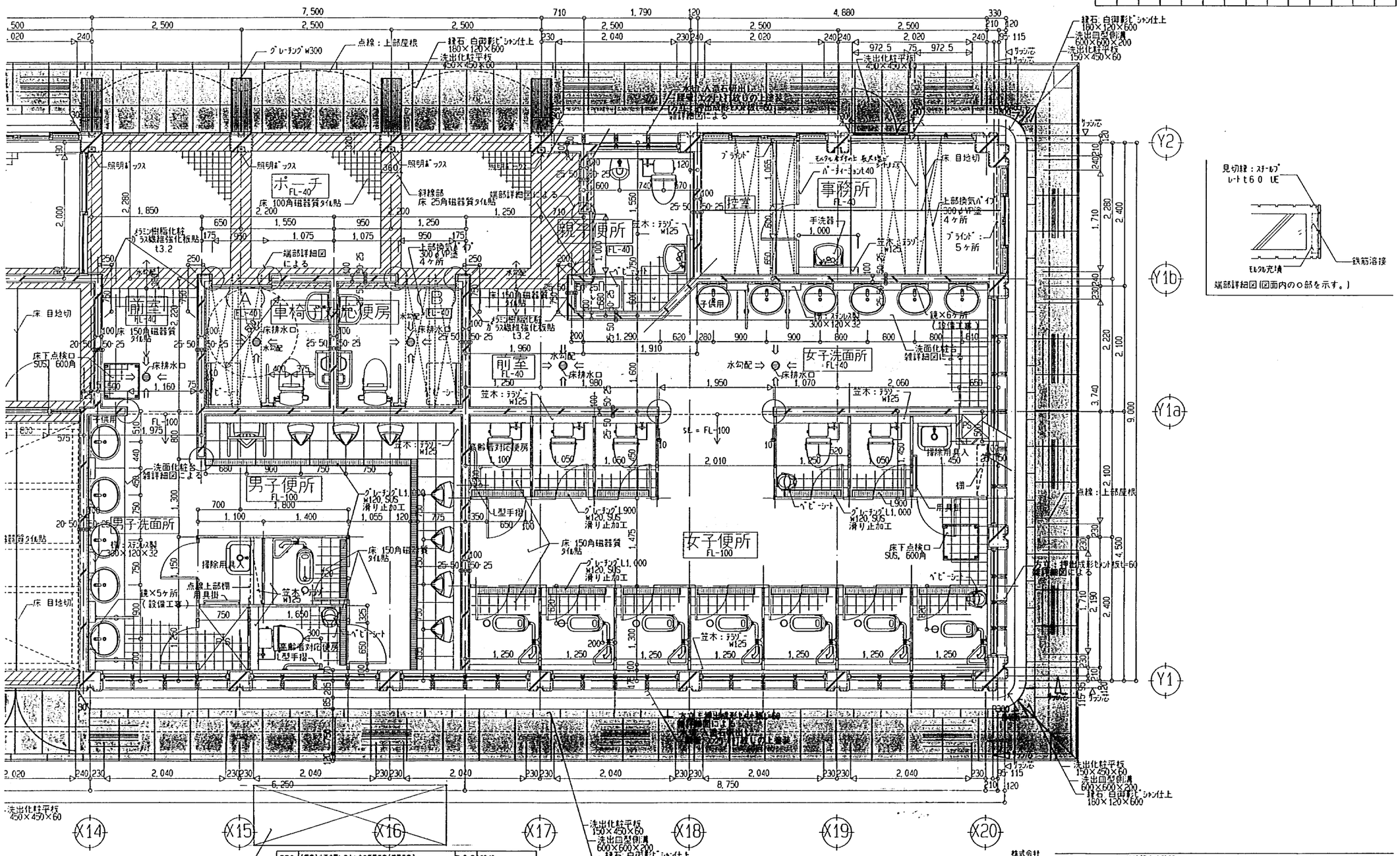
株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1653

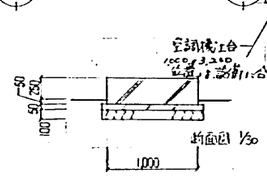
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸光

工事名 (国債)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/30

図名 平面詳細図 2 図番 A-16

工事種別	用途番号	建物種別番号	建物図面番号	地区番号	区画番号	図面連番番号	特記記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	2	0 0 3	F





工事名	(仮称)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	97.12
図面番号	A-17	平面詳細図 3	縮尺 1/30
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房	

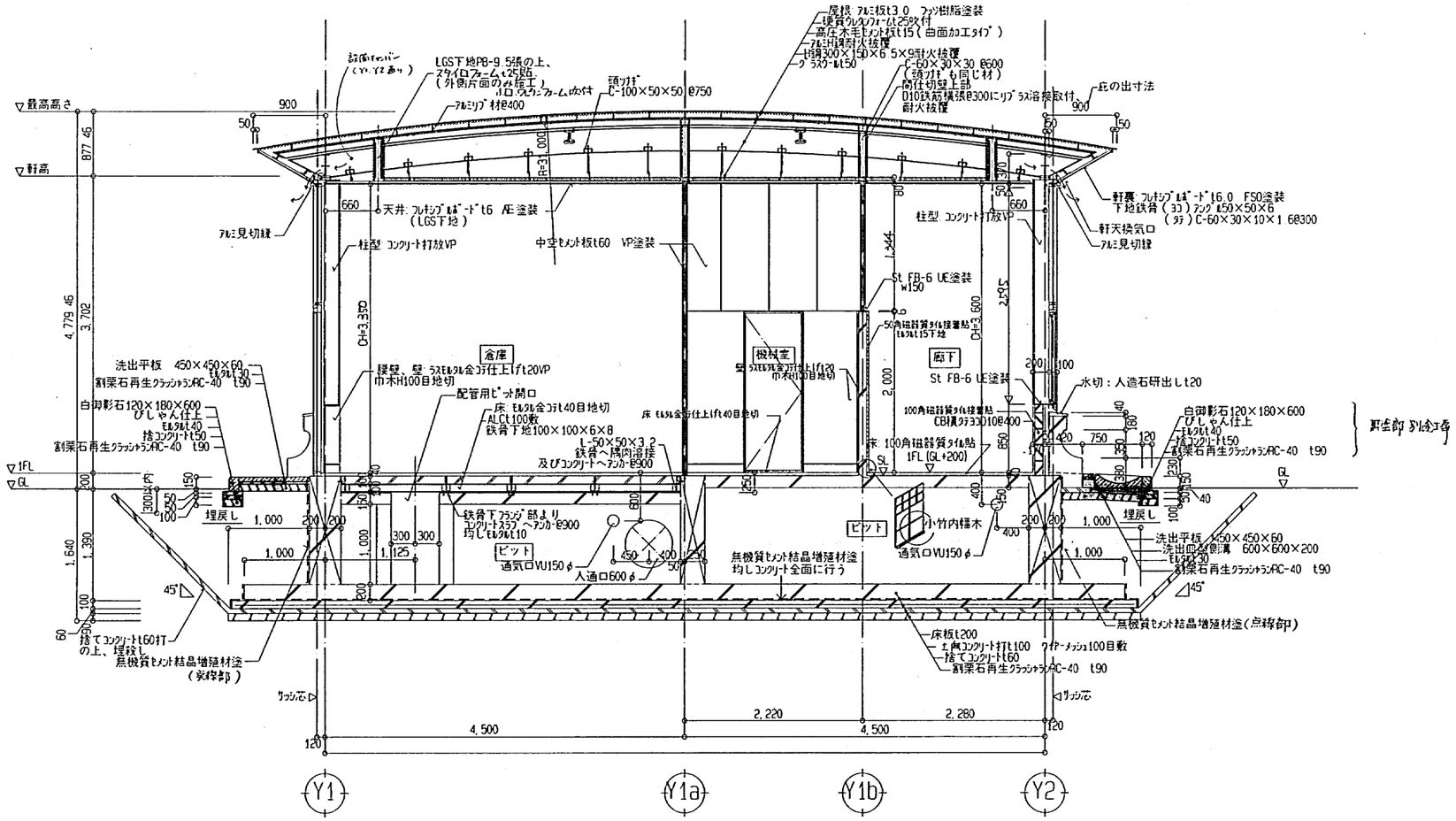
株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453

一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (仮称)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/30

図名 平面詳細図 3 図番 A-17

工事種別	所属番号	機能種類番号	機能別番号	機能別図番号			規格番号			図面種類番号			行政記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	0	4	F

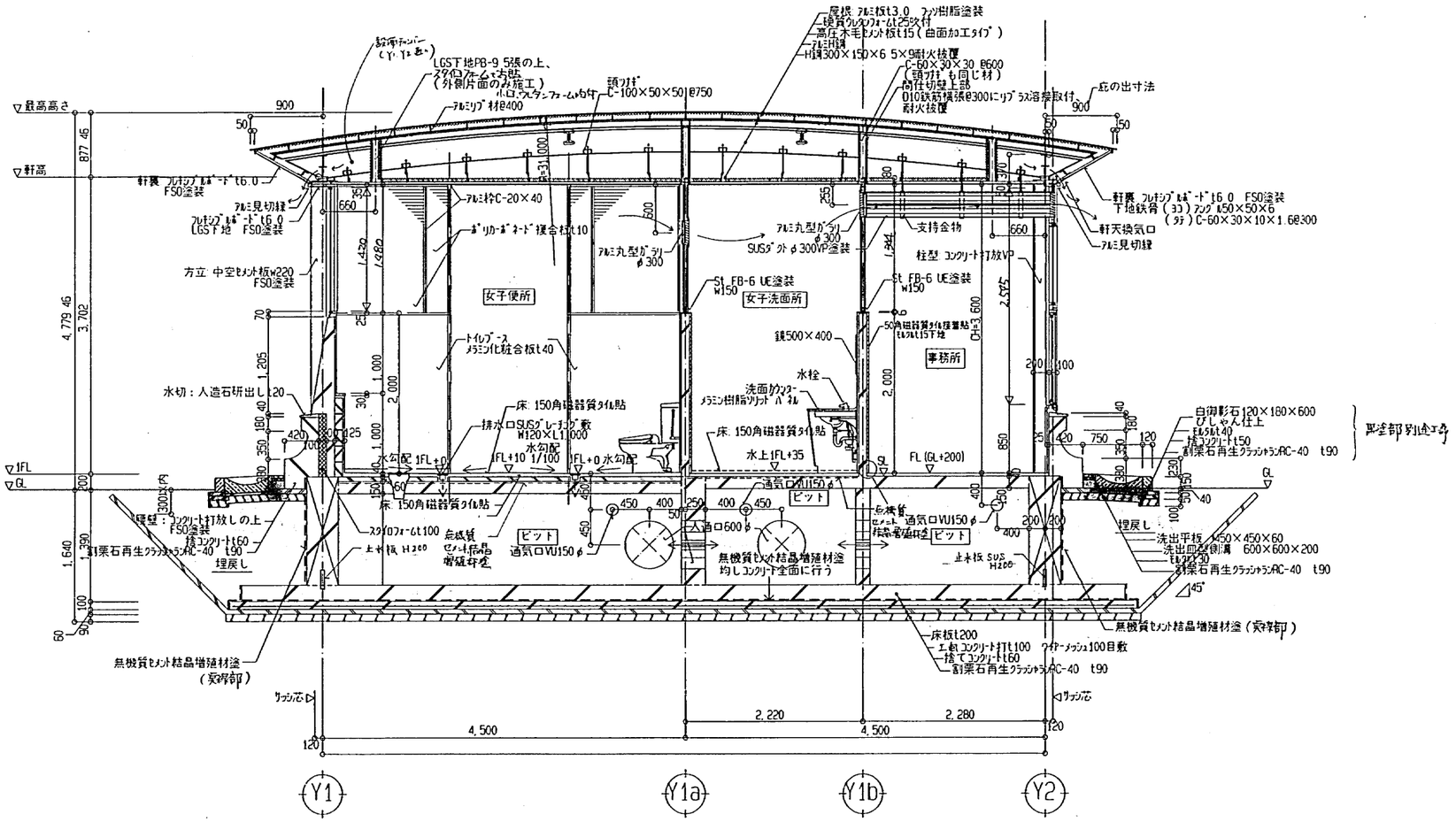


工事名	（国営）山下公園レストハウス新築工事（建築工事）			年月日	平成22.12
図面番号	A-15	実施図 1		縮尺	1/30
配管電気	設備電気	設備	構造	建築	所長
					株式会社 鎌倉設計工房
横浜市建築局					

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤木幸夫

工事名	（国営）山下公園レストハウス新築工事（建築工事）	縮尺 1/30
図名	矩計図 1	図番 A-15

工事種別	用途番号	建物種別番号	建物識別番号			地区番号			図面識別番号				特記記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	0	5	F



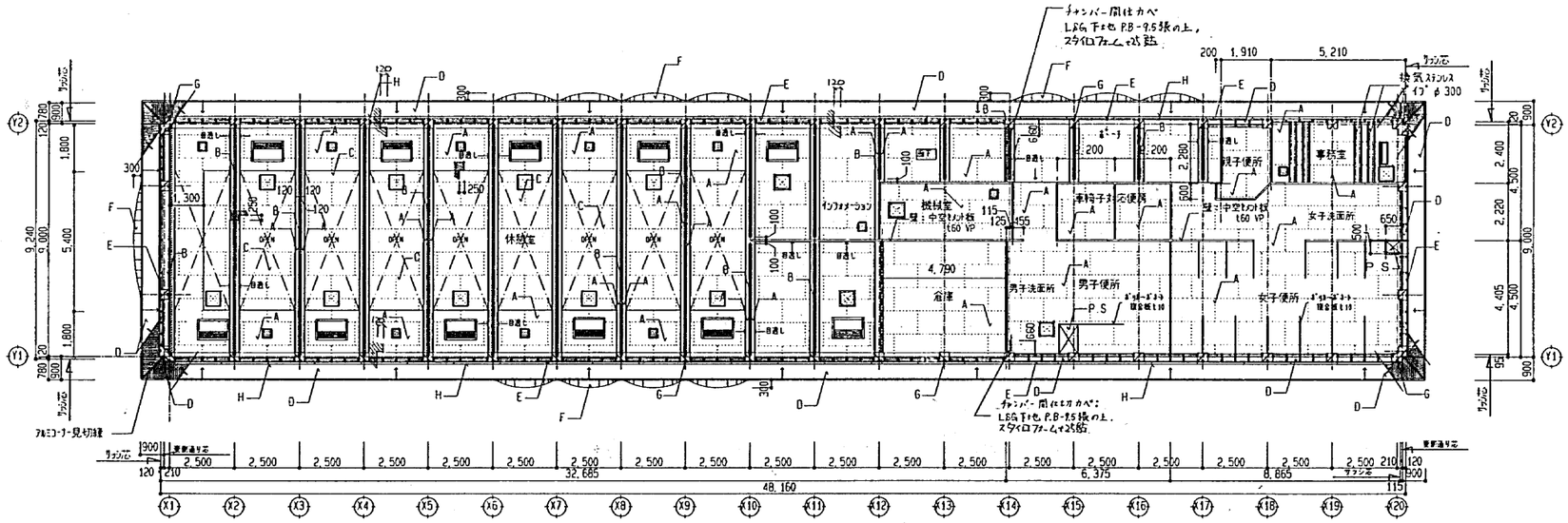
工事名	（仮称）山下公園レストハウス新築工事（建築工事）				年月日	H12.12	
図面番号	A-19	矩計図 2			縮尺	1/30	
建築確認	建築設備	部長	係長	課員	所長		
						株式会社 鎌倉設計工房	
横浜市建築局							

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-43-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-7153

一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

（国事）山下公園レストハウス新築工事
工事名 （建築工事） 縮尺 1/30
図名 矩計図 2 図番 A-19

工事種別	所属番号	建物種別番号	建物個別番号			図種番号			図面種別番号			枝番号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	0	6F



A	フレキシブルボードt6.0 パテシゴキの上、AE塗装	E	カラーアルミ額縁
B	斜線部：乳白 アクリル板 t1.5	F	アルミ板t3カロ工、親水性フッ素樹脂塗装（低汚染タイプ）
C	下張り石膏ボード t9.5 ロックウール化粧吸音板t12 VP塗装	G	カラーアルミプレート（柱型溝蓋付）t1.2
D	カラーアルミ板t0.8 エンボスカロ工	H	軒天換気孔（ホワイト）

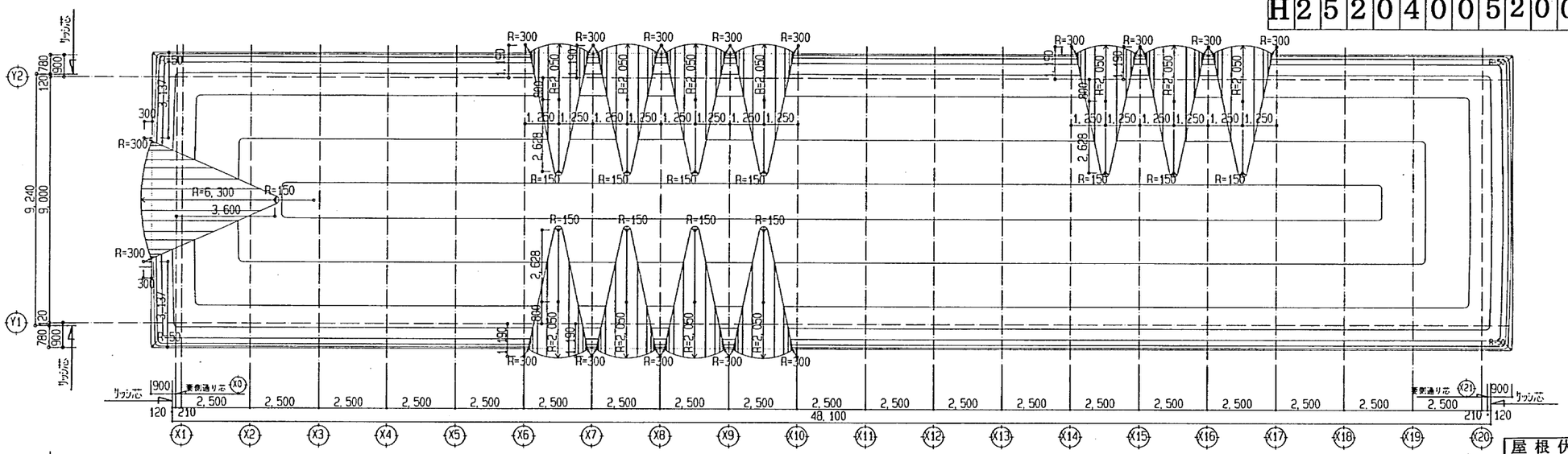
凡例	
	天井埋込式エアコン 800×360
	天井埋込式エアコン 1,200×800
	天井埋込式換気口 300×300
	天井点検口 600×600

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-20 天井伏図	縮尺	1/100
建築	構造	設備	電気	衛生	設備	外構	
横浜市建築局 株式会社 鎌倉設計工房							

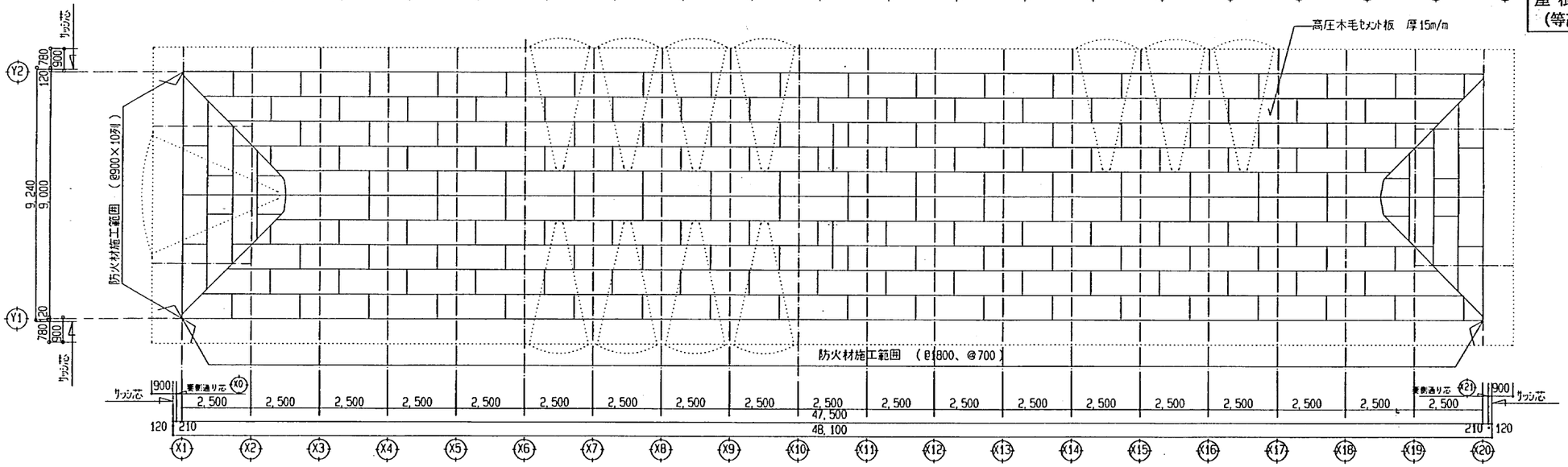
株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所
神奈川知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸光
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-313-6604
FAX045-316-1653

(国庫)山下公園レストハウス新築工事
(建築工事)
工事名
縮尺 1/100
図名 天井伏図
図番 A-20

工事種別	所属番号	建物種類番号	建物図面番号	用途番号	仕上種別番号	仕上図面番号	特記番号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	2	0 0 7	F

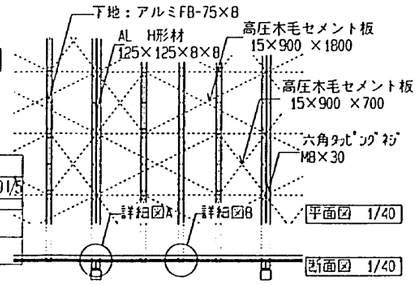


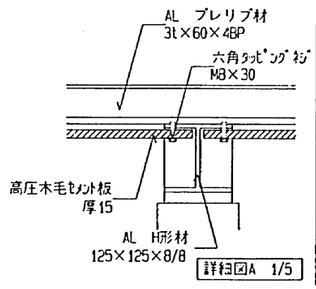
屋根伏図 1/80
(等高線表現)



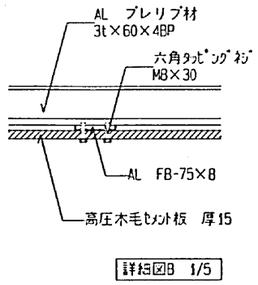
屋根伏図 1/80
(防火材)

防火材取付け要領 1/40





詳細図A 1/5



詳細図B 1/5

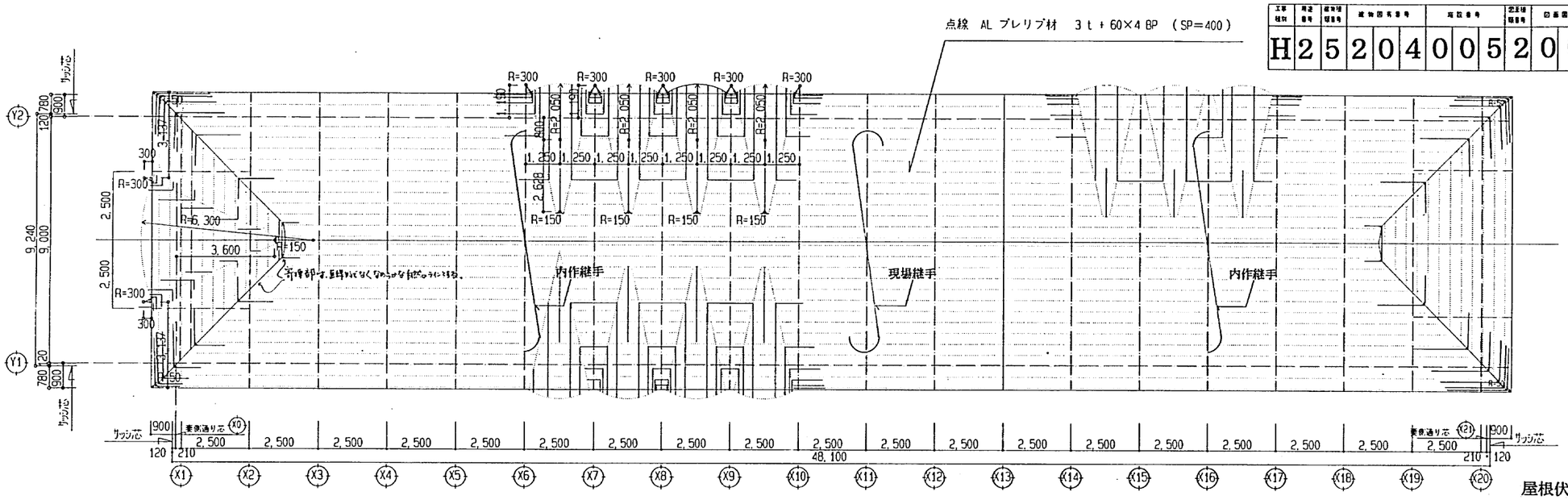
工事名	(区庁)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H.12.12
図番号	A-21	尾根伏図 (等高線表現)	縮尺 1/80 1/40 1/5

横浜市建築局 | 株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-313-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
斉藤幸光

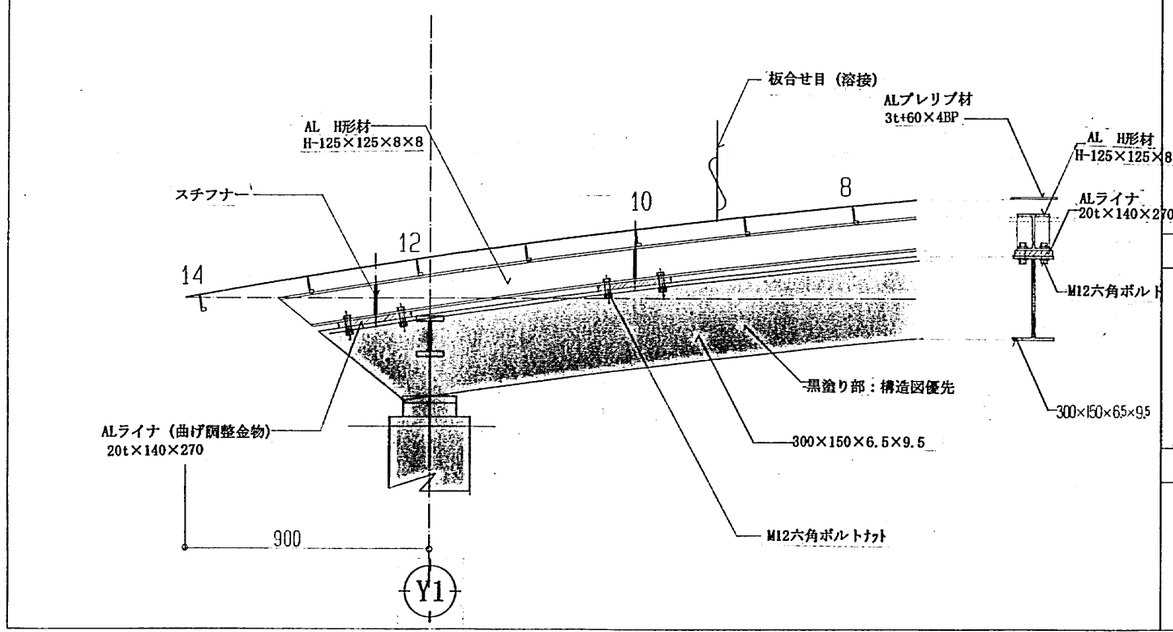
工事名 (区庁)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事)
縮尺 1/5 1/40 1/80
図名 屋根伏図
図番 A-21

工事種別	用途番号	建物種別番号	建物固有番号			階数番号			図面種別番号			枝番号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	0	8F

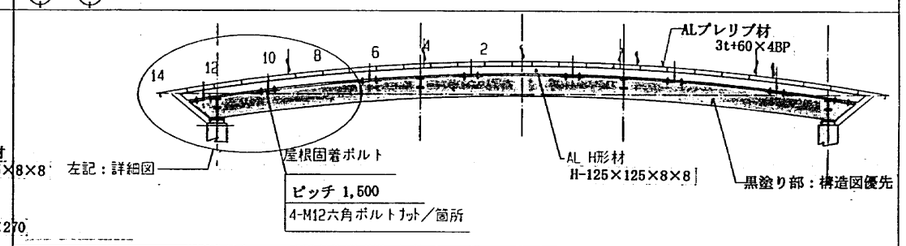


屋根伏図 1/80

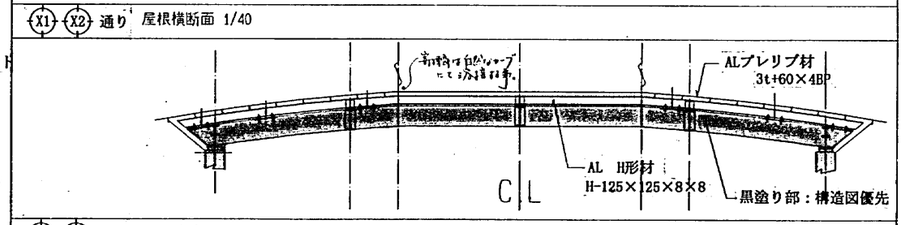
軒先詳細図 1/10



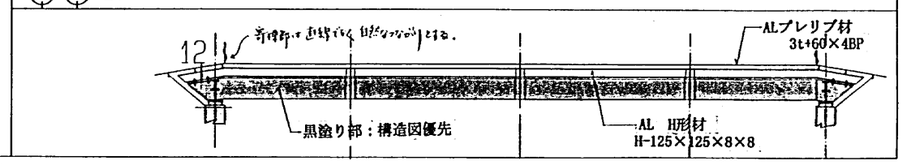
X3～X18 通り 屋根横断面 1/40



X1 X2 通り 屋根横断面 1/40



X19 X20 通り 屋根横断面 1/40



工事名	(医業)山下公園のための新築工事 (建築工事)		年月日	H12.12
図面番号	A-22	屋根構造図	縮尺	1/10・1/40・1/80
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房		

凡例

AL(アルミ)プレリブ材：3t+60×4BP

AL(アルミ)H形材：H-8/8×125×125

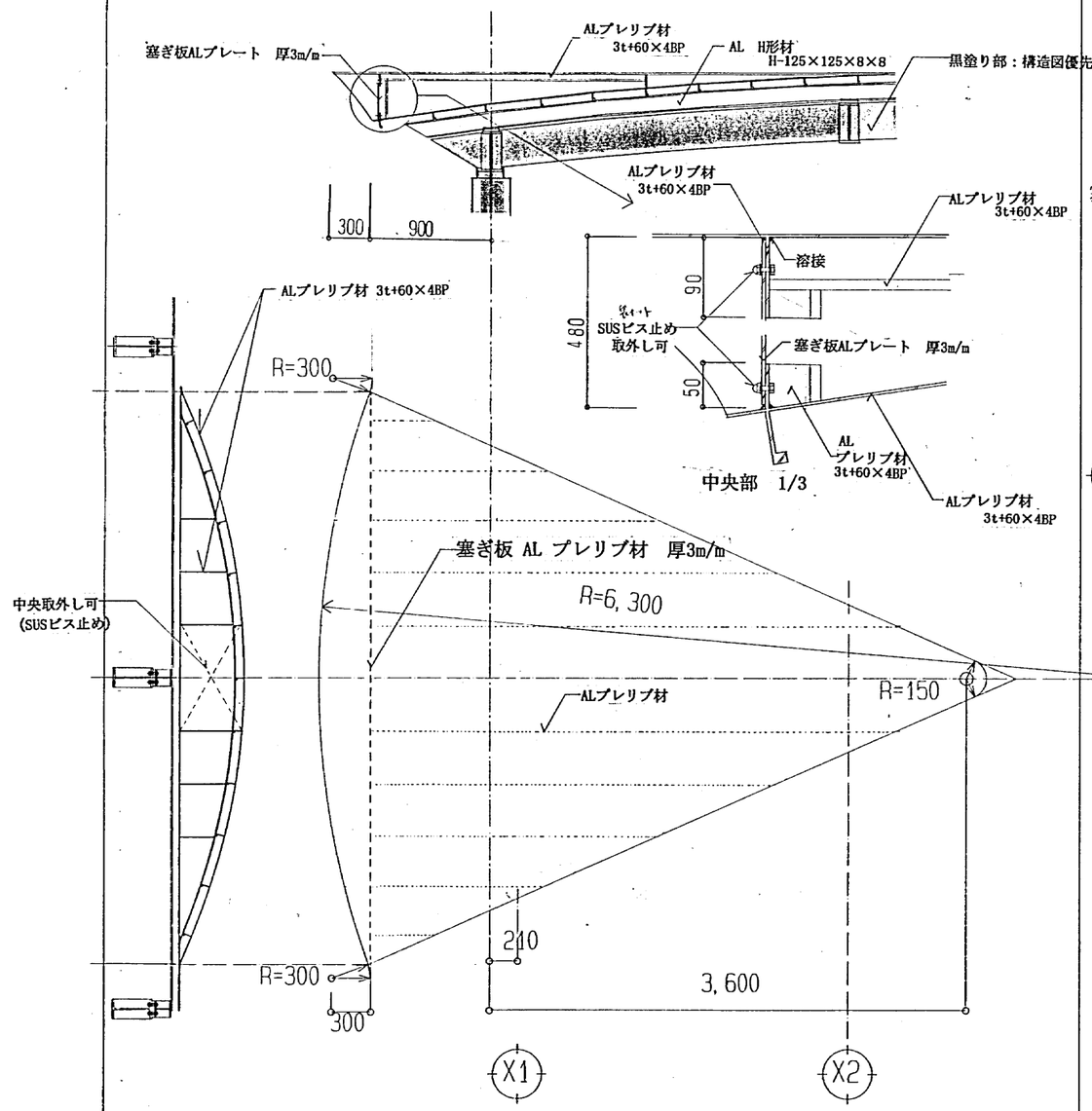
AL(アルミ)ライナ：20t×140×270

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-43-9-1315
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤木幸充

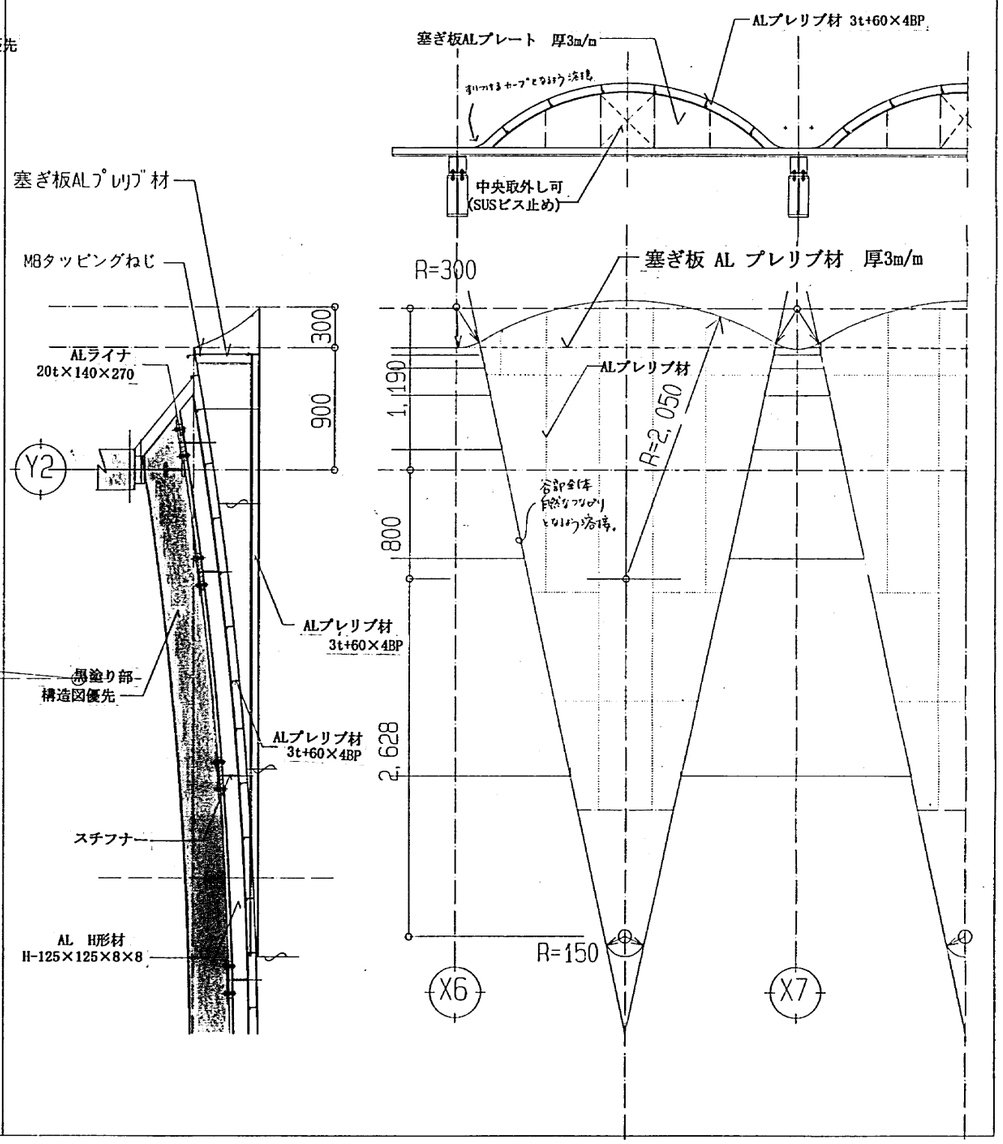
(医業)山下公園のための新築工事
(建築工事)
工事名
縮尺 1/10 1/40 1/80
図名 屋根構造図1
図番 A-22

工事種別	用途番号	建物種別番号	建物固有番号			図面種別	図面固有番号				枝番
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	0	9	F

妻側出入口屋根部 1/20 1/3



出入口屋根部 1/20



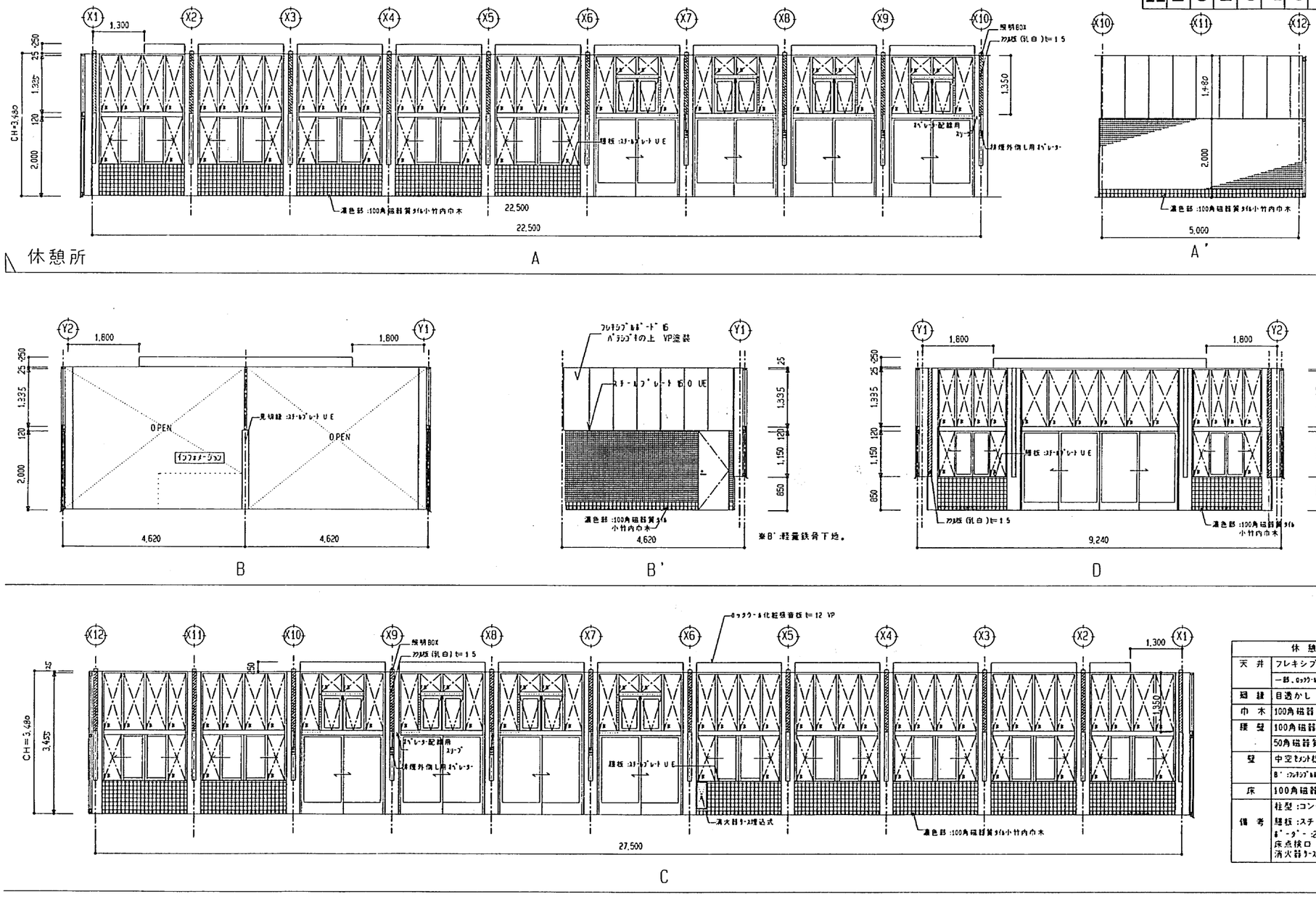
工事名	(医療)山下公園しおかぜ新築工事 (建築工事)	年月日	H12 12
図番	A-23 屋根構造図2	縮尺	1/20
横浜市建築局	株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第156213号
藤本幸光

工事名 (医療)山下公園しおかぜ新築工事 (建築工事) 縮尺 1/20

図名 屋根構造図2 図番 A-23

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物課税番号	用途番号	図面種類番号	図面課税番号	特記記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	2	0 1 0	F



休憩所	
天井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
	一部, ロックウール化粧吸音板 t=12 VP塗装
廻縁	目透かし
巾木	100角磁器質タイル (一部小竹内巾木)
腰壁	100角磁器質タイル h850
	50角磁器質タイル h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
	B' フレキシブルボード t=6, パテシブキの上, VP
床	100角磁器質タイル
備考	柱型 :コンクリート打放し VP 廻縁 :スチールプレート U E ボーダー :25角磁器質タイル 床点検口 2ヶ所 消火器ケース埋込式 :1ヶ所

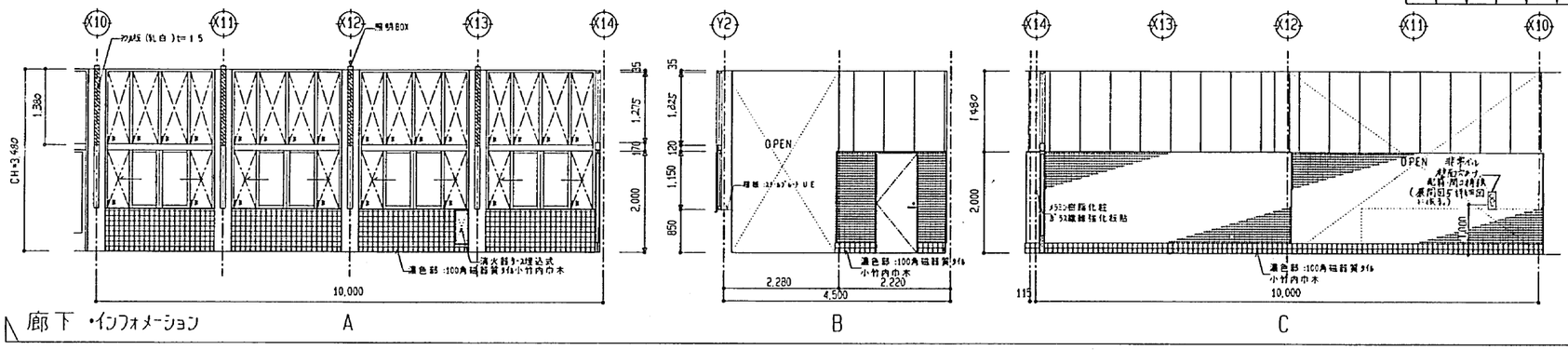
工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12 12
図面番号	A-24 展開図 1	縮尺	1/50

横浜市建築局 株式会社 鎌倉設計工房

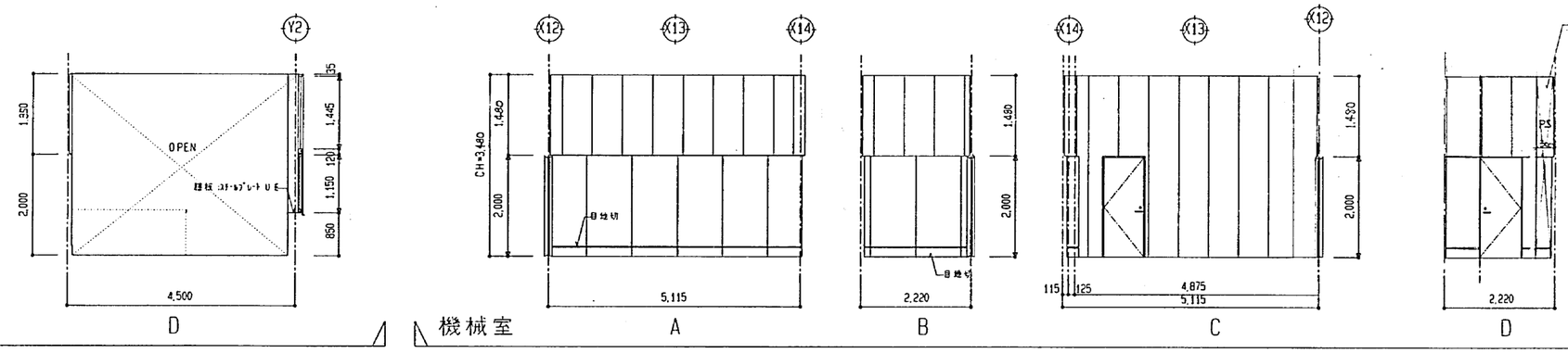
株式会社 鎌倉設計工房
一級建築士事務所 県知事登録第5411号
一級建築士 大臣登録第155213号 藤本幸克
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-313-6604
FAX045-316-1453

(国庫)山下公園レストハウス新築工事
工事名 (建築工事) 縮尺 1/50
図名 展開図 1 図番 A-24

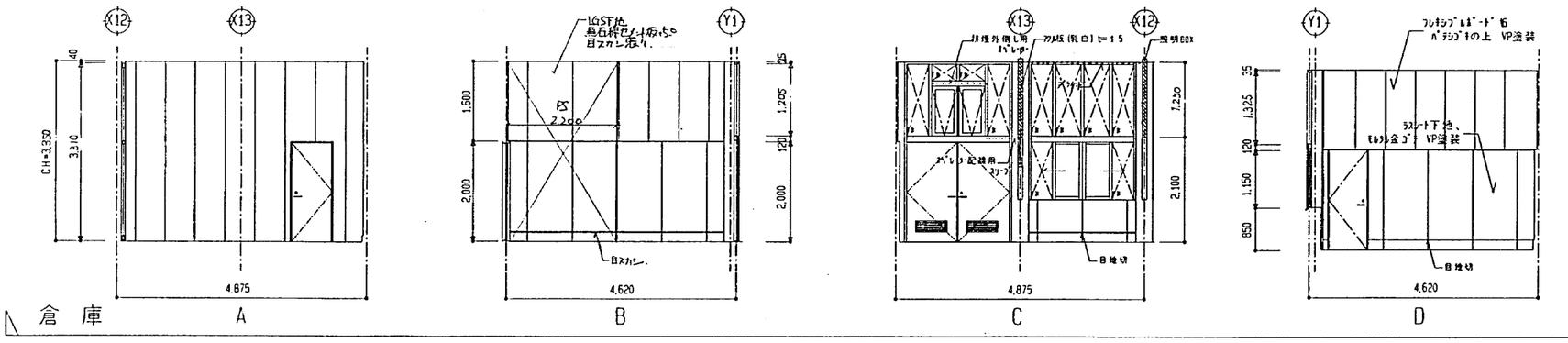
工事種別	用途番号	建物種類番号	建物個別番号			時代番号			図面種類番号	図面個別番号			材質記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	1	1	F



廊下 ・インフォメーション	
天 井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻 縁	目透かし
巾 木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰 壁	A方向 :100角磁器質タイル h850
	50角磁器質タイル貼り h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
床	100角磁器質タイル
備 考	・間仕切壁コーナー:メラミン化粧ガラス繊維強化板 ・柱型 :コンクリート打放し VP ・壁板 :スチールプレート t=6 E.U ・ダーダー :25角磁器質タイル ・点検口 :1ヶ所 ・消火器ケース埋込式 :1ヶ所



機械室	
天 井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻 縁	目透かし
巾 木	目地切 h200
腰 壁	モルタル金ゴテ押え t=25 VP h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
床	ラスモルタル金ゴテ押え t=40の上、タイル(塩系浸透性コンクリート表面強化材塗り)
備 考	・A方向 :中空セメント板は、FLから h3,600まで。 ・ダーダー :25角磁器質タイル ・PS は SGT地、ラスシートの上、モルタル t=15 VP



倉 庫	
天 井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻 縁	目透かし
巾 木	目地切 h200
腰 壁	モルタル金ゴテ押え t=25 VP h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
	フレキシブルボード t=6 パテシゴトの上 VP塗装 h2,000から
床	ラスモルタル金ゴテ押え t=40の上、タイル(塩系浸透性コンクリート表面強化材塗り)
備 考	壁板 :スチールプレート t=6 U E 柱型 :コンクリート打放し VP ダーダー :25角磁器質タイル ブライインド X [illegible]

工事名	(医療)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12 12
図面番号	A-25 展開図 2	縮尺	1/50
建築	構造	設備	体育	造園	消防

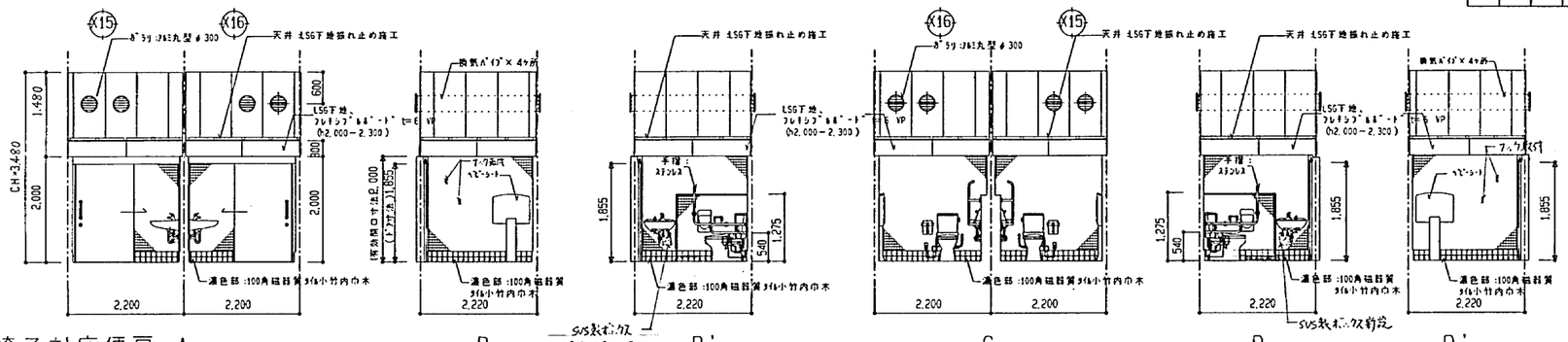
横浜市建築局 株式会社 鎌倉設計工房

株式会社 鎌倉設計工房 一級建築士事務所 県知事登録第5411号
一級建築士 大臣登録第155213号 藤本幸充
〒220-0023 横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453

工事名 (医療)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/50

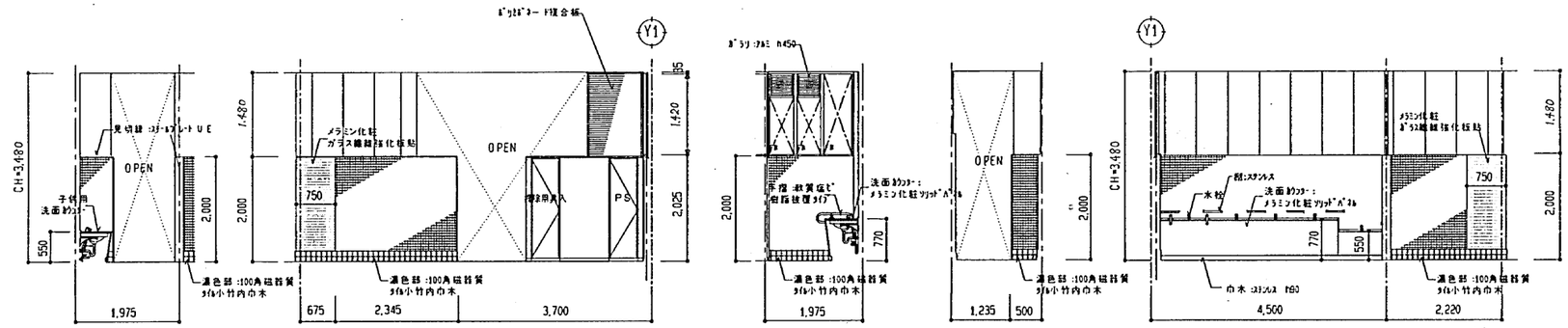
図名 展開図 2 図番 A-25

工事種別	所属番号	建物種類番号	建物固有番号			地区番号		設備種類番号	設備固有番号			枝番号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	1	2	F



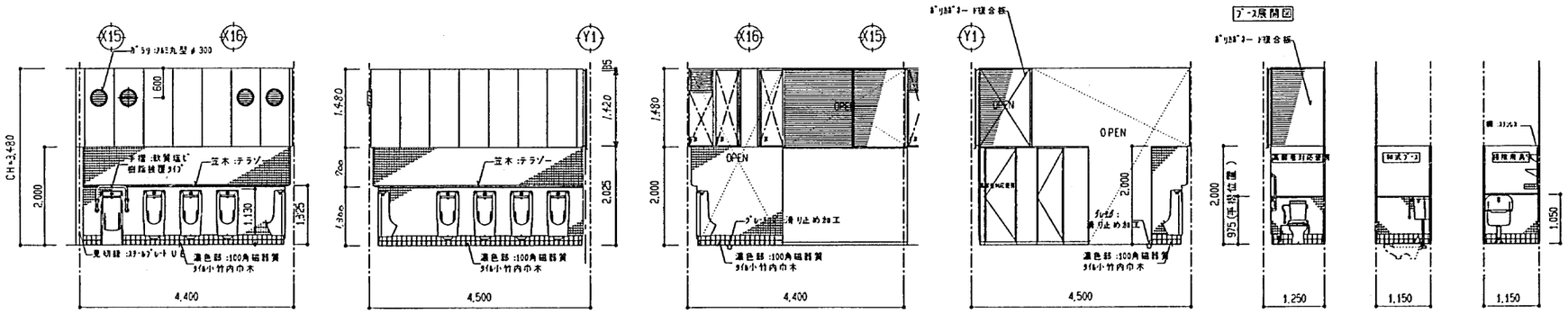
車椅子対応便房 A B B' C D D'

車椅子対応便房	
天井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻縁	目透かし
巾木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰壁	50角磁器質タイル貼り h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
	LSGT地 フレキシブルボード t=6 VP (h2,000−2,300)
床	150角磁器質タイル貼り
備考	笠木:テラゾー ガラリ:アルミ丸型 φ300 上部:換気パイプ 4ヶ所 ハビシート



前室・男子洗面所A B C C' D

前室・男子洗面所	
天井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻縁	目透かし
巾木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰壁	50角磁器質タイル貼り h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
床	150角磁器質タイル貼り
備考	見切縁:スチールプレート t=6 ガラリ:アルミ h450 ブース上部:ポリカーボネート複合板 t=10 カウンター仕上:メラミン化粧ソリッドパネル 床点検口:1ヶ所 カウンター前:横ステンレス×6ヶ所



男子便所 A B C D D D B

男子便所	
天井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻縁	目透かし
巾木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰壁	50角磁器質タイル貼り h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
床	150角磁器質タイル貼り
備考	笠木:テラゾー ガラリ:アルミ丸型 φ300、アルミ h450 ブース上部:ポリカーボネート複合板 t=10 掃除用具入:横ステンレス

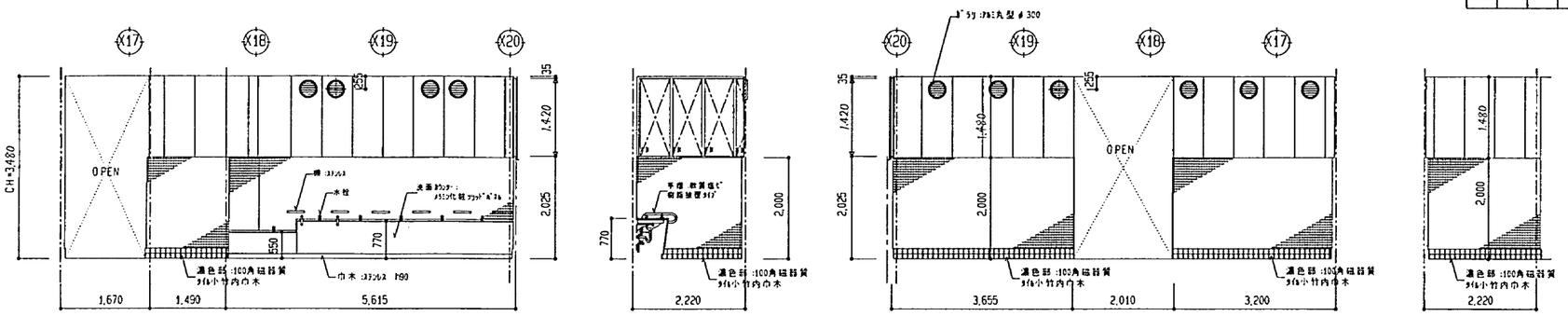
工事名	(国)横浜市山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月	H12.12
図面番号	A-26 展開図 3	縮尺	1/50
建築	構造	設備	電気	衛生	消防	検査	決裁

横浜市建築局 株式会社 鎌倉設計工房

株式会社 鎌倉設計工房
一級建築士事務所 県知事登録第5411号
一級建築士 大臣登録第155213号 藤本幸充
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1163

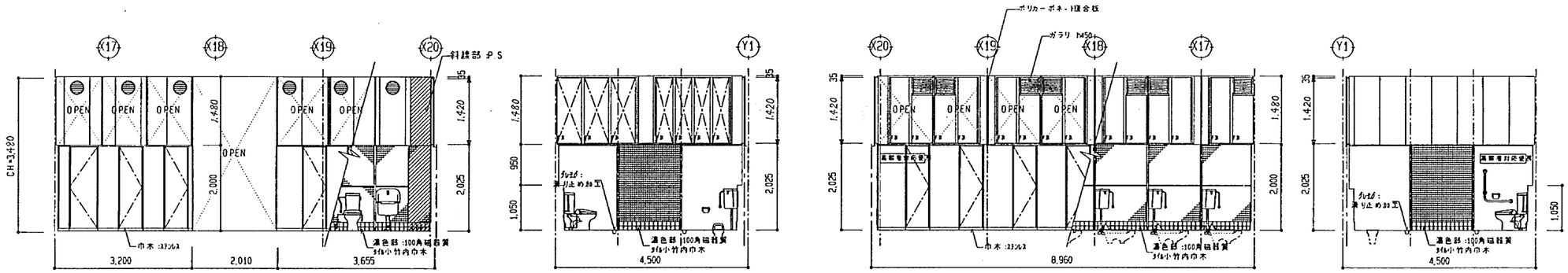
(国)横浜市山下公園レストハウス新築工事(建築工事)
工事名
縮尺 1/50
図名 展開図 3
図番 A-26

工事種別	所道番号	建物種類番号	建物固有番号		用途番号		図面種類番号	図面固有番号			特記番号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	1	3	F



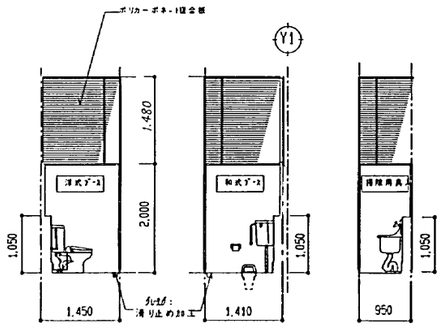
前室・女子洗面所 A B C D

前室・女子洗面所	
天 井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻 縁	目透かし
巾 木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰 壁	50角磁器質タイル貼り h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
床	150角磁器質タイル貼り
備 考	ガラリ :アルミ丸型 φ300 カウンター :メラミン化粧ツリッドパネル カウンター前 :埋込ステンレス×5ヶ所

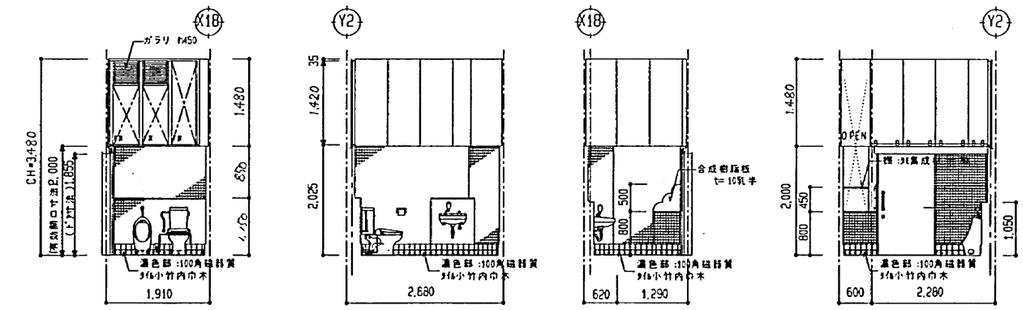


女子便所 A B C D

ブース展開図



女子便所	
天 井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻 縁	目透かし
巾 木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰 壁	50角磁器質タイル貼り h2,000まで
壁	中空セメント t=60 VP h2,000から
床	150角磁器質タイル貼り
備 考	笠木 :ラワン ガラリ :アルミ丸型 φ300、アルミ h450 ブース上部 :ポリカボネート複合板 t=10 床点検口 :1ヶ所 掃除用具入 :埋込ステンレス



親子便所 A B C D

親子便所	
天 井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻 縁	目透かし
巾 木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰 壁	50角磁器質タイル貼り h2,000まで
壁	中空セメント t=60 VP h2,000から
床	150角磁器質タイル貼り
備 考	笠木 :ラワン ガラリ :アルミ h450 ベビーシート(木製にて構成、ベット付) 棚 :化粧成材 t=30

工事名	(国)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-27	展開図 4	縮尺 1/50

建築	構造	設備	電気	機械	監理	日本	日建	所長

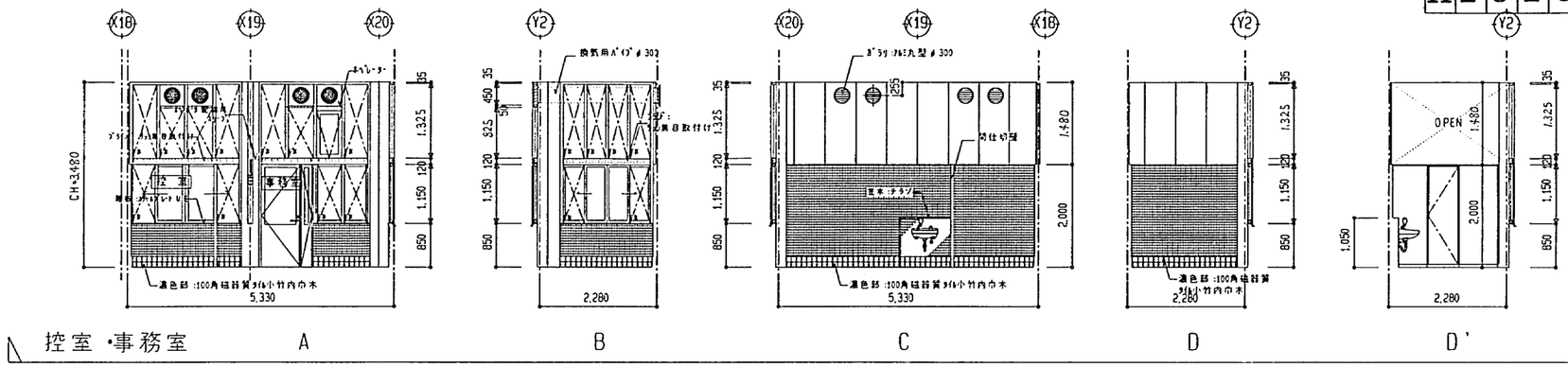
横浜市建築局 株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸克

工事名 (国)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/50

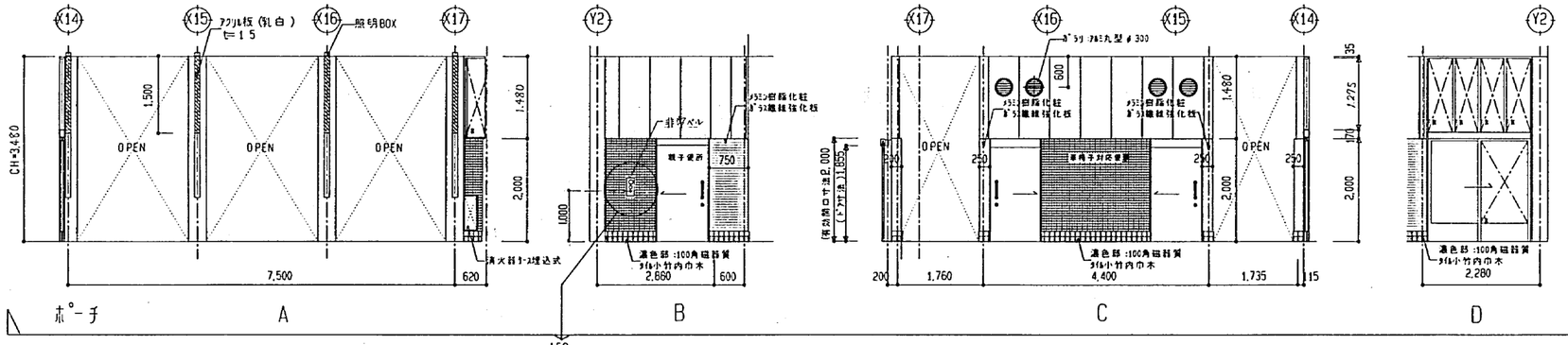
図名 展開図 4 図番 A-27

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物固有番号	棟番号	図面種類番号	図面固有番号	特記番号
H	2	5	2 0 4 0 0 5	2 0	1	4	F



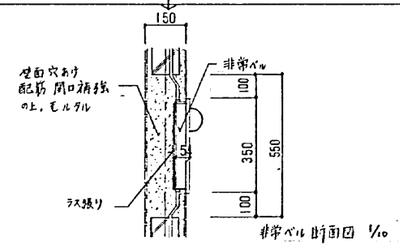
控室・事務室 A B C D D'

控室・事務室	
天井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻縁	目透かし
巾木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰壁	50角磁器質タイル貼り h850まで
	50角磁器質タイル貼り h2,000まで
壁	中空セメント板 t=60 VP h2,000から
床	長尺塩ビシート t2.0
備考	腰板:スチールプレート EU ガラリ:アルミ丸型 φ300 間仕切壁:メラミン化粧合板 ブラインド×5ヶ所



ポーチ A B C D

ポーチ	
天井	フレキシブルボード t=6, VP塗装
廻縁	目透かし
巾木	100角磁器質タイル(一部小竹内巾木)
腰壁	50角タイル貼り(接着工法) h2,000まで ・メラミン樹脂化粧ガラス繊維強化板 h2,000まで
壁	・中空セメント板 t=60 VP h2,000から
床	150角磁器質タイル
備考	ガラリ:アルミ丸型 φ300 消火器ケース(埋込式):1ヶ所



非常ベル 断面図 1/10

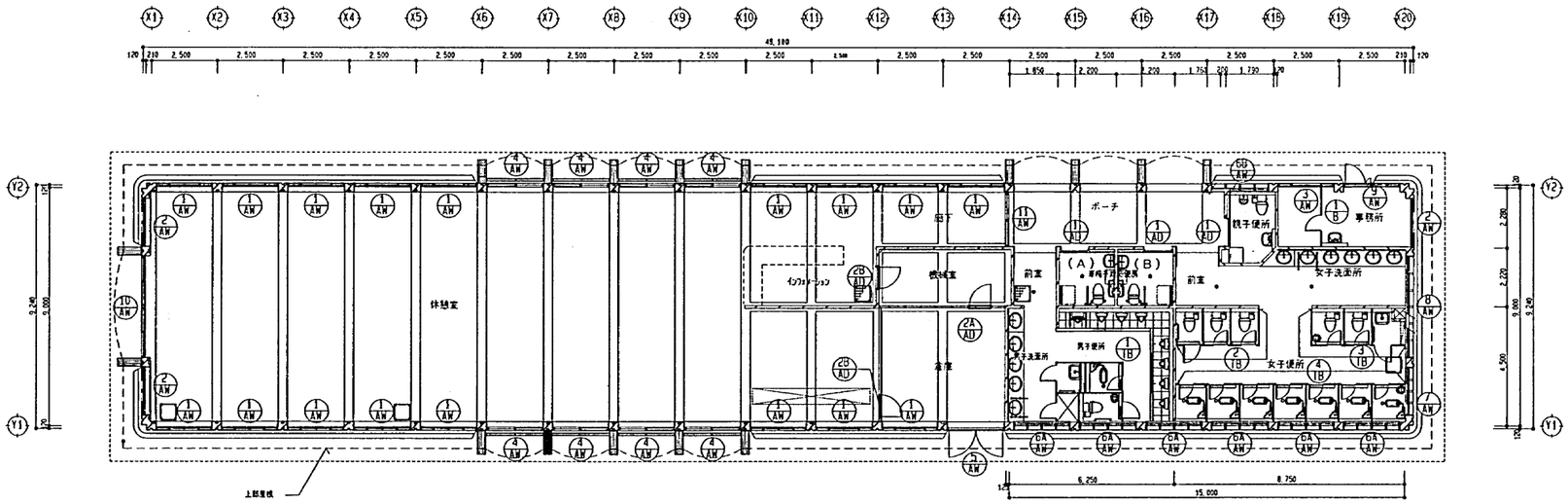
工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月	H12 12
図面番号	A-28 展開図 5	縮尺	1/50
横浜市建築局 株式会社 鎌倉設計工房			

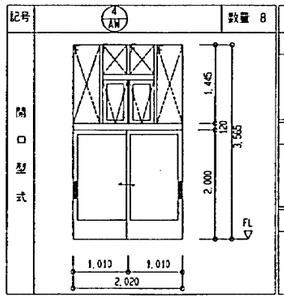
株式会社 鎌倉設計工房
一級建築士事務所 県知事登録第5411号
一級建築士 大臣登録第155213号
〒220-0023 横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1653
藤本幸充

(国庫)山下公園レストハウス新築工事
工事名 (建築工事) 縮尺 1/50
図名 展開図 5 図番 A-28

法 29

工事種別	所管番号	建物種類番号	建物固有番号			棟数番号			図面種類番号	図面固有番号			枝番記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	1	5	F





消防法による無窓階の判定
無窓階 判定用面積 計算式(AW/4・8ヶ所)
$\overset{W}{1.01}\times\overset{h}{2.00}\times\overset{8ヶ所}{8}=16.16$ —①
必要開口面積 計算式
48.10×9.24×1/30=14.81 —②
無窓階 判定
上記の計算より、 ①>②となり、有窓階となる。

工事名	(国営)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)			年月日	H12 12
図面番号	A-29	建具キープラン/無窓階判定		縮尺	1/50
構造	電気	電話	設備	衛生	消防
横浜市建築局			株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453

一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

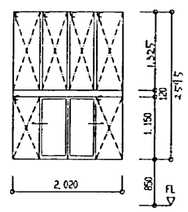
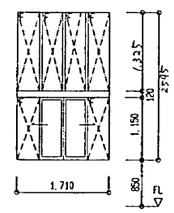
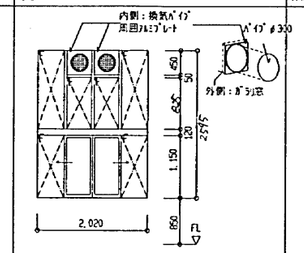
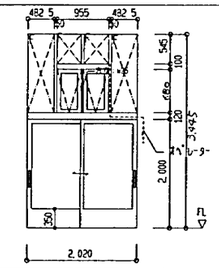
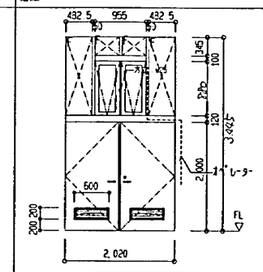
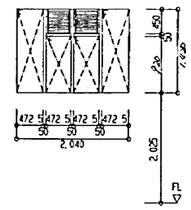
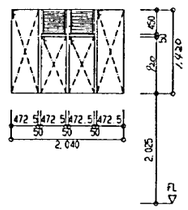
工事名 (国営)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事)

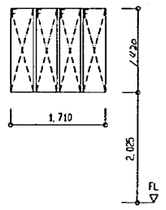
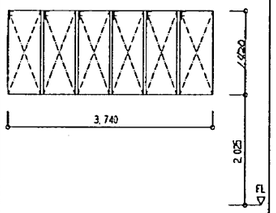
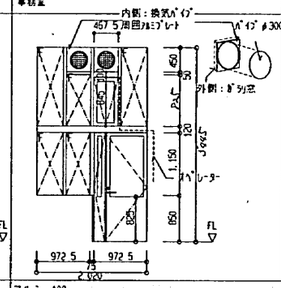
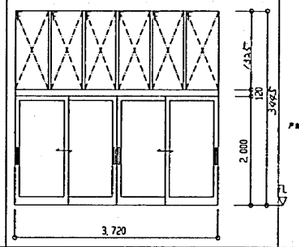
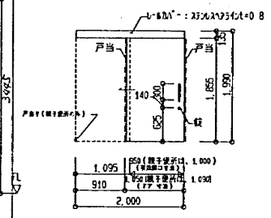
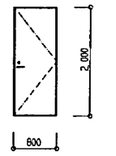
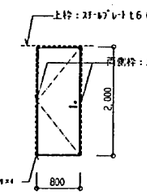
縮尺 1/100

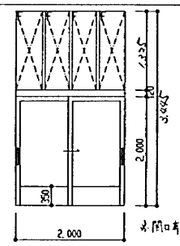
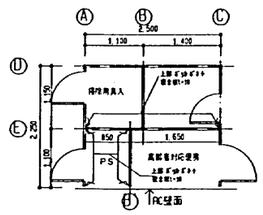
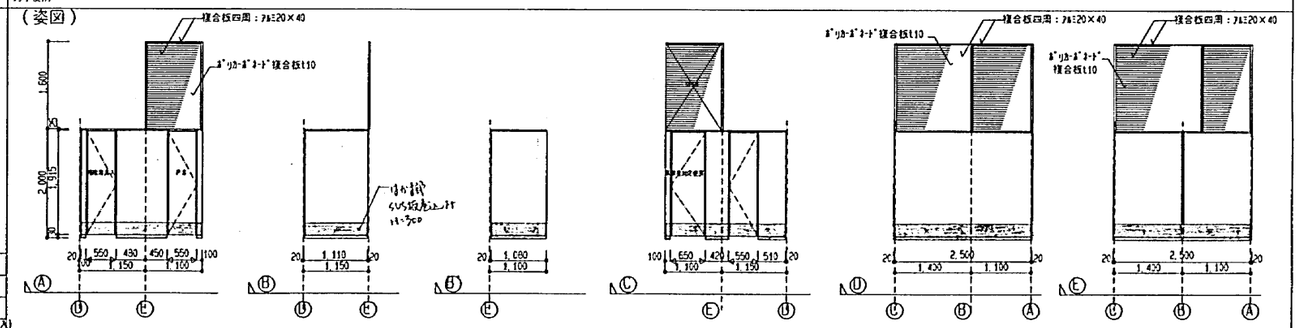
図名 無窓階判定 建具キープラン

図番 A-29

工事種別	所属番号	建物種別番号	建物図面番号	階数番号	図面種別番号	図面図面番号	特記記号
H	2	5	2 0 4	0 0	5	2 0 1 6	F

記号・数量	1 AW 両袖嵌め殺し引分け窓＋（樹脂）嵌殺し窓 17	2 AW 両袖嵌め殺し引分け窓＋（樹脂）嵌殺し窓 3	3 AW 両袖嵌め殺し引分け窓＋（樹脂）嵌殺し窓＋ガラリ窓 1	4 AW 引違戸（トステム：ベーシーシーフェンスター同等品）＋（樹脂）嵌殺し窓＋2連扉煙外倒し窓（隠ぺい式） 8	5 AW 両開きフラッシュドア＋（樹脂）嵌殺し窓＋2連扉煙外倒し窓（隠ぺい式） 1	6A AW 嵌殺し窓＋ガラリ窓 6	6B AW 嵌殺し窓＋ガラリ窓 1
場所	休憩室、廊下、倉庫	休憩室、事務室	事務室	休憩室	倉庫	男子便所、女子便所	親子便所
形状							
材質・見込	アルミ、100	アルミ、100	アルミ、100	アルミ、 嵌殺し・外倒し部100、引違い部112	アルミ、100	アルミ、70	アルミ、70
仕上	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品
硝子	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼、引違戸及び欄間部）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼：乳白色）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼：乳白色）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼：乳白色）
金物	付属金物一式、アルミ額縁35×40（3方）、アングル、軒天アルミ見切縁 42×50	付属金物一式、アルミ額縁35×40（3方、沈出所は4方）、アングル、軒天アルミ見切縁 42×50	付属金物一式、アルミ額縁35×40（4方） 軒天アルミ見切縁 42×50	付属金物一式、ストレーター付属金物一式、アルミ額縁35×40（3方） 下枠フラットバリアフリータイプ、ドアーハンドル（引違い部：両面） 軒天アルミ見切縁 42×50 ＋持出付空気孔材	付属金物一式、アルミ額縁35×40（4方）、ドアストッパー、丁番×6 下枠ステンレス薄板 t0.8ハンドル金具縁取（内外ヘアライン）、ドアガラス（防虫網付）×2 ストレーター付属金物一式、軒天アルミ見切縁 42×50	付属金物一式、アルミ額縁35×25（4方） 軒天アルミ見切縁 42×50	付属金物一式、アルミ額縁35×25（4方） 軒天アルミ見切縁 42×50
備考	内外枠廻りシーリング、両端部面付枠用フラッシング	内外枠廻りシーリング、両端部面付枠用フラッシング	内外枠廻りシーリング、両端部面付枠用フラッシング ガラリ内側：アルミプレート t10 8+SUSネット（防鼠）	内外枠廻りシーリング、両端部面付枠用フラッシング	内外枠廻りシーリング、両端部面付枠用フラッシング、下枠：防水モルタル充填	内外枠廻りシーリング、アルミ水切W110 ガラリ内側：SUS防鼠ネット	内外枠廻りシーリング、アルミ水切W110 ガラリ内側：SUSネット（防鼠）

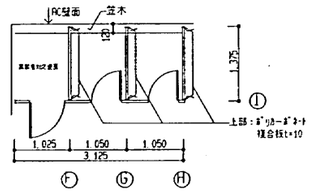
記号・数量	7 AW 嵌殺し窓 1	8 AW 嵌殺し窓 1	9 AW 嵌殺し窓＋（樹脂）嵌殺し窓＋ガラリ窓＋親子両開き額付アルミフラッシュドアー＋持出煙倒し窓 1	10 AW 4枚引違戸（トステム：ベーシーシーフェンスター同等品）＋（樹脂）嵌殺し窓 1	1 AD アルミフラッシュハンガードアー（内額左勝手2ヶ所、右勝手1ヶ所） 3	2A AD 片開きアルミフラッシュドアー 1	2B AD 片開きアルミフラッシュドアー 2
場所	女子便所	女子便所	事務室	休憩室	車椅子対応便所、親子便所	倉庫	機械室、倉庫
形状					（下図は内額左勝手） 		
材質・見込	アルミ、70	アルミ、70	アルミ、100	アルミ、100	アルミ レールカバー：65、扉：40 内部フレーム：亜鉛処理鋼板t1.6	アルミ、70	アルミ、機械室150、倉庫110
仕上	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品		アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品
硝子	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼：乳白色）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼：乳白色）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼、ドア部及び欄間部）	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼、4枚引違戸及び欄間部）			
金物	付属金物一式、アルミ額縁35×25（4方） 軒天アルミ見切縁	付属金物一式、アルミ額縁35×25（4方） 軒天アルミ見切縁 42×50	付属金物一式、アルミ額縁35×40（4方）、ドアストッパー、丁番×6 下枠ステンレス薄板、ハンドル金具縁取（内ヘアライン）、フラッシュ落し 軒天アルミ見切縁 42×50	付属金物一式、アルミ額縁35×40（3方）、ドアーハンドル（両面） 軒天アルミ見切縁 42×50、下枠フラットバリアフリータイプ、主錠引き戸式ストライク ステンレス戸当方立、ステンレスレールカバー、戸当（2000ワンコブム、扉部）	付属金物一式、大型表示付縦鍵、ガイドローラー、 下枠ステンレス薄板、ハンドル金具縁取（内ヘアライン）、戸当（床取付、親子便所のみ）		付属金物一式、ドアストッパー、丁番×3、戸当り（500ワンコブム）×4 下枠なし、ハンドル金具縁取（内ヘアライン）
備考	内外枠廻りシーリング、アルミ水切W110	内外枠廻りシーリング、アルミ水切W110	内外枠廻りシーリング、両端部面付枠用フラッシング アルミプレート t10 8+SUSネット（防鼠）、下枠：防水モルタル充填	内外枠廻りシーリング、両端部面付枠用フラッシング、下枠：防水モルタル充填 耐久結束金具縁取	内外枠廻りシーリング、自動閉鎖機構 戸当り（床取付、親子便所のみ）	外部タイル取り合部シーリング	外部タイル取り合部シーリング

記号・数量	11 AW 引違戸（トステム：ベーシーシーフェンスター同等品）＋（樹脂）嵌め殺し窓 1	1 TB トイレブース	1 TB トイレブース
場所	廊下	男子便所	男子便所
形状		（平面図） 	（姿図） 
材質・見込	アルミ、嵌殺し100、引違い112	フラッシュパネル、40	
仕上	アルミアルマイト（ホワイト）、塩害仕様品	メラミン化粧合板	
硝子	強化ガラス t4.0（飛散防止フィルム貼、引違戸及び欄間部）	ポリカーボネート複合板t=10（乳白色）	
金物	付属金物一式、アルミ額縁35×40（3方）、下枠フラットバリアフリータイプ ドアハンドル（引違い部両面）	ステンドトリセンター、クロスピボットセンター、ステンドトリシャフト、戸当り（樹脂用）、セッテ用フラッシュ枠（樹脂用）、 壁付ジョイナー、SUS巾木、アルミ押出型鋼ウリ材、ステン表示板、本錠鍵（樹脂用）、 ハンドル（樹脂用）、本錠鍵（樹脂用）、ハンドル（樹脂用）、本錠鍵（樹脂用）、ハンドル（樹脂用）、本錠鍵（樹脂用）、

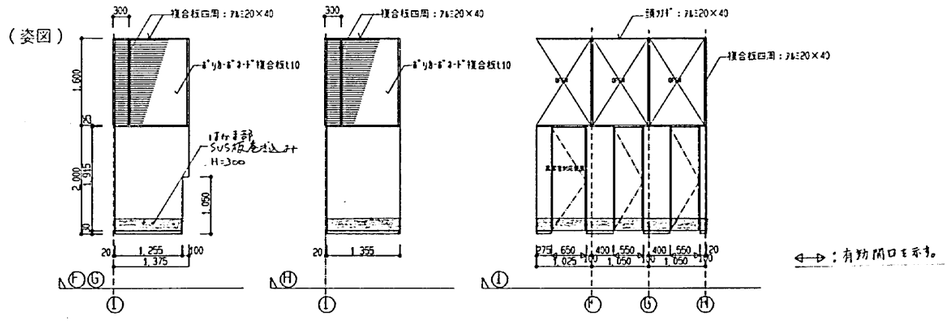
工事種別	用途番号	構造種別番号	建物図面番号	階数番号	図面種別番号	図面図面番号	枝番記号
H	2	5	2 0 4	0 0	5 2	0 1 7	F

記号・数量	(2/1B) トイレブース	1
場所	女子便所	

(平面図)



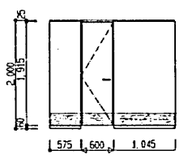
(姿図)



⟷：有効開口を示す。

材質・見込	フラッシュパネル、40
仕上	メラミン化粧合板
硝子	ｱﾙﾐﾊﾆｶｰﾄﾞ複合板t=10(乳白色)
金物	ｽｲﾝﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ｸﾞｽﾋﾟﾝﾃｨﾝｸﾞ、ｽｲﾝﾄﾘｰﾗｯﾁ、戸当り錠受金具、壁付ｼｭｳｴｰ、SUS巾木、ｱﾙﾐ押出型頭ｶﾌﾞﾄ、ｽﾗｲﾄﾞ表示錠
備考	手摺用補強、RC壁側にﾌﾗｯﾄ複合板四周ｱﾙ20×40、中間ｸﾞﾗｳﾋﾞ止め、四周溝ｱﾙﾐﾊﾆｶｰﾄ金物、頭ｶﾌﾞﾄ ｱﾙ20×40(特注用)、SUS巾木部ｼｰﾘﾝｸﾞ3方

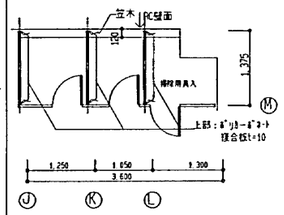
記号・数量	(1/1B) 間仕切壁	1
場所	事務室	



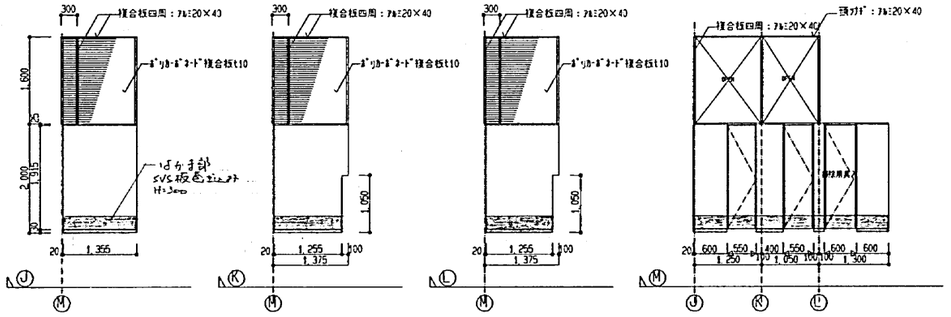
材質・見込	フラッシュパネル、40
仕上	メラミン化粧合板
硝子	
金物	ｸﾞｽﾋﾟﾝﾃｨﾝｸﾞ、ｱﾙﾐ押出型頭ｶﾌﾞﾄ、SUS巾木、ﾊﾝﾄﾞﾙ(内外ｾﾟﾝ)
備考	内外枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞ、ｱﾙﾐ回縁w110

記号・数量	(3/1B) トイレブース	1
場所	女子便所	

(平面図)



(姿図)

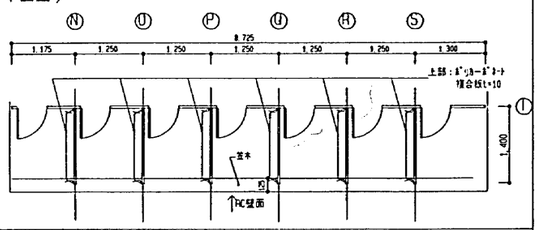


⟷：有効開口を示す

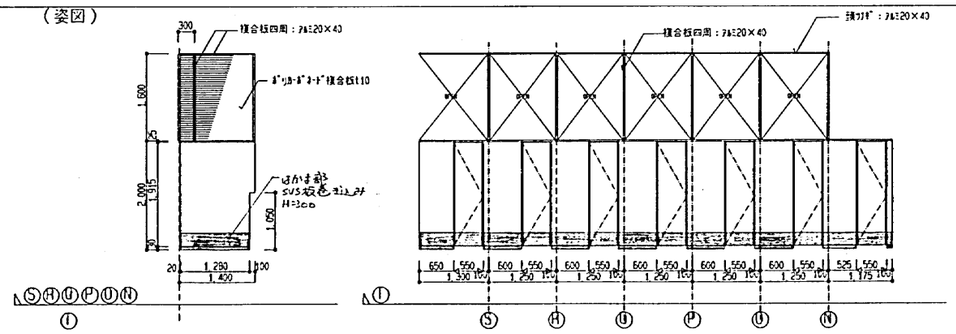
材質・見込	フラッシュパネル、40
仕上	メラミン化粧合板
硝子	ｱﾙﾐﾊﾆｶｰﾄﾞ複合板t=10(乳白色)
金物	ｽｲﾝﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ｸﾞｽﾋﾟﾝﾃｨﾝｸﾞ、ｽｲﾝﾄﾘｰﾗｯﾁ、戸当り錠受金具、壁付ｼｭｳｴｰ、SUS巾木、ｱﾙﾐ押出型頭ｶﾌﾞﾄ、ｽﾗｲﾄﾞ表示錠、本錠錠(錠取用具入のみ)
備考	RC壁側にﾌﾗｯﾄ複合板四周ｱﾙ20×40、中間ｸﾞﾗｳﾋﾞ止め、四周溝ｱﾙﾐﾊﾆｶｰﾄ金物、SUS巾木部ｼｰﾘﾝｸﾞ3方

記号・数量	(4/1B) トイレブース	1
場所	女子便所	

(平面図)



(姿図)



⟷：有効開口を示す。

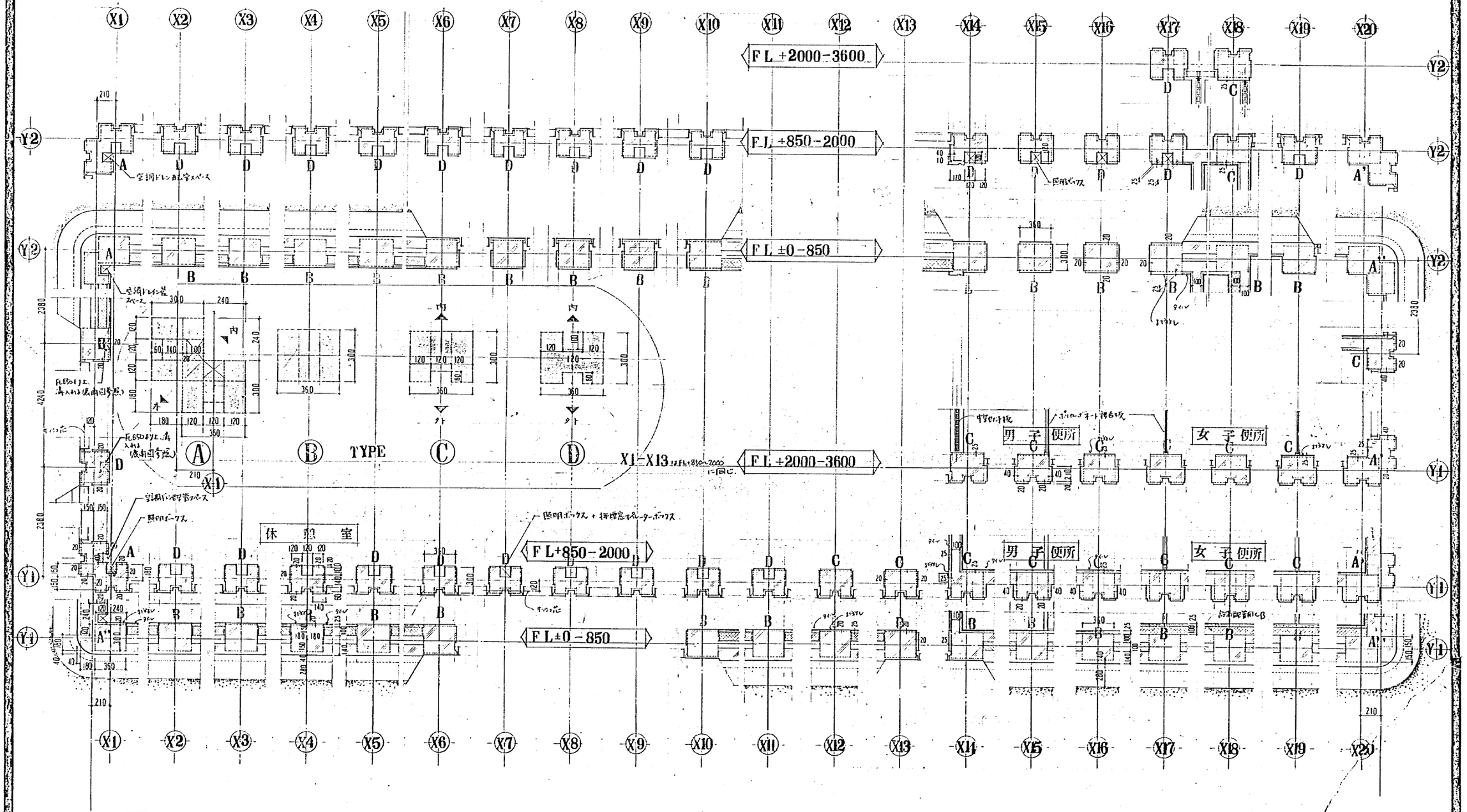
材質・見込	フラッシュパネル、40
仕上	メラミン化粧合板
硝子	ｱﾙﾐﾊﾆｶｰﾄﾞ複合板t=10(乳白色)
金物	ｽｲﾝﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ｸﾞｽﾋﾟﾝﾃｨﾝｸﾞ、ｽｲﾝﾄﾘｰﾗｯﾁ、戸当り錠受金具、壁付ｼｭｳｴｰ、SUS巾木、ｱﾙﾐ押出型頭ｶﾌﾞﾄ、ｽﾗｲﾄﾞ表示錠
備考	RC壁側にﾌﾗｯﾄ複合板四周ｱﾙ20×40、中間ｸﾞﾗｳﾋﾞ止め、四周溝ｱﾙﾐﾊﾆｶｰﾄ金物、SUS巾木部ｼｰﾘﾝｸﾞ3方

工事名	(医療)山下公園ｽﾄｯｸﾔｰﾄ新築工事(建築工事)	年月日	H12 12
図面番号	A-31	建具表 2	縮尺 1/50
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房	

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-311-6664
FAX045-314-1653
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

(医療)山下公園ｽﾄｯｸﾔｰﾄ新築工事
工事名 - (建築工事) 縮尺 1/50
図名 建具表 2 図番 A-31

工事類別	月通番号	建物類別番号	建物固有番号		施設番号		部位番号	部屋固有番号		枝番記号
H	2	5	2 0 4		0 0 5		2	0 1 8		F



工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-32 雑詳細図1(柱型リスト)	縮尺	1/20

建築局長	建築部長	課長	係長	担当	担当

横浜市建築局　株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-317-6624
FAX045-316-1453

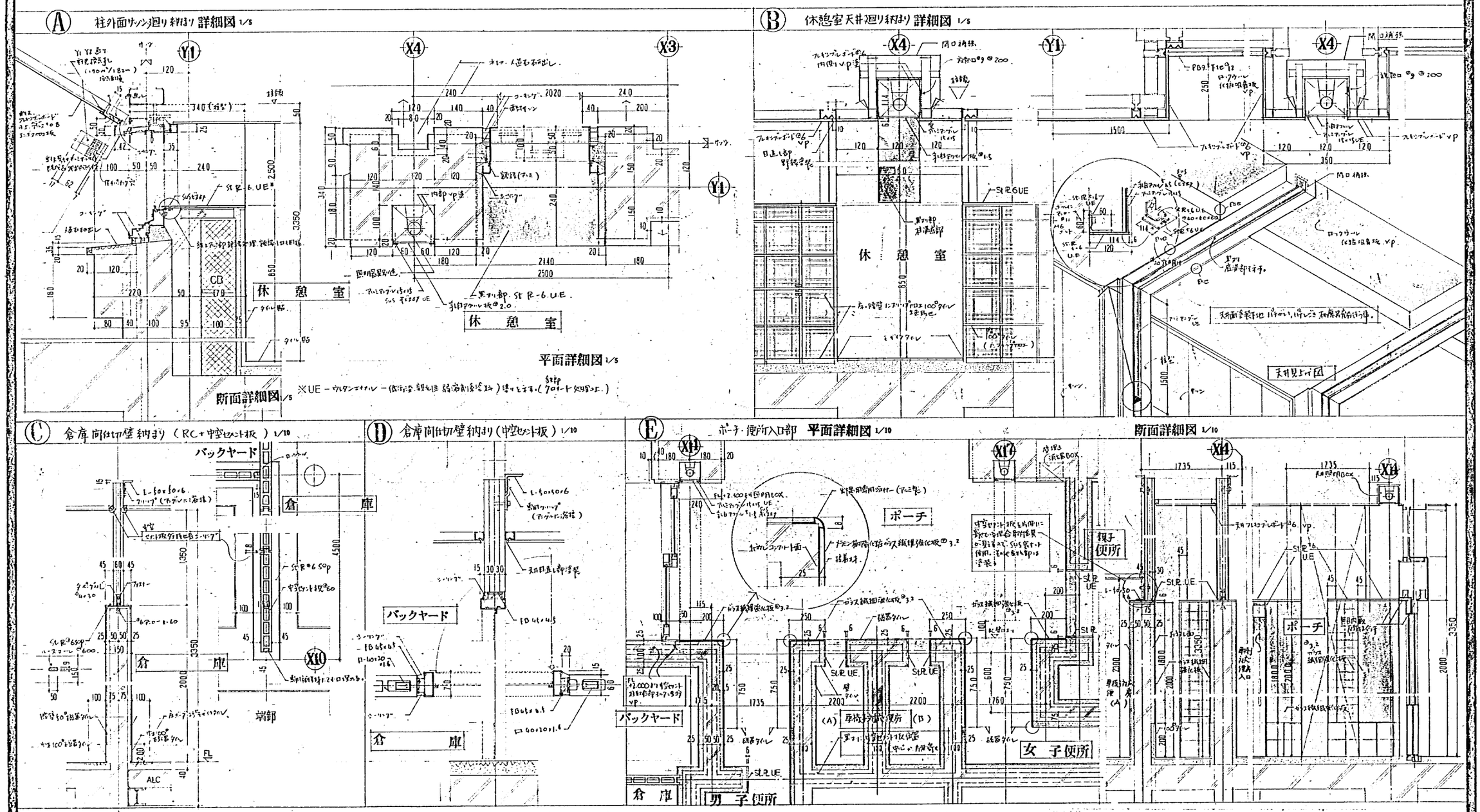
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事)　縮尺 1/20

図名 雑詳細図1(柱型リスト)　図番 A-32

法 33

工事種別	用途番号	建物構造番号	建物固有番号			建設番号			図面固有番号			枝番記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	1	9 F



工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-33	縮尺	1/5・1/10
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房	

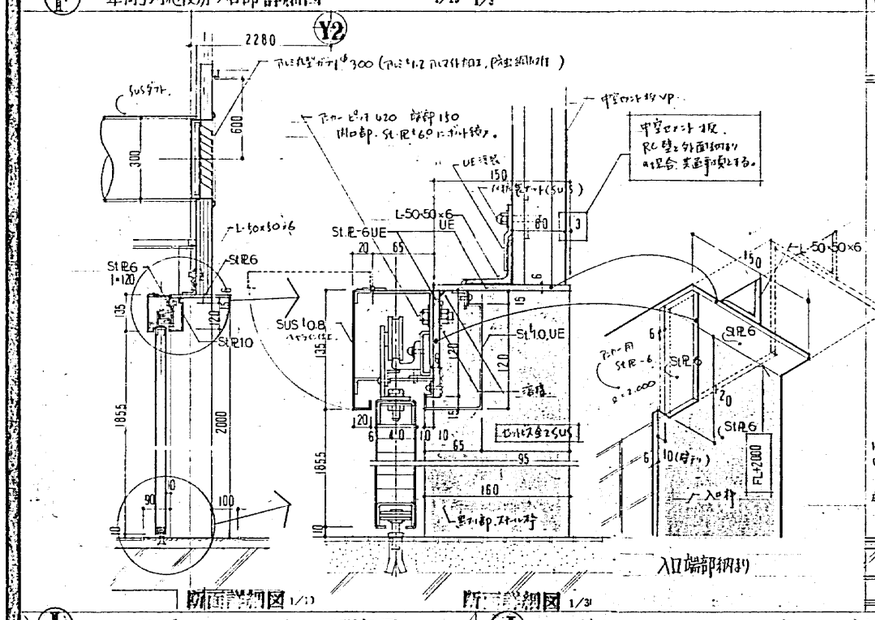
株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-314-1653
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/5 1/10

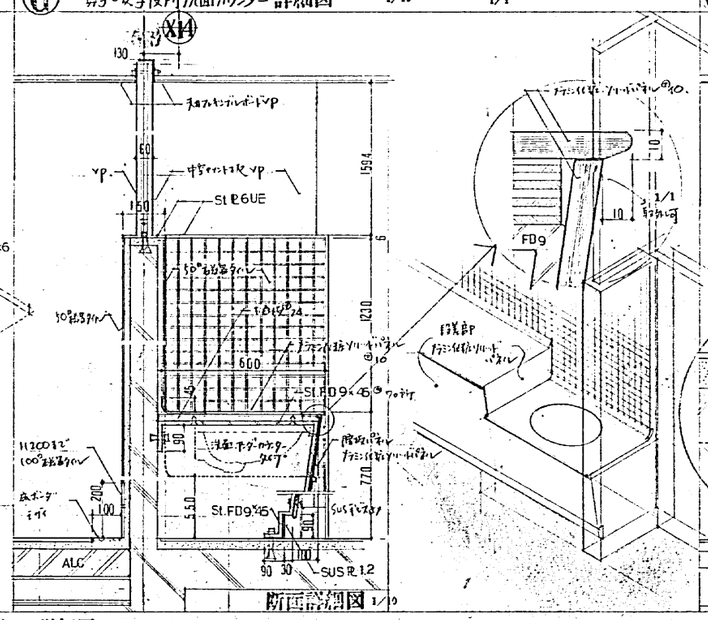
図名 雑詳細図2(A～E) 図番 A-33

工事概況	用途番号	施物種別番号	建物関係番号			施設番号			配置図番号	詳細関係番号			特殊記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	2	0	2	0	F

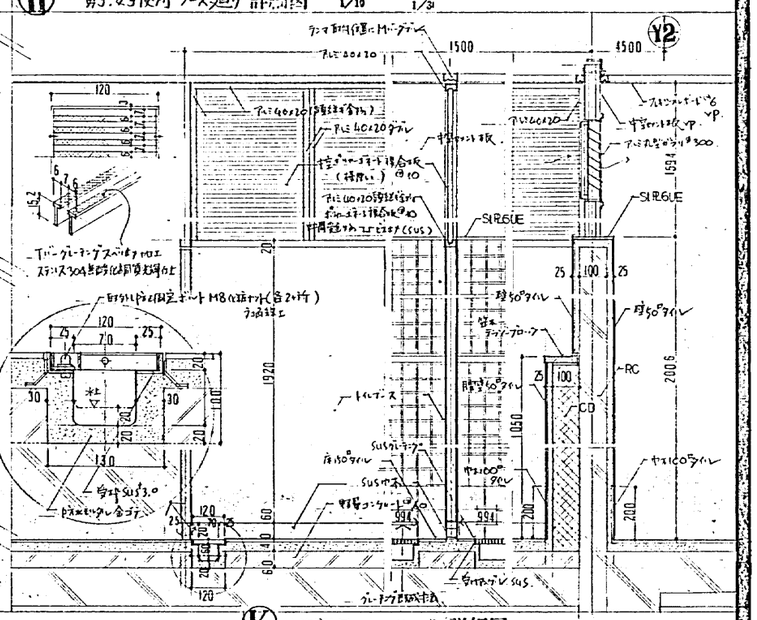
F 車椅子対応便所 入口部 詳細図 1/10 1/3



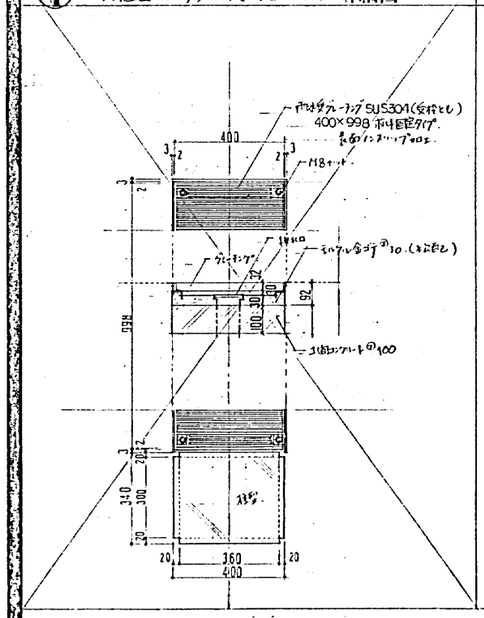
G 男子・女子便所 洗面カウンター 詳細図 1/10 1/1



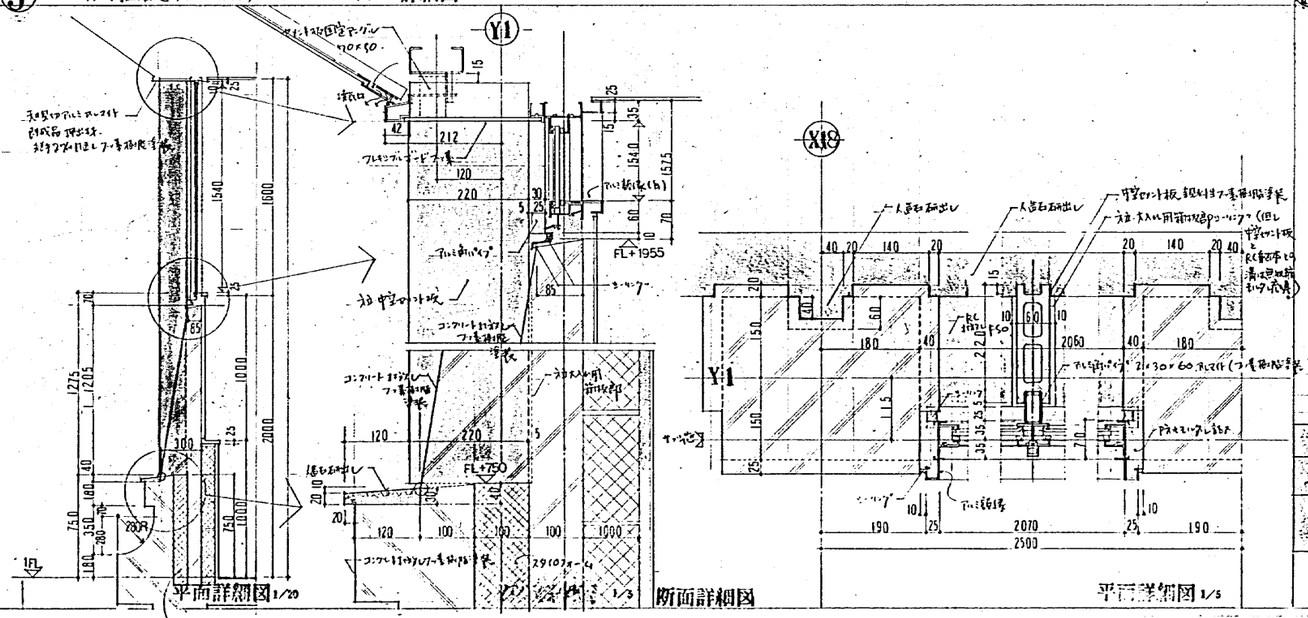
H 男子・女子便所 ブース廻り 詳細図 1/10 1/3



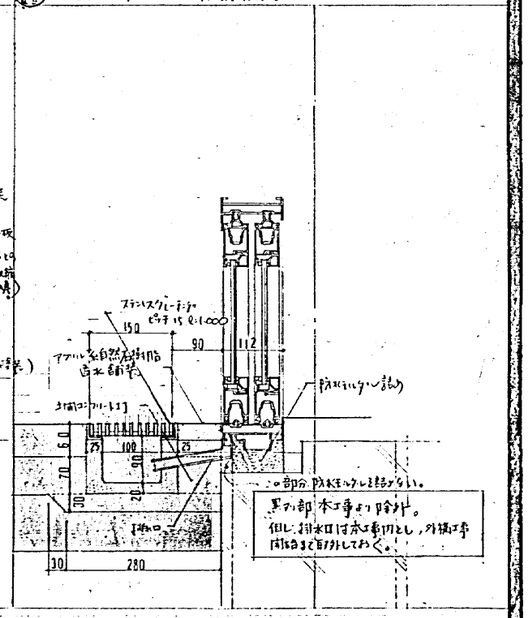
I 休憩室 ポーチ入口 雨水受グレーチング 詳細図 1/10



J 柱内面合せ サッシュ納まり・中空セメント板方立 詳細図 1/20 1/5



K 休憩室入口，サッシ排水溝 詳細図 1/5



工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)		年月日	H12.12
図面番号	A-34	雑詳細図3(F～K)	縮尺	1/1・1/3・1/5 1/10・1/20
確認済証番号	確認年月日	課長 係長	職員	担当
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1163
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

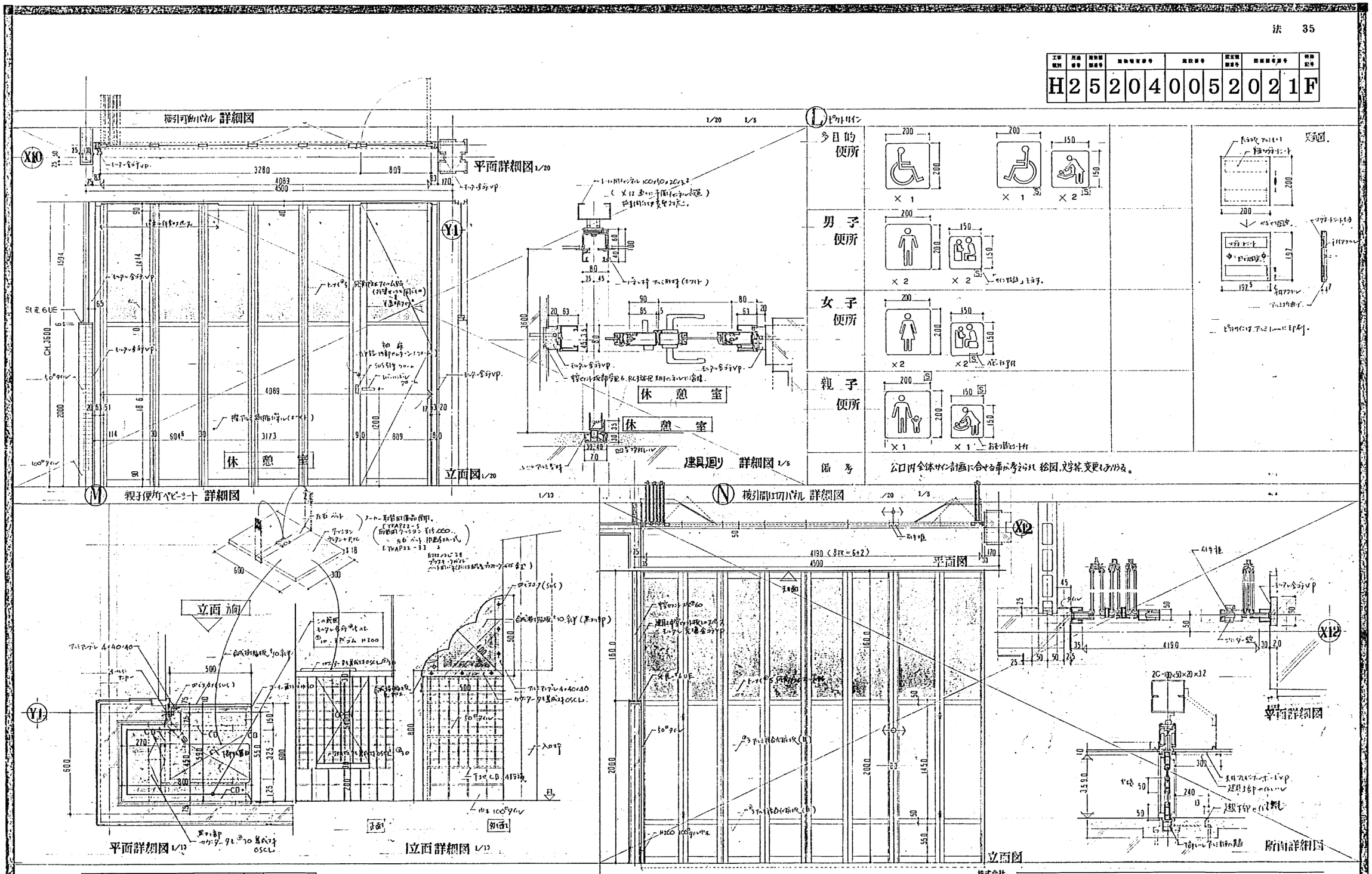
工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事)

縮尺 1/1 1/3 1/10 1/5 1/20

図名 雑詳細図3(F～K)

図番 A-34

工事種別	用途番号	建物種別番号	建物等有番号	施設番号	既存種別番号	既存建物等番号	特殊記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	2	0 2 1	F



工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-35 雑詳細図4(L～N)	縮尺	1/5, 1/10, 1/20
確認済証	確認番号	課長	係長	担当	所長
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房			

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事)

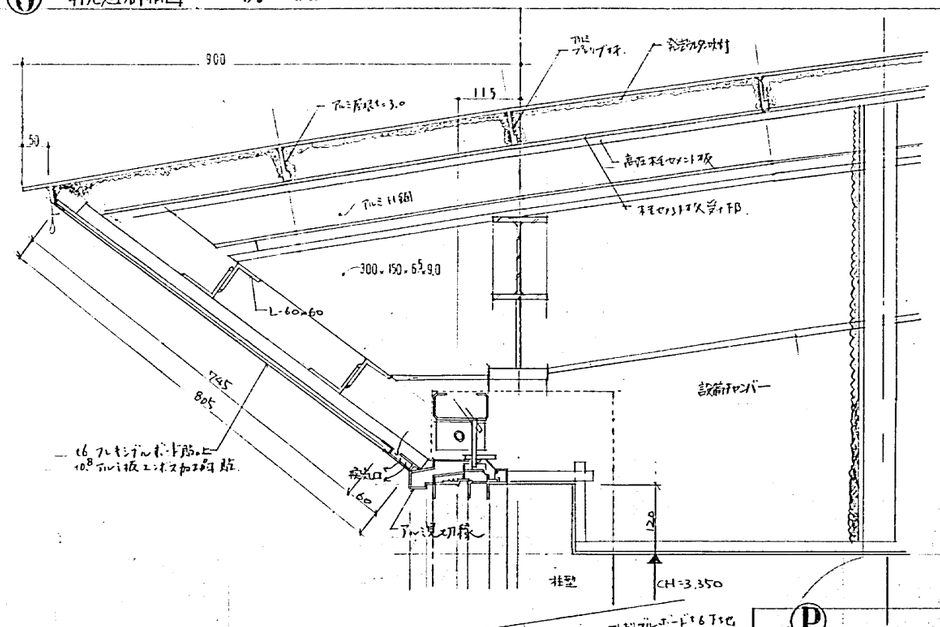
縮尺 1/5 1/20 1/10

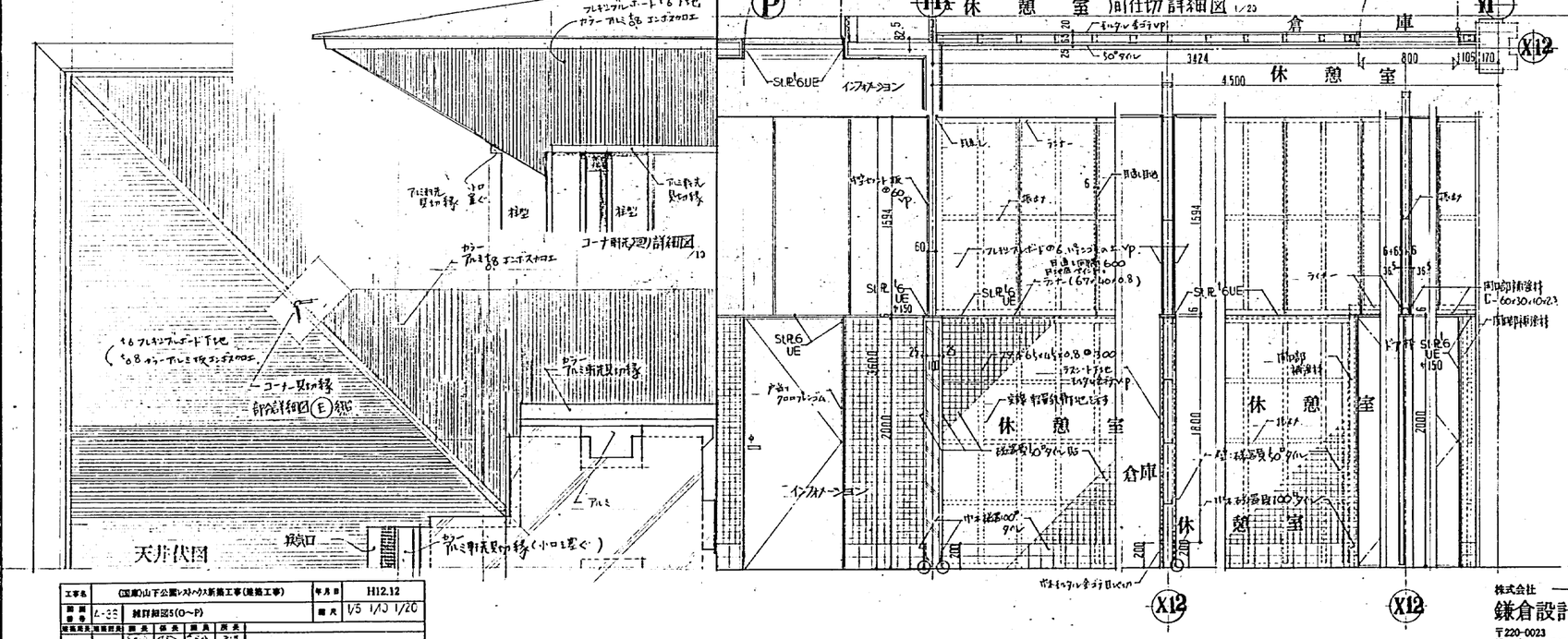
図名 雑詳細図4(L～N)

図番 A-35

工事種別	用途番号	建物開発番号	建物固有番号	施設番号	記号開発番号	開発固有番号	特殊記号
H	2	5	204	005	2	022	F

Ⓞ 軒先廻り詳細図 1/5 1/10





工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	A-36 雑詳細図5(O～P)	縮尺	1/5 1/10 1/20
横浜局長	建築部長	主査	係長	担当	所長

横浜市建築局　株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL(045)312-6681
FAX(045)316-1653

一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)　1/5 1/10 縮尺 1/20

図名 雑詳細図5(O～P)　図番 A-36

法 37

工事種別	用途番号	建物種類番号	構造図面番号	用途番号	図面種類番号	図面連番号	特殊記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	3	0 0 1	F

構造設計標準仕様

適用は ■印を記入する。

1。建築物の構造内容

(1) 工事名称　山下公園レストハウス
建築場所　神奈川県横浜市

(2) 工事種別　■新築　□増築　□増改築　□改築

(3) 構造種別
□本造（W）　□補強コンクリートブロック造（CB）　■鉄骨造（S）
■鉄筋コンクリート造（RC）　□壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　□

(4) 階数
地下　階　地上 1 階　塔屋　階

(5) 主要用途

(6) 屋上付属物
□広告塔　□高架水槽　KN　□　□
□煙突　□キュービクル　KN　□　□

(7) 増築計画　□有（　）■無

(8) 付帯工事
□　□　□　□　□

(9) 特別な荷重
□エレベータ　人員（ロープ式　油圧式）　□リフト　KN　□ホイスト　KN
□倉庫積載床用　N/m²　□受水槽　KN

(10) 構造計算ルート　X方向ルート　1　Y方向ルート　1

2。使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度Fc =N/mm2	スランプcm	備考
捨コンクリート	普通	15	15	
土間コンクリート	普通	18	15	
基礎、基礎梁	普通	24	15	※1)
柱、壁、床、壁	普通	24	15	※1)
	普通			
	普通、軽量			
押えコンクリート	普通、軽量			

※1) セメント量 320(kg/m3)以上　細骨材率 46%以上　空気量 3.0±1.5%　水セメント比 60%以下

(2) コンクリートブロック（CB）
□A種　□B種　□C種　厚□100　□120　□150　□190

(3) 鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■SD295A	D10～D16		■重ね継手
	□SD295B			
	■SD345	D19～D25		■ガス圧接継手
	□SD390			□ガス圧接継手
丸鋼	□SR235			□特殊継手
溶接金網	□	6φ 150X150		（　）

(4) 鉄骨

	種類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度
鋼材	■SS400　□SM400A	屋根　壁	□有　■無	L0.9F ■1.0F
	□STK400　□STKR490		□有　□無	□0.9F □1.0F
	□SM490A, B		□有　□無	□0.9F □1.0F
	□SN490		□有　□無	□0.9F □1.0F

(5) ボルト
■高力ボルト　■F10T　□S8T　□S10T　認定品□M12,■M16,■M20,□M22)
□中ボルト　高力ボルトすべり係数試験　□要　□否
□アンカーボルトSS400　φ= 16　L= 650　mm　ナット（ツンダル、ダブル）
■　〃　φ= 22　L= 880　mm　（Lは定着長さを示す）
□取付スタッド　φ= 13　L= 100　mm

(6) 屋根、床、壁　使用箇所
□ALC版　厚
□折版　形式　H=　厚
□デッキプレート　形式　厚
□キーストーンプレート　形式　厚
□特殊デッキプレート
□

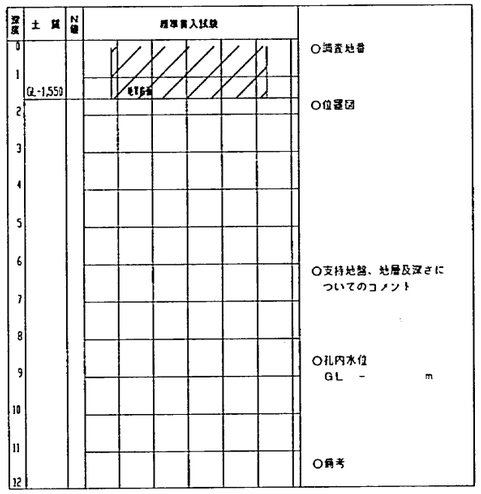
3。地盤

(1) 地盤調査資料
■有（■敷地内 □近隣）　■ボーリング調査　□平板載荷試験　□水平地盤反力係数の測定
□無　（調査予定　□有　□無）　□

(2) 地盤調査計画
□ボーリング調査　□静的貫入試験　□標準貫入試験　□水平地盤反力係数の測定
□土質試験　□物理探査　□平板載荷試験　□

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）



4。地業工事

(1) 直接基礎　■ベタ基礎　□布基礎　□独立基礎　試験杭　□有　□無
深さGL -1.40 m、支持層　長期許容支持力度 30 N/m²　載荷試験□有　□無

(2) 杭基礎　支持層　m

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PC □PHC□H鋼 □鋼管 □深礎杭 □	PC （□A種 □B種 □C種） PHC □A種 □ B種□ C種） 鋼管 □SS400 □STK400 □	□打ち込み □埋込み（セメントミルク工法） □プレボーリング拡大根固め工法 □ RODEX工法・タイプ?	大臣認定第　号 年　月　日
□場所打ちコンクリート杭	コンクリートFc= 240 セメント量 360 kg/m³ 鉄筋　主筋 SD 345 HOOP SD 295	□オールケーシング □杭基礎 □リバースサーキュレーション □アースドリル　□ミニアース □BH □深礎　（□手堀 □鋼板堀）	建設省 日本建築センター認定 第　号 年　月　日

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□有・□無）　（□打ち込み・□載荷）

杭径（mm）	設計支持力（t）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5。鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート
■ コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工にかんしては新JASS5による。
■ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、監理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で ⑲ 国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定結果の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験体（JASS5T 603）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、1週用および4週用にそれぞれ3本づつを用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は90分、25℃以上の場合は90分以内とする。

(2) 鉄筋
■ 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」による。
■ D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
■ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を超えるときは、200箇所ごと）に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
外観検査　□有　□無、引張試験　□有　□無、超音波深傷試験　□有　□無
■ 柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、□H型（Tタガ型）□W型（溶接型）□S型（スパイラル型）とする。
■ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
試験機関名　未定
代行業者名　未定
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する業者をいう。

(3) 型枠
■ 材料　合板厚　12 m/m　を標準とする。　□
■ 型枠存置期間

部位 / セメントの種類 / 平均気温	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下	
	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種
15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃以下	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5 N/mm²		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%		設計基準強度の100%	

注）1　片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）6　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6。鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
□

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
■制作工場　■制作要領書　■工作図　■施工計画書
■建設省告示第1103号による認定工場（大臣認定 M グレード都登録　ランク）
■材料現場証明書または試験成績書
■鋼材　■高力ボルト　■特殊ボルト　□スタッドボルト
■社内検査表　□　□

(3) 工事管理者が行う検査項目
（■印以外の項目の検査結果については工事監理者に報告すること）
■現寸検査　□組立・開先検査　■製品検査
■建方検査　□　□

(4) 接合部の溶接は下記によること
■東京都アーク溶接工事管理規準（建築構造設計指針第12章）
■鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要項（建築構造設計指針第12章）
■日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I,II,III,IV,VI,VII,VIII,IX」

(5) 接合部の検査
■溶接部の検査（検査結果は後日監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査結果または検査数 社内	第三者	工事監理者	備考
■突き合せ溶接部	超音波深傷試験	100 %	30 %	－ %	
■隅	外観（目視）検査	100%	100%	－ %	
□	マクロ試験・その他	－ 個	－ 個	－ 個	
第三者検査機関名	CIW認定業者				

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注）現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

■ 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、クラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤錆び状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤錆びは、発生しないままでよい。
■ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するように注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装
■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料
■

7。設備関係

■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
■ 設備機器架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1／3以下とし管の離隔を5cm以上とする。

8。その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	12.12
図面番号	S-01	構造設計標準仕様	縮尺

横浜市建築局　株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1653
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

(国庫)山下公園レストハウス新築工事
工事名　建築工事 縮尺
図名　構造設計標準仕様　S-01

発行 社団法人 東京都建築士事務所協会

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物図有番号			施設番号			図面種類番号	図面図有番号			枝番号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	3	0	0	2	F

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

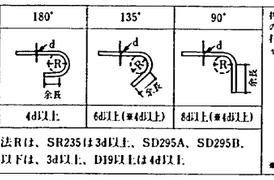
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　D…部材の成　R…直径

@…間隔　r…半径　℄…中心線　ℓ₀…部材間の内法距離　h₀…部材間の内法高さ

ST…あばら筋　HOOP…帯筋　S.HOOP…補強帯筋　φ…直径又は丸鋼

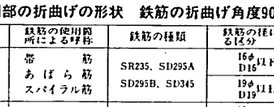
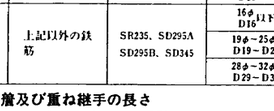
2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上。				※片持スラブ上端筋の先端

折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部または梁と同時に打ち込む下端および上端梁のキャップタイにのみ用いる。

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度90°以下

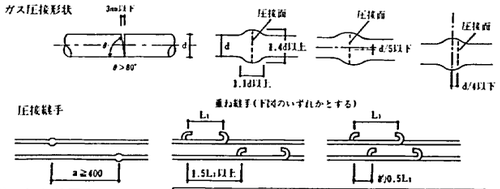
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16以下	3d以上
			19φ D19以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16以下	4d以上
			19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L_1)
		一般 (L_2)	下ば筋 (L_3) 小梁	下ば筋 (L_3) スラブ	
SR235	21 22.5 24	35d フックつき	25d フックつき	15cmフックつき	35d フックつき
	16 18	45d フックつき			45d フックつき
SD295A SD295B SD345	21 22.5 24	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 15cm以上	40d または 30d フックつき
	16 18	40d または 30d フックつき			45d または 35d フックつき

継　手

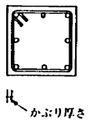
1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



(4) かぶり厚さ (単位：mm)

ひびわれ、露出地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

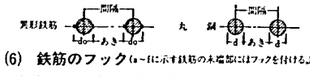
部位			設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40[1]	30(20)
	柱 はり 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50[2]	40[1](30)
	擁壁		50[2]	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40[4]
	基礎・擁壁		70	60[4]



(注) (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4) 柱筋コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) ( )内は仕上げがある場合。
改定により標準かぶり厚さは10mm増し

(5) 鉄筋のあき

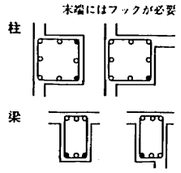
丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上



(6) 鉄筋のフック (a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

a. 丸鋼　b. あばら筋、帯筋　c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

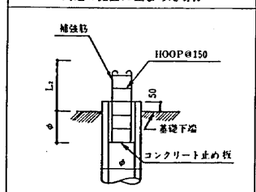
図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。)

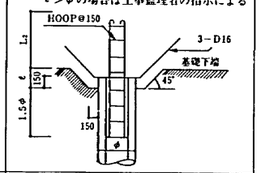
(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合



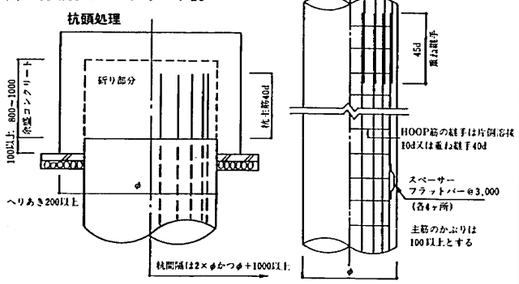
所定より低く止まった場合

但し ℓ≦φの場合
ℓ>φの場合は工事監理者の指示による



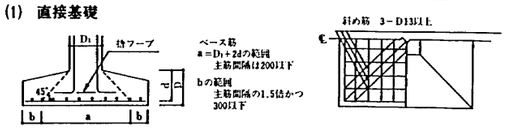
杭径	300φ,350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6－D13	8－D13	10－D13	8－D16	10－D16
HOOP	D10-@150				

(2) 現場打ちコンクリート杭

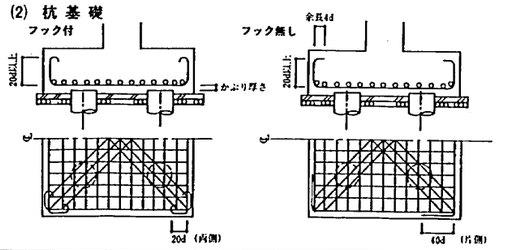


4. 基礎

(1) 直接基礎

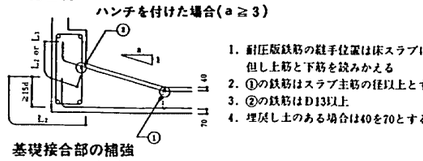


(2) 杭基礎



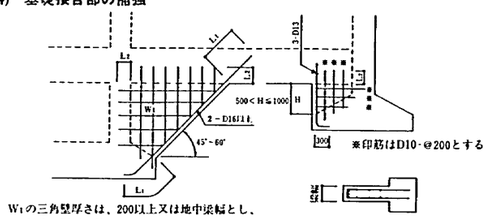
(3) べた基礎

ハンチを付けた場合(a≧3)



1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする

(4) 基礎接合部の補強

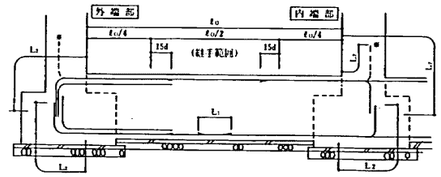


W₁の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

H≦500は※印筋は不用とする

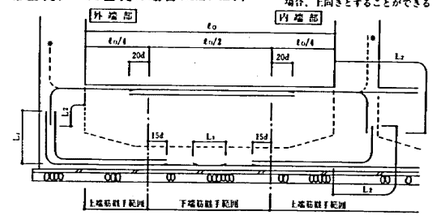
5. 地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



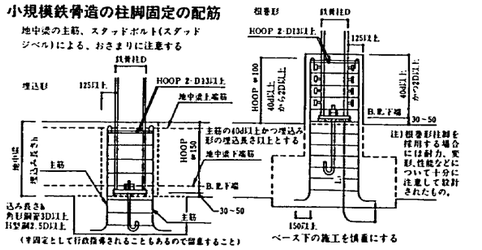
(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)

※上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる



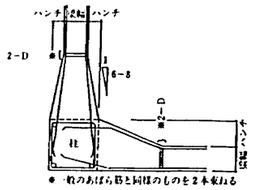
(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

地中梁の主筋、スタッドボルト(スタッドジベル)による、おさまりに注意する



(注)根巻形柱脚を採用する場合には耐力、変形、性能などについて十分に検討して設計されたもの。

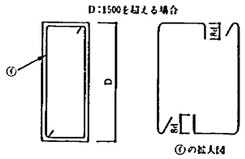
(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



※一般のあばら筋と同様のものを2本束ねる

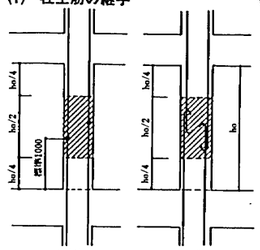
(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

D:1500を超える場合

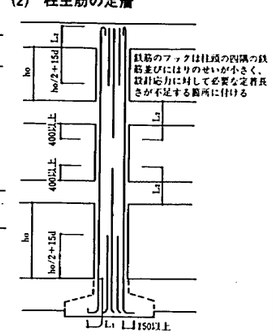


6. 柱

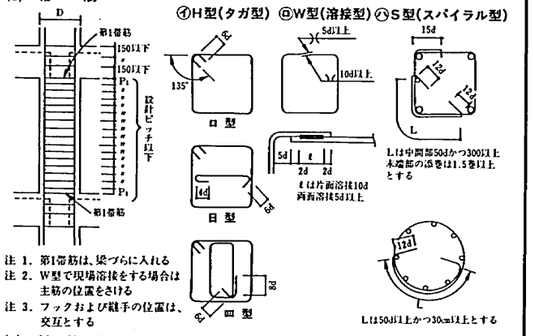
(1) 柱主筋の継手



(2) 柱主筋の定着



(3) 帯筋


D
第1帯筋
150以下
P₁
設計ピッチ以下
135°
10d以上
15d
12d
L
5d
2d
d
14d
12d
φ
φ
φ

発行　社団法人 東京都建築士事務所協会

工事段別	用途番号	建物種類番号	建物固有番号	施設番号	図面種類番号	図面固有番号	特殊記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	3	0 0 3	F

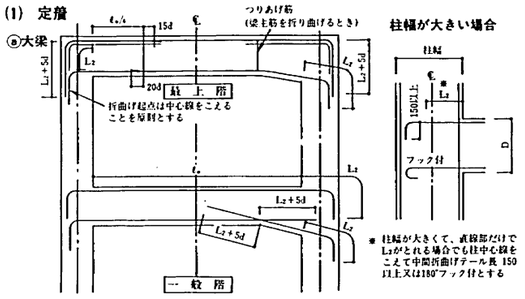
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L＝鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2－(3)による。

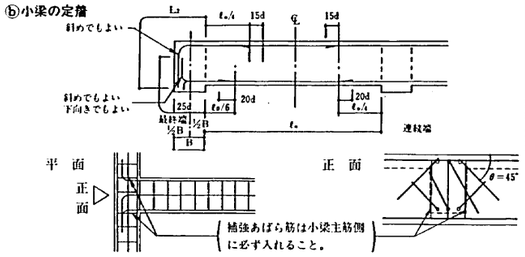
7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

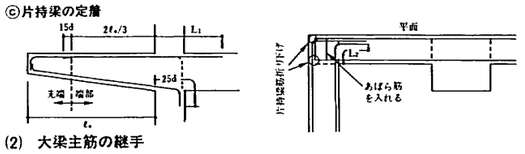
ⓐ大梁



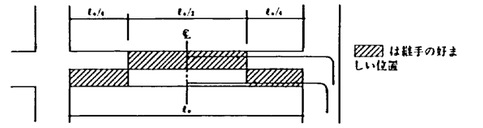
ⓑ小梁の定着



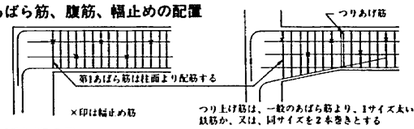
ⓒ片持梁の定着



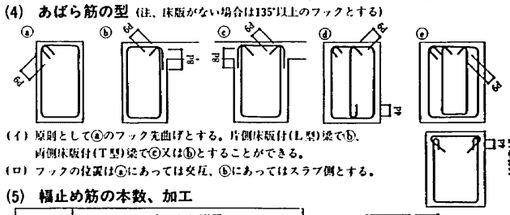
(2) 大梁主筋の継手



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



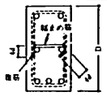
(4) あばら筋の型 (注、床版がない場合は135°以上のフックとする)



(イ) 原則としてⓐのフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁でⓑ、両側床版付(T型)梁でⓒ又はⓑとすることができる。
(ロ) フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑにあってはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

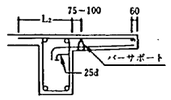
腹筋	D＜600 不要	
	600≦D＜900	2－D10(9φ) 1段
	900≦D＜1200	4－D10(9φ) 2段
	1200≦D	D10(9φ)@300以内
幅止め筋	D10(9φ)@1000以内で割り付ける	



8. 床 板

(1) 定着および継手

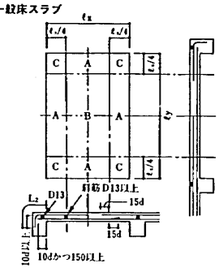
ⓐ 片持床スラブ



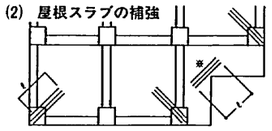
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短 辺 方 向	B
	長 辺 方 向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A C

ⓑ 一般床スラブ

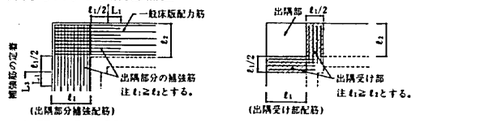


(2) 屋根スラブの補強

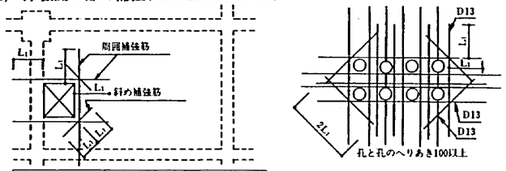


ⓐ補強筋は各3－D13 又はスラブ主筋の同一径でℓ＝1,500とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ※の個所(入隅)は各階補強する

(3) 片持ちスラブ出隅部補強



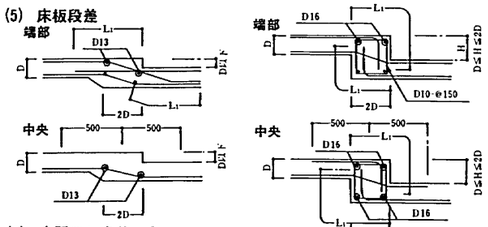
(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)



床板厚さD	周 囲	斜 め
D≦150	各2－D13	各1－D13
150＜D≦200	各2－D13	各2－D13
200＜D≦300	各2－D19	各2－D16

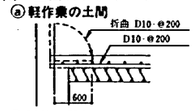
注) 設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) 床板段差

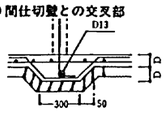


(6) 土間コンクリート

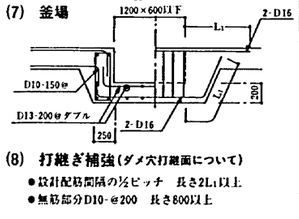
ⓐ軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



(7) 釜場



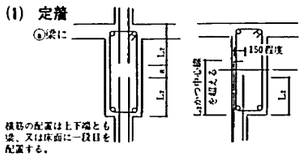
(8) 打継ぎ補強(ダメ穴打継面について)

- 設計配筋間隔の½ピッチ　長さ$2L_1$以上
- 無筋部分D10-@200　長さ800以上

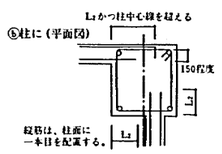
9. 壁

(1) 定着

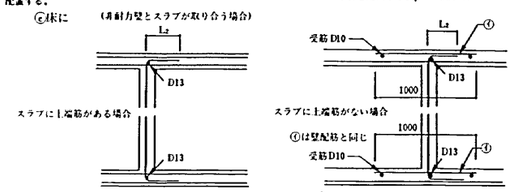
ⓐ梁に



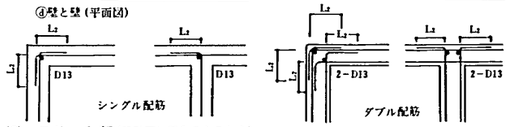
ⓑ柱に(平面図)



ⓒ床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)



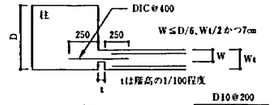
ⓓ壁と壁(平面図)



(2) スリット部(設計図に記入のあるとき)

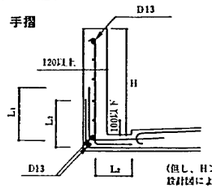
部分スリットの場合

スリット部の鉄筋の被り厚さは2(d)がこれ厚さの表、見せかぶり厚さ以上とする。

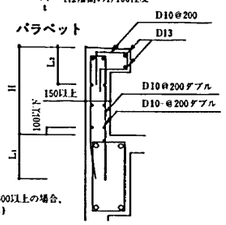


(3) 手摺、パラペット

手摺

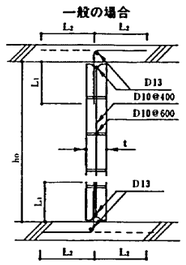


パラペット

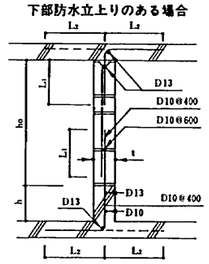


(4) コンクリートブロック塀壁

一般の場合



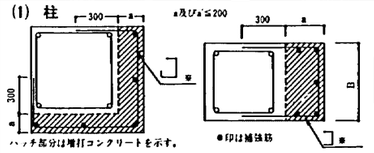
下部防水立上りのある場合



注) ho≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注) hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400
注) 継手部は必ずモルタルをてん充すること

10. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと)

(1) 柱

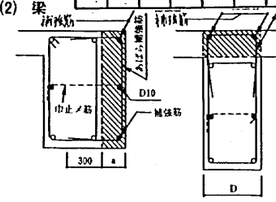


ハッチ部分の面積A≧補強タテ筋

A＜500	500≦A＜1500	1500≦A＜2500
3－D16	4－D16	6－D16

＊柱と同径、同ピッチとする。

(2) 梁

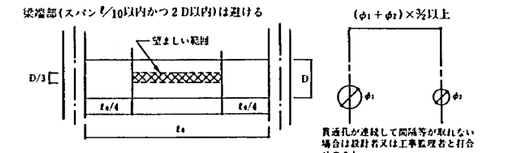


法 39

- 補強筋は、梁主筋の1段落し住(D16以上)とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- D≧400の場合は補強筋を3本とする。
- aは100～200程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

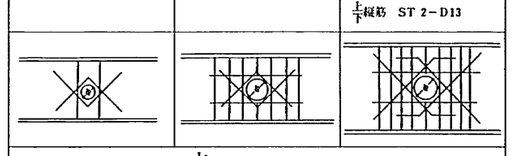
11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲



(2) 鉄筋標準配筋　但し φ≦D/3とする

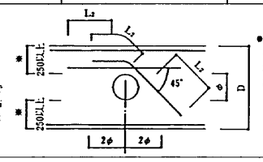
80≦φ≦100	100＜φ≦150	150＜φ≦250
折 筋 2－(2－D13)	折 筋 2－(2－D13)	斜 筋 4－(2－D13)
縦 筋 ST 2－D13	縦 筋 ST 2－D13－100@	縦 筋 ST 2－D13－100@
	横 筋 2－(2－D13)	横 筋 2－(2－D13)
		上下縦筋 ST 2－D13



φ＞250

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

＊部分について計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらなくて良い。

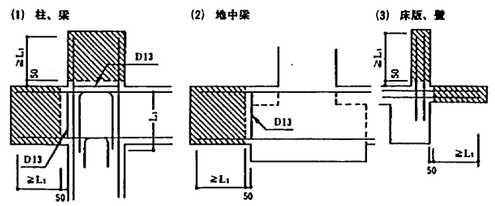


- 梁幅が400を超える場合は補強筋でD13はD16又は、2－D13は3－D13と、各々読みかえる

(3) 既製品(使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□リング型　□パイプ型　□金網型　□プレート型

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する)



工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	S-03 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	縮尺	
検査印	検査 検査 検査 検査		
横浜市建築局	株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6504
FAX045-316-1433
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名　(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)　縮尺

図名　鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)　図番 S-03

'97.7.500(1部)(S)

発行 社団法人 東京都建築士事務所協会

工事区別	用途番号	建物構造番号	建物固有番号			施設番号			図面種類番号	図面固有番号				特殊記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	3	0	0	4		F

鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

(a) 構造設計仕様による

(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする

(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

(2) 工作一般

(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る

(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による

(c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

(3) 高力ボルト接合

(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(4) 溶接接合

(a) **溶接技能者**

溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

(b) **溶接機器**

(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A　(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機

(ロ) アークエアーガウジング機(直流)　(ホ) 溶接電流を測定する電流計

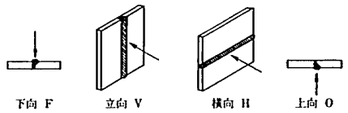
(ハ) サブマージアーク溶接機1式　(ヘ) 溶接棒乾燥器

(c) **溶接方法**

アーク手溶接 (MC)　ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)

セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接 (NGC)　アークエアーガウジング (AAG)

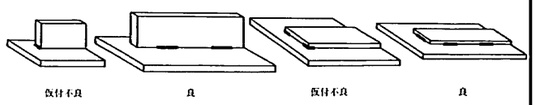
(d) **溶接姿勢**



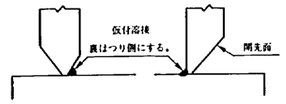
(e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

(イ) 仮付位置

組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(f) **溶接施工**

(イ) エンドタブ

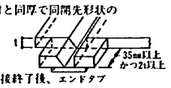
I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける

II) エンドタブの材質は、母材と同質とする

III) エンドタブの長さは、MC：35mm以上

NGC、GC：40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、エンドタブ母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする

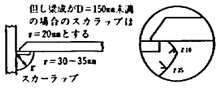
IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る



(ロ) 裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

(ハ) スカラップ　半径は30～35mmと、10mmのダブルアールとする



(ニ) 裏はつり

規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける

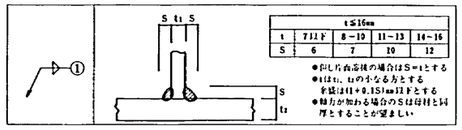
(ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう

(5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接規準図 (注) f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長 (単位mm)

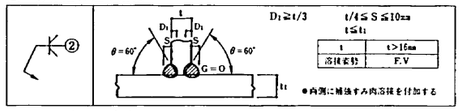
(1) スミ肉溶接



	t≦16mm			
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

●印した所溶接の場合はS＝tとする
●tはt1、t2の小なる方とする
余盛はH＋0.15mm以下とする
●強力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

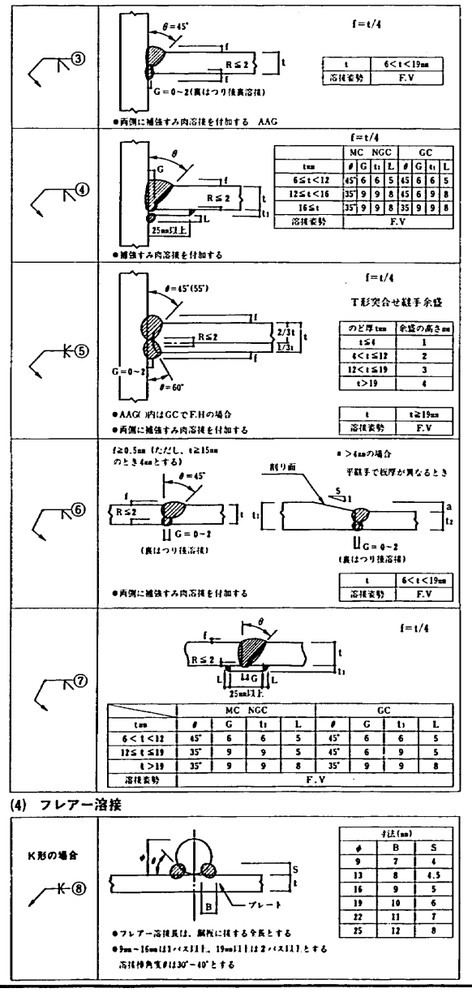
(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)



t	t>16mm
溶接姿勢	F.V

●両側に補強すみ肉溶接を付加する

(3) 完全溶込み溶接 (平継手　T形継手)



のど厚tmm	余盛の高さmm
t≦4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
t＞19	4

t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V

	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t＜16	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t≧19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t＞19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フレアー溶接

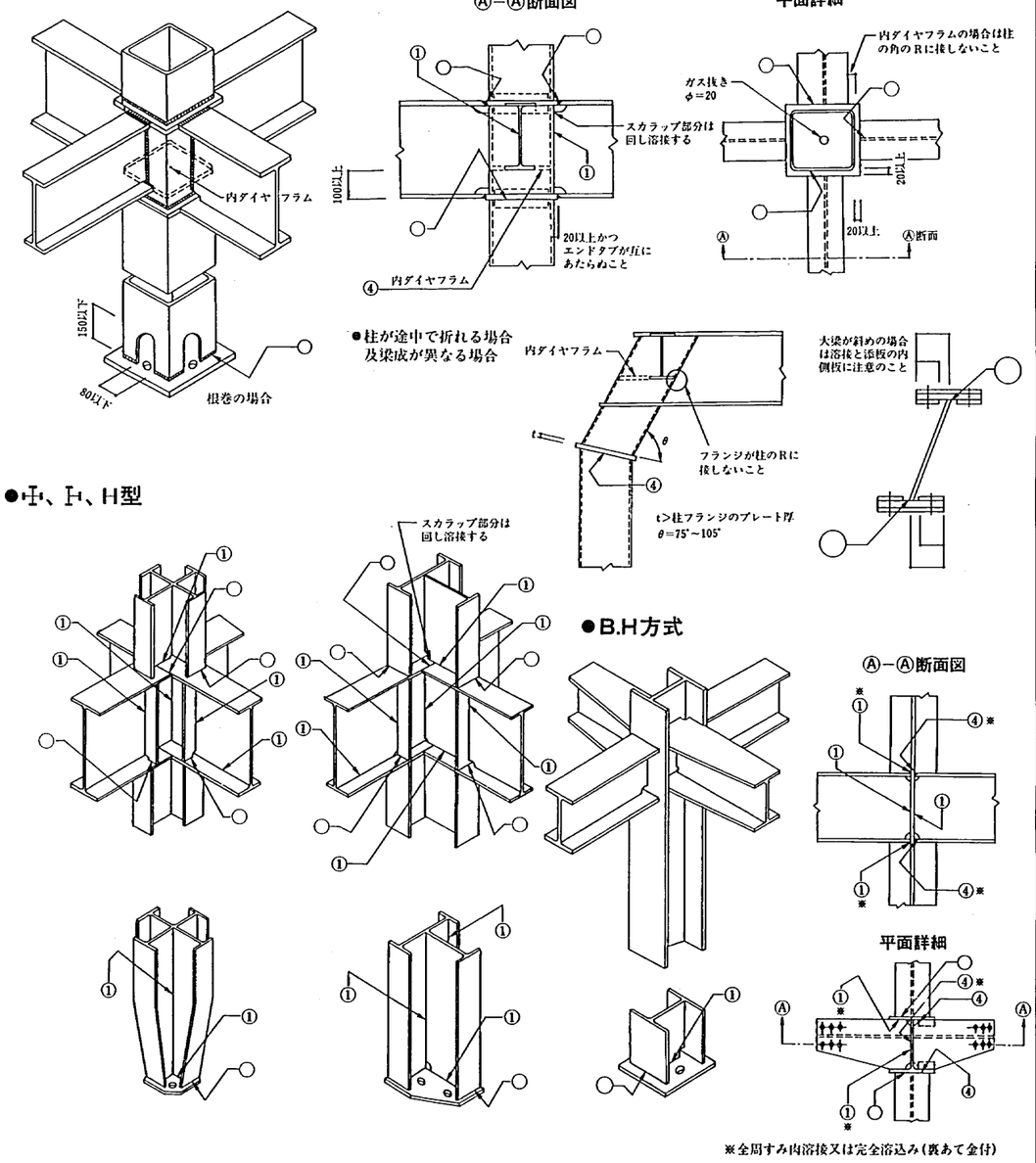
K形の場合

寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

●フレアー溶接長は、脚長に接する全長とする
●9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
溶接棒角度φは30°～40°とする

○溶接記号番号を○中に記入のこと

●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



※全周すみ肉溶接又は完全溶込み(裏あて金付)

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	S-04 鉄骨構造標準図(1)	縮尺	
建築局長 / 建築部長	課長 / 係長 / 担当	監督	
横浜市建築局	株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本泰充

(国庫)山下公園レストハウス新築工事
(建築工事)
工事名　縮尺
鉄骨構造標準図(1)
図名　図番 S-04

97.7.500(1.40)(S)

発行 社団法人 東京都建築士事務所協会

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物図有番号	施工番号	図面種類番号	図面図有番号	特殊記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	3	0 0 5	F

鉄骨構造標準図 (2)

3. 継手規準図、その他

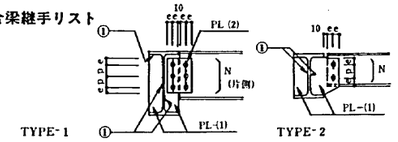
(1) ボルトピッチ(P)、ボルト穴径・最小縁端距離

(mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)				ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	30	45	60	70

(注) (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

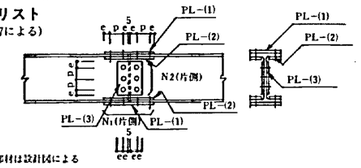
(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径

(3) 梁鋼接合継手リスト

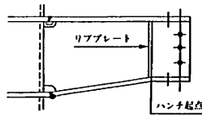
(SCSS-H97による)



注) 端部をBHとする場合の部材は設計図による

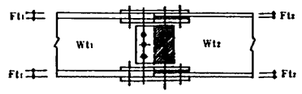
符号	部材	フランジ			ウエブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径

(4) ハンチ部の継手



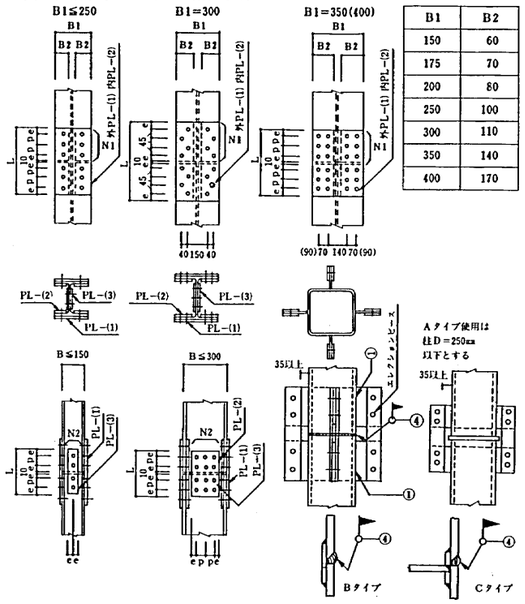
ハンチ勾配は普通1：4程度であるが構造図による

フランジ及ウエブ厚の差のある場合



Ft1−Ft2
Wt1−Wt2 ≧1mm フィラプレート使用のこと

(5) 柱継手リスト (SCSS-H97による)



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行う

符号	部材	フランジ			ウエブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする…JISA5540～5542…1982)

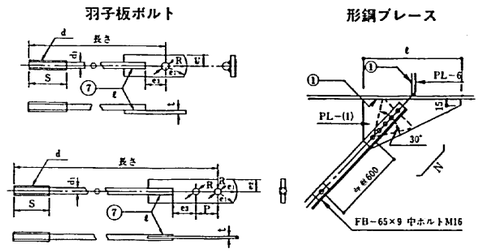
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び(d)		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径d_1	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差+0, −0.5mm	R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき(最小) (2)	e_1	35	40	45	50	50	55	50
切板製 へりあき(最小) (1)	e_2	22	28	28	34	34	38	38
切板製 板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製 へりあき(最小) (1)	e_2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
平鋼製 板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき(最小)	e_3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ(最小)	ℓ	40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト 種類		JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中8g 10.9						
取付ボルト ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
取付ボルト 本数		1	1	1	1	1	1	2

注 (1) e_1, e_2 が確保されていれば形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

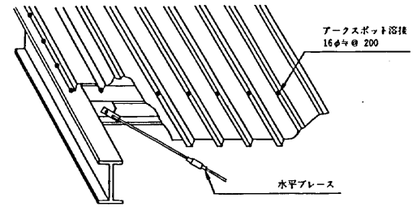
(b) 形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N-径	ℓ

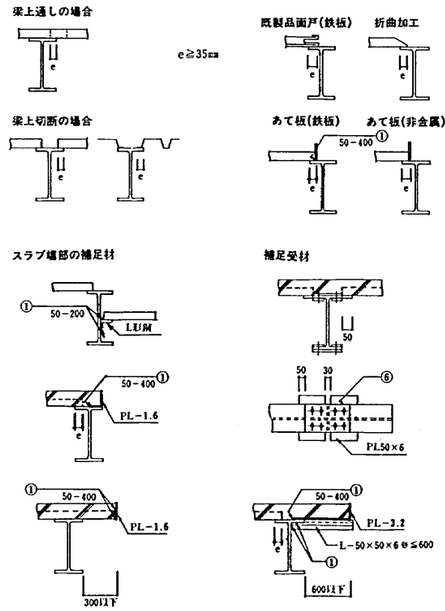


(7) デッキプレート(床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

梁との溶接およびコネクター

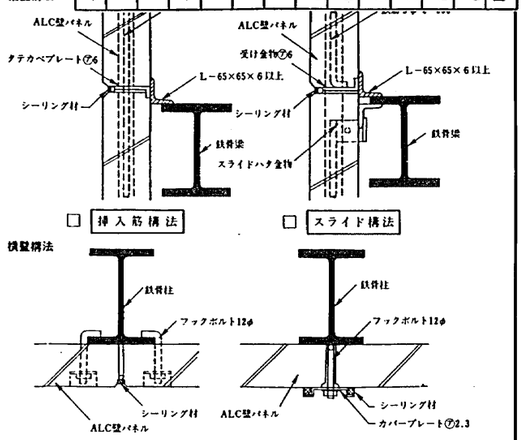


受梁へのかかり寸法および端部処理



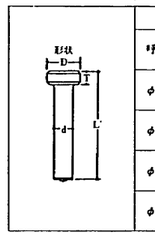
(8) ALC

縦壁構法



(9) 頭付きスタッド (JIS 1198)

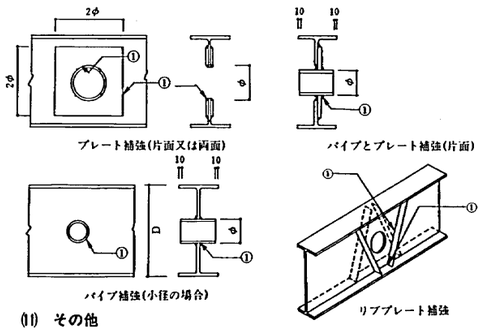
スタッド材の標準形状・寸法



スタッド材	軸径d (mm)	頭径D (mm)	頭高さT (mm)	溶接後の長さL (mm)
φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

(10) 梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくて良い。
- 梁端部(スパンのℓ/10以内かつ2D以内)は避ける
- $\phi \leq 0.4D$



(11) その他

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	S-05 鉄骨構造標準図(2)	縮尺	

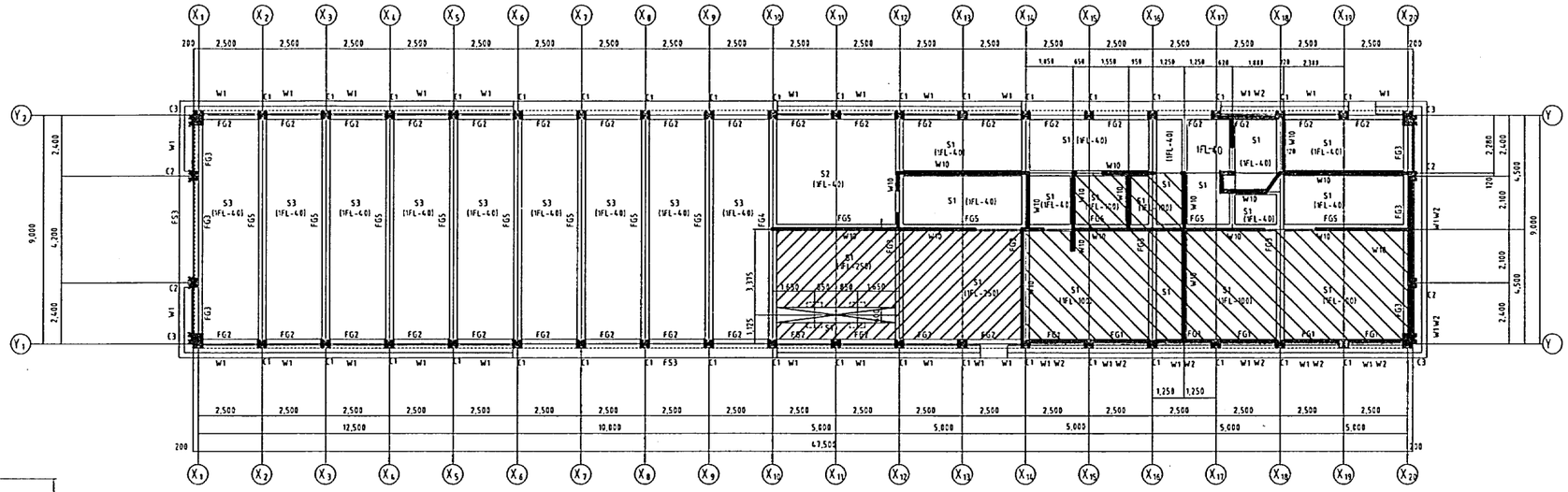
横浜市建築局 | 株式会社 鎌倉設計工房

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-313-6604
FAX045-316-1653
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

(国庫)山下公園レストハウス新築工事
(建築工事)
工事名
縮尺
鉄骨構造標準図(2)
図名
図番 S-05

'97.7.500(1部)(S)

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物図面番号	地区番号	図面種類番号	図面図面番号	特殊記号
H	2	5	2 0 4 0 0	5 3	0 0	6	F



1階伏せ図 1:100

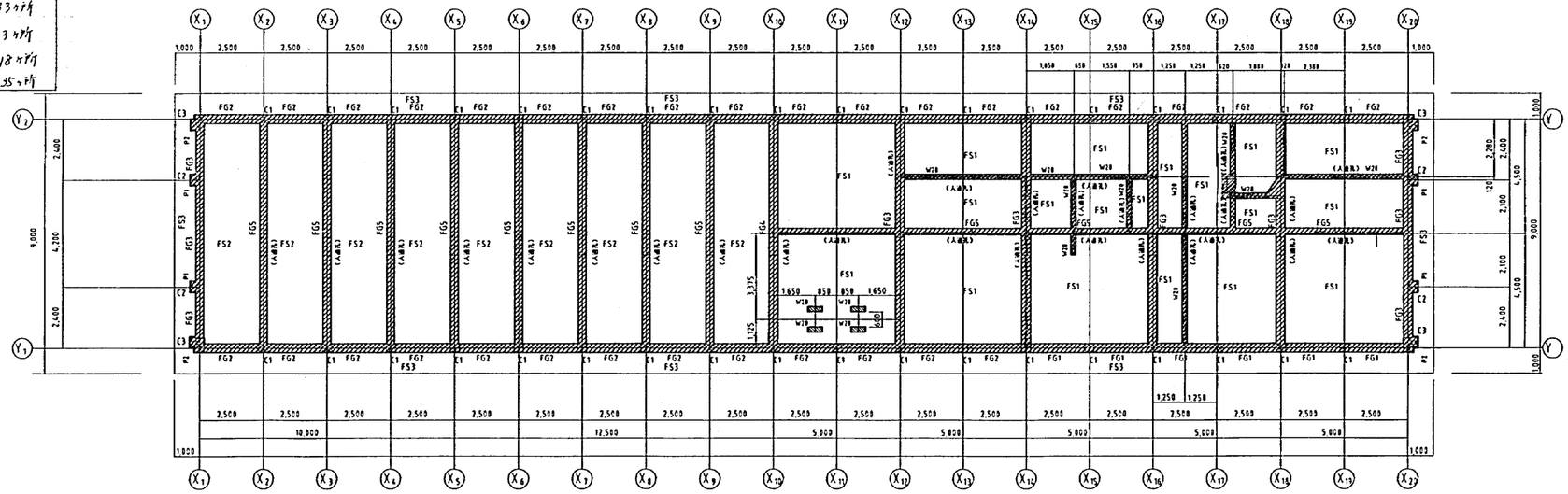
特記

ツバ付スリーブ
- 75φ 1ヵ所
- 100φ 13ヵ所
- 150φ 15ヵ所

スリーブ
- 75φ 33ヵ所
- 100φ 3ヵ所
- 150φ 18ヵ所
- 通気管 150φ 35ヵ所

※・ツバ付スリーブ…… 無収縮モルタル充てんの上、両廻りシーリング(PS2ハイ)

・スリーブ 通気管 …… モルタル充てんのみ



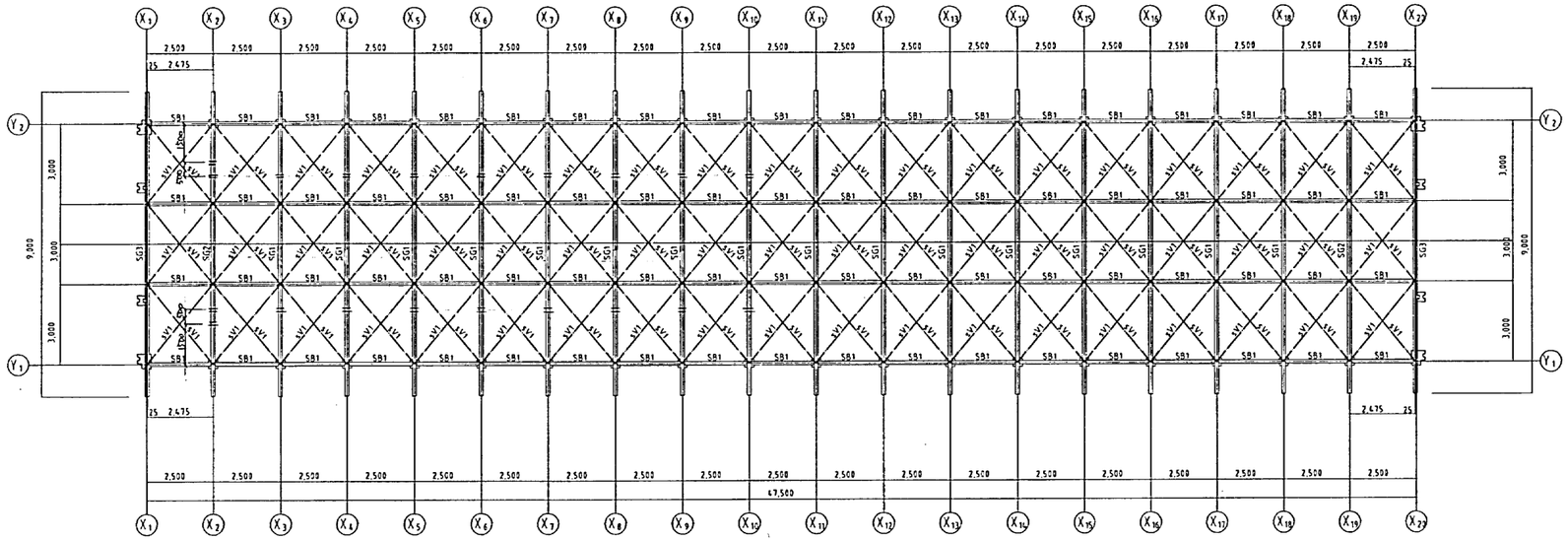
ピット図 1:100

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	平12.12
図面番号	S-06 ピット図 1階伏せ図	縮尺	1/100
確認欄	構造 / 設備	株式会社 鎌倉設計工房	
横浜市建築局			

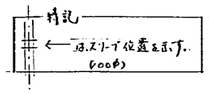
株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所 県知事登録第5411号
一級建築士 大臣登録第155213号
藤本幸克
〒220-0023
横浜市西区平沿1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453

(国庫)山下公園レストハウス新築工事
(建築工事)
工事名
縮尺 1:100
図名 ピット図 1階伏せ図
図番 S-06

工事種別	用途番号	建物種別番号	建物図面番号			階数番号			図面種別番号	図面図面番号			付加記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	3	0	0	7	F



R階伏せ図 1/100



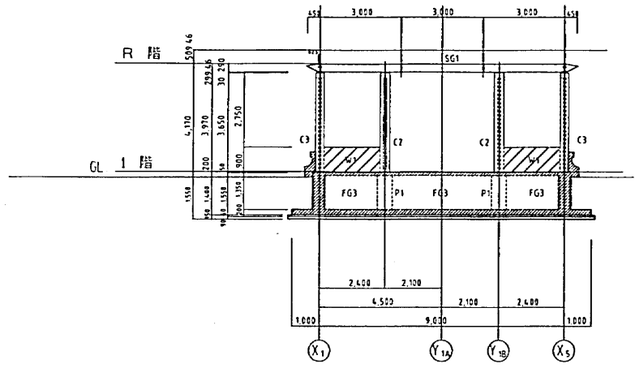
工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)				年月	H12.12	
図面番号	S-07	屋根伏図			縮尺	1/100	
建設省	建設局	建築部	設計	課長	係長	担当	所員
			横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸克
〒220-0023
横浜市西区平沿1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1653

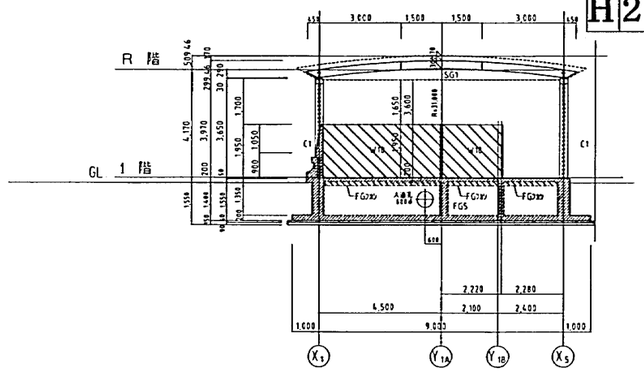
工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/100

図名 屋根伏図 図番 S-07

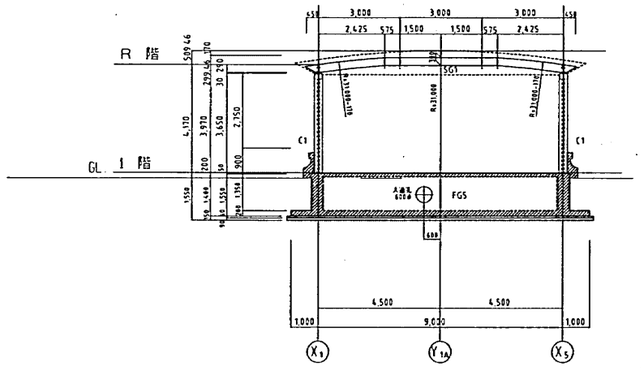
工事種別	所管番号	建物種類番号	建物固有番号			地区番号			図面種類番号	図面固有番号			特記記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	3	0	0	8	F



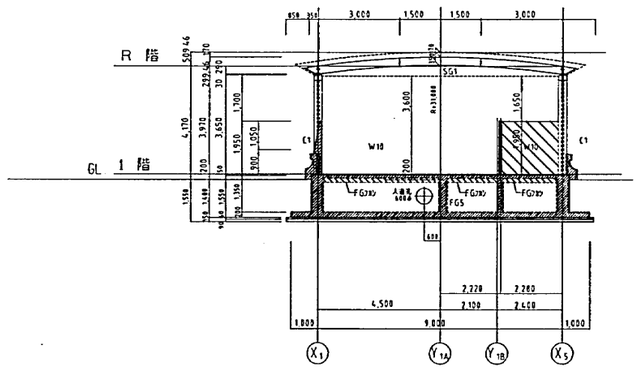
X1通り軸組図 1:100



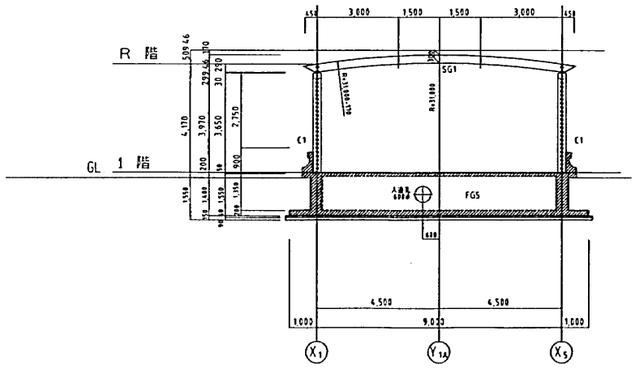
X14通り軸組図 1:100



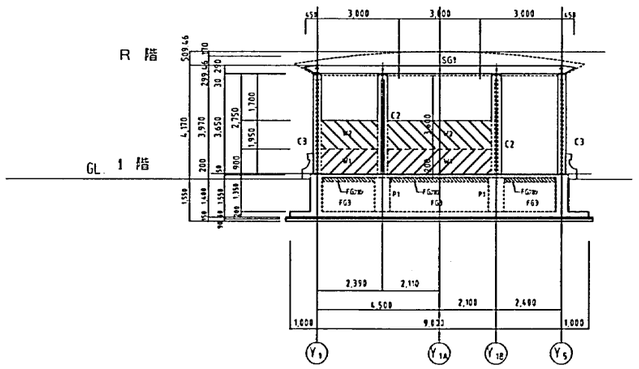
X2通り軸組図 1:100



X18通り軸組図 1:100



X4通り軸組図 1:100



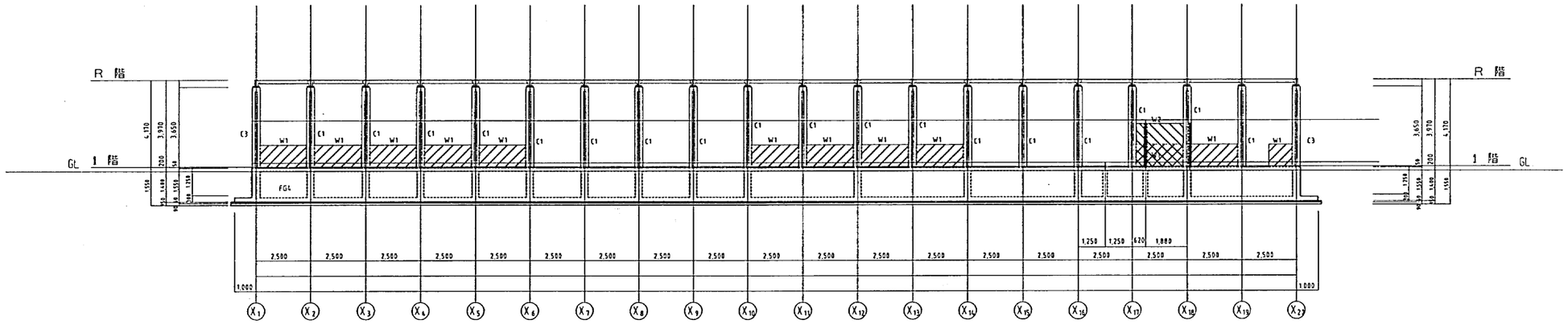
X20通り軸組図 1:100

工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図番号	S-08	縮尺	1/100
	X通り軸組図		
横浜市建築局	株式会社 鎌倉設計工房		

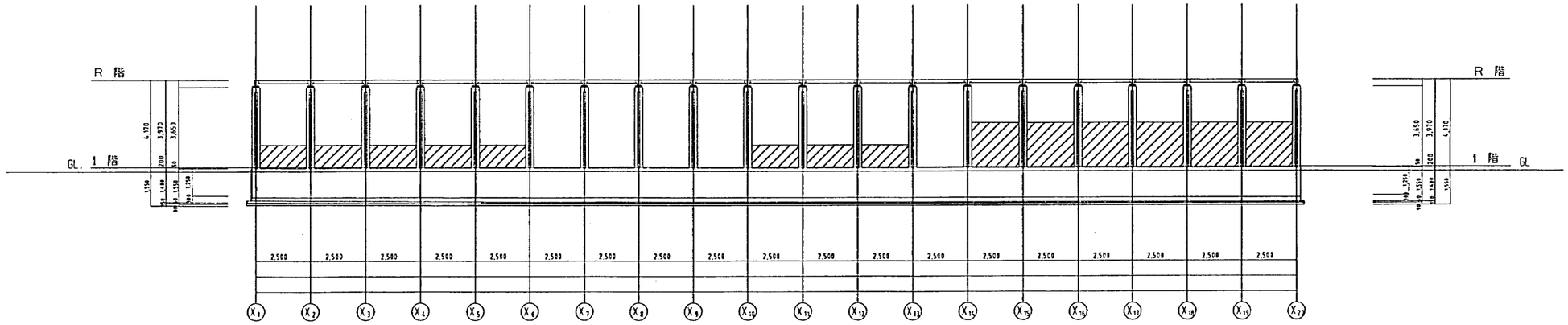
株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453

工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事)
縮尺 1:100
図名 X通り軸組図
図番 S-08

工事概別	用途番号	建物概要番号	建物固有番号			施設番号			図面概要番号				特殊記号
H	2	5	2	0	4	0	0	5	3	0	0	9	F



Y2通り軸組図 1:100



Y1通り軸組図 1:100

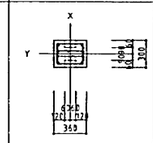
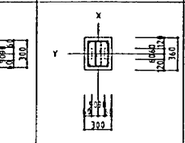
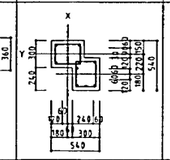
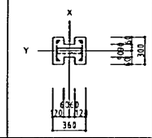
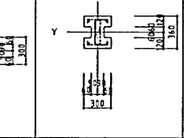
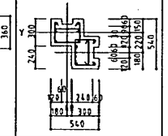
工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	S-09 Y通り軸組図	縮尺	1:100
建築局長 建築部長	課長 係長	担当	設計
横浜市建築局	株式会社 鎌倉設計工房		

株式会社
鎌倉設計工房
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充

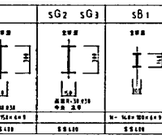
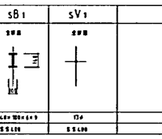
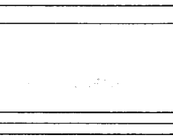
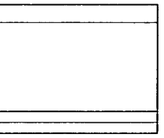
工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事)
縮尺 1:100
図名 Y通り軸組図
図番 S-09

工事種別	用途番号	建物種類番号	建物図面番号	構造番号	図面種類番号	図面図面番号	付加記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	3	0 1 0	F

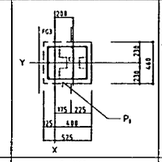
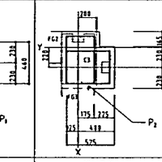
柱 断面リスト図 130

		C1	C2	C3
1 FL	柱脚			
	主筋	4-D25 6-D16	4-D25 6-D16	8-D25 8-D16
	STR.	田 ※ D13 @100	田 ※ D13 @100	D13 @100
	ひとめ筋	D10 @600	D10 @600	D10 @600
	柱頭			
		4-D25 6-D16	4-D25 6-D16	8-D25 8-D16
		H ※ D13 @100	I ※ D13 @100	D13 @100
		D10 @600	D10 @600	D10 @600

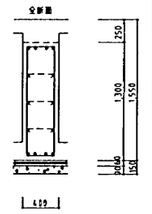
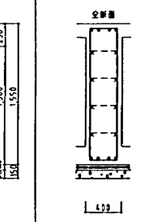
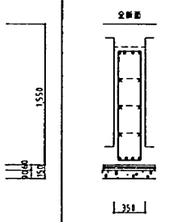
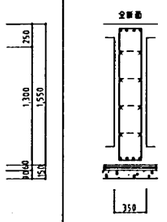
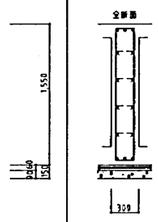
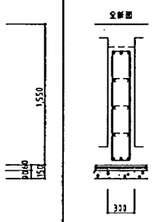
梁断面リスト図（1）1/20

	sG1	sG2 sG3	sB1	sV1
				
材質	N- 300×75×6×9		N- 400×200×8×13	17φ
材質	SS400	SS400	SS400	SS400

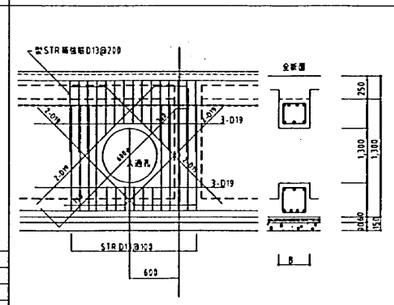
基礎 断面リスト図 130

		P1	P2
	全断面		
	主筋	8-D16	12-D16
	STR.	D13 @150	D13 @150
	ひとめ筋	D10 @600	D10 @600

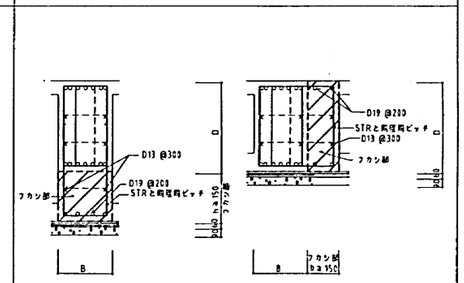
地中小梁断面リスト図 130

	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FG6
						
上端主筋	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	3-D19	3-D19
下端主筋	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	3-D19	3-D19
腰筋	6-D13	8-D13	6-D13	8-D13	6-D13	6-D13
STR.	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200
ひとめ筋	D10 @600	D10 @600	D10 @600	D10 @600	D10 @600	D10 @600

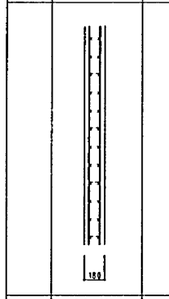
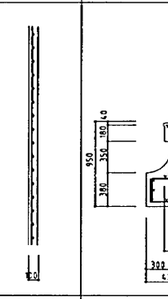
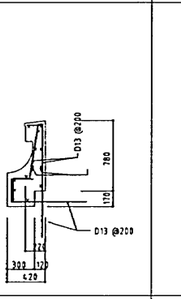
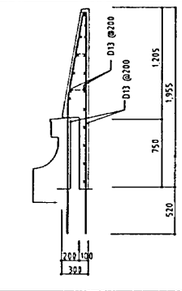
梁人通孔の補強筋要領



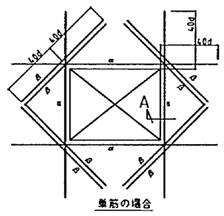
梁のフカシ部の補強筋の要領



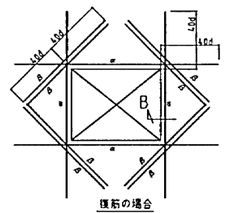
壁 断面リスト図 130

	W20	W10	W1	W2
				
縦筋	D13 @200	D10 @100	D13 @200	D13 @200
横筋	D13 @200	D10 @150	D13 @200	D13 @200
ひとめ筋	D10 @600		D10 @600	D10 @600

壁・床版の開口補強



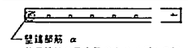
単筋の場合



複筋の場合

α：使用鉄筋の最大径の1サイズアップの径とする。
β：使用鉄筋の最大径と同径とする。

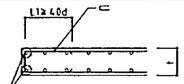
A-A 断面（単筋の場合）



壁縦部筋 α
使用鉄筋の最大径の1サイズ上の径

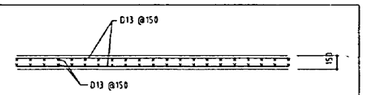
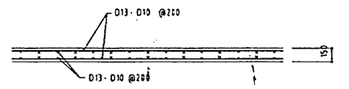
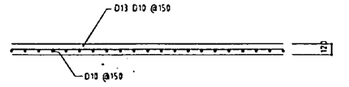
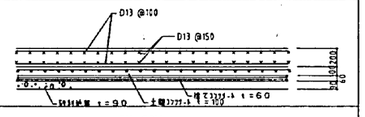
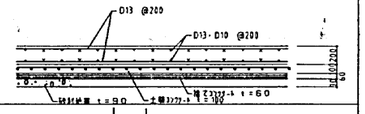
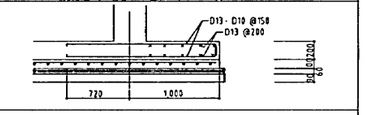
α：使用鉄筋の最大径の1サイズアップの径とする。
β：使用鉄筋の最大径と同径とする。

B-B 断面（復筋の場合）



壁縦部筋 α
使用鉄筋の最大径の1サイズ上の径

床版・階段 断面リスト図30

S1	端切断面	
S2	端切断面	
S3	端切断面	
FS1	端切断面	
FS2	端切断面	
CFS1	切断面	

工事名	(国産)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)
図番号	S-10
図名	断面リスト図
年月日	12.12
縮尺	1/30
構造	設備	電気	監理	所長	株式会社 鎌倉設計工房
横浜市建築局					

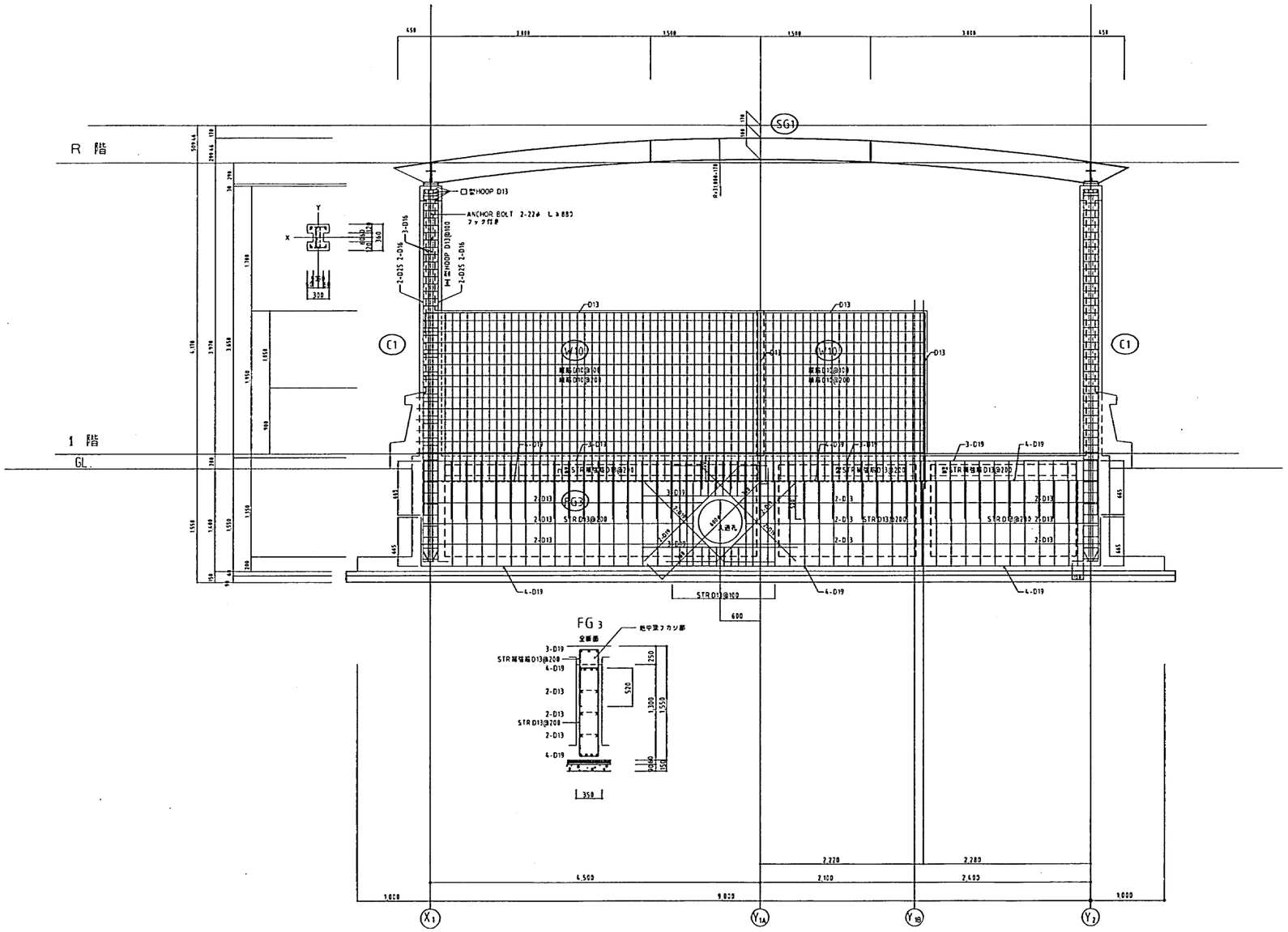
株式会社
鎌倉設計工房 一級建築士事務所 県知事登録第5411号
〒220-0023
横浜市西区平沿1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1653
一級建築士 大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国産)山下公園レストハウス新築工事
(建築工事)縮尺 130

図名 断面リスト図

図番 S-10

工事種別	用途番号	建物種類番号	構造図面番号	構図番号	図面種類番号	図面図面番号	特殊記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	3 0	1 1	F



X14通り軸組図 1 30

工事名	(国重)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	S-11 RC配筋詳細図	縮尺	1:30
建築局長	建築部長	課長	係長	係員	担当
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房			

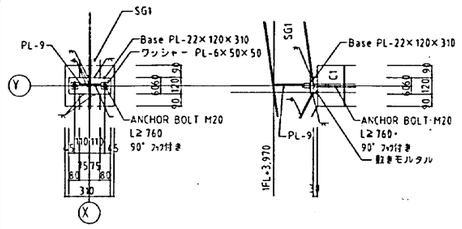
株式会社
鎌倉設計工房
一級建築士事務所
県知事登録第5411号
一級建築士
大臣登録第155213号
藤本幸充
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL045-312-6604
FAX045-316-1453

(国重)山下公園レストハウス新築工事
工事名 (建築工事) 縮尺 1 30
図名 配筋詳細図
図番 S-11

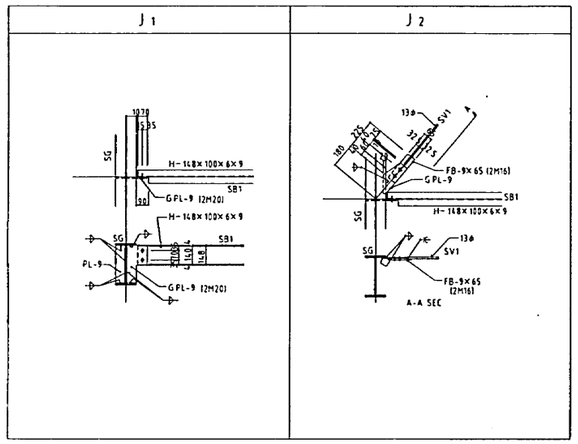
工事種別	用途番号	建物種類番号	建物固有番号	施工番号	図面種類番号	図面固有番号	特記記号
H	2	5	2 0 4	0 0 5	3	0 1 2	F

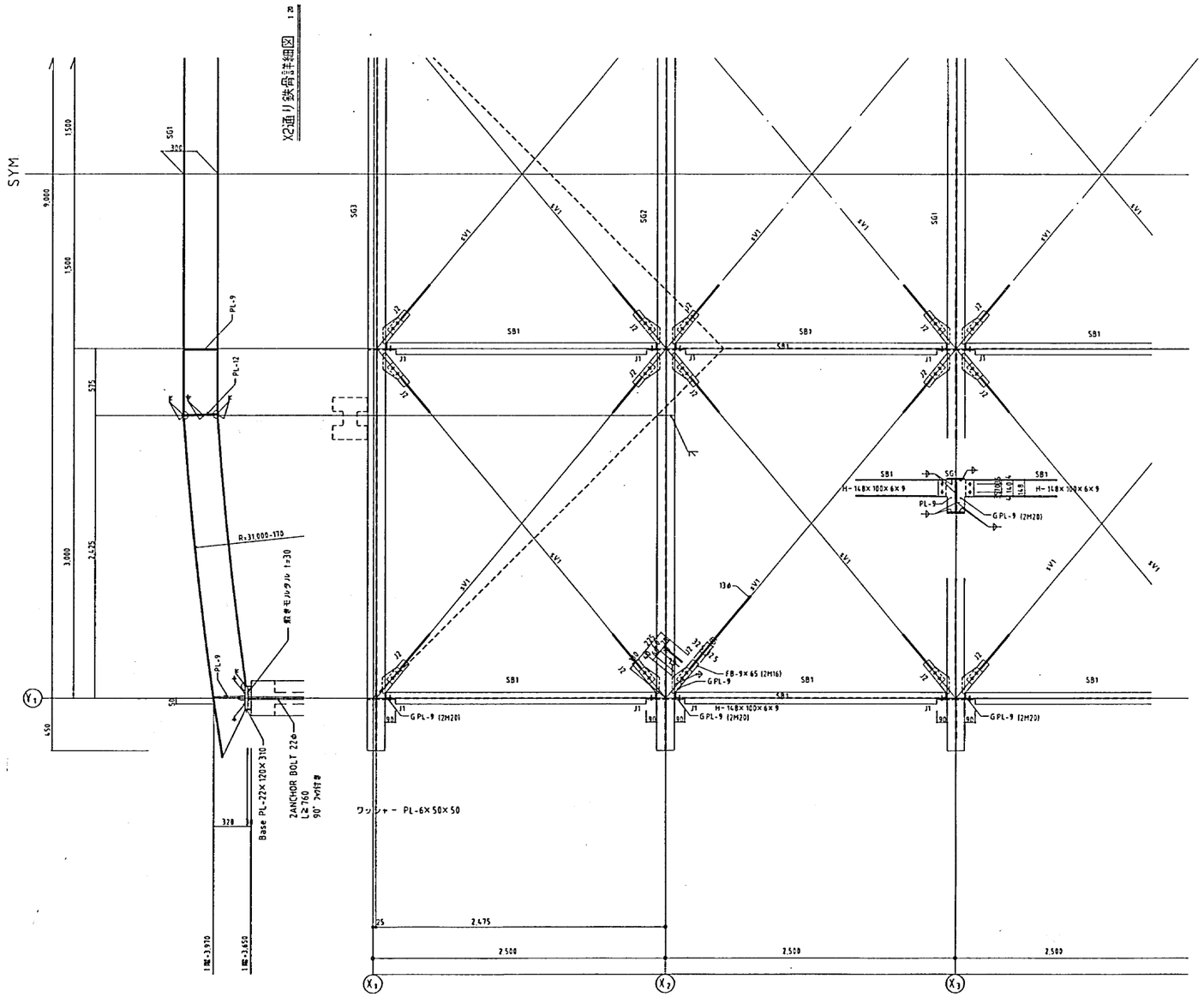
柱脚リスト図 1/20

A1	
柱脚記号	SG (SS400)
BASE PL	BASE PL-22×120×310 (SS400)
ANCHORBOLT	2-22φ (SS400)
GPL	PL-9 (SS400)
ﾌｯｸ	13φ 鋼材 FB-9×75 (SS400)



継手リスト図 1/20





工事名	(国庫)山下公園レストハウス新築工事(建築工事)	年月日	H12.12
図面番号	S-12	鉄骨詳細図	縮尺 1:20
担当課長	建築課長	係長	係長	係員	所員	
横浜市建築局		株式会社 鎌倉設計工房				

株式会社
鎌倉設計工房 一級建築士事務所 県知事登録第5411号
〒220-0023
横浜市西区平沼1-40-9-1015
TEL(045-312-6604)
FAX(045-316-1453)
一級建築士 大臣登録第155213号
藤本幸充

工事名 (国庫)山下公園レストハウス新築工事 (建築工事) 縮尺 1/20

図名 鉄骨詳細図 図番 S-12